EPSON

Epson Rangefinder
Digital Camera

R-D1

4048236-01
XXX

各部の名称とはたらき

■ 正面・上面・底面・左側面

① **電源スイッチ**

電源をON ／ OFF します。

② **シャッターダイヤルロック解除ボタン**

シャッター速度ダイヤルを「AE」に設定したときには、ダイヤルが上記の位置でロックされます。シャッター速度ダイヤルを回すときは、ロック解除ボタンを押してロックを解除します。

③ **針式インジケータ**

撮影可能枚数／画像品質／ホワイトバランス／バッテリ残量を表示します。

④ **距離計窓**

ファインダーの中に表示される距離計窓です。

⑤ **採光窓**

ファインダーの中に光を取り入れるための採光窓です。

⑥ **アクセサリーシュー**

外部フラッシュや外付けファインダーなどを装着します。

⑦ **ファインダー画角設定レバー**

使用するレンズに合わせてファインダーの画角を設定します。

⑧ **ファインダー窓**

ここから画像を確認します。

⑨ **JOGダイヤル（本書では と表記します。）**

項目や機能を選択するときに使用します。ダイヤルは上下2段式になっていて、用途によって上下位置を切り替えて使用します。

⑩ **シンクロターミナル（X接点）**

外部フラッシュを装着するとき使います。

⑪ **レンズ着脱ボタン**

レンズを取り付けたり、取り外すときに押します。

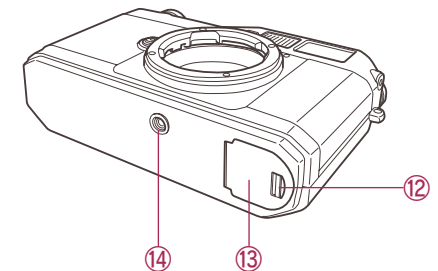
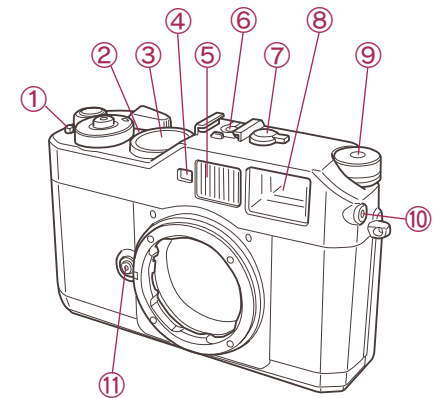
⑫ **ロックレバー**

バッテリカバーが不用意に開かないようにします。

⑬ **バッテリカバー**

バッテリをセットします。

⑭ **三脚用ネジ穴**

三脚を取り付けます。

■ 背面・右側面

① ファインダー接眼窓

ここから画像を確認します。

② シャッターレリーズボタン

半押し：撮影モードの場合は、指を離してから約12 秒間露出計が作動します。
節電中や再生モードになっている場合は、撮影モードに復帰します。
全押し：シャッターが切れます。
（撮影します。）

③ シャッター速度ダイヤル／ISOダイヤル

シャッタースピードやISO感度を設定します。

④ シャッターチャージレバー

シャッターを元の位置に戻し、撮影可能な状態にします。

⑤ 画像品質／ホワイトバランス設定レバー

画像品質やホワイトバランスを設定するとき使用します。

⑥ アクセスランプ（赤色）

本機とメモリーカードの状態を示しています。
・点灯：メモリーカードにアクセスしています。
・点滅：メモリーカードエラーが発生しています。
・消灯：メモリーカードにアクセスしていません。

⑦ メモリーカードカバー

SDメモリーカードやメモリーカードスロットを保護します。

⑧ SDメモリーカードスロット

SDメモリーカードを挿入します。

⑨ AE ロックボタン

シャッターを半押ししてボタンを押すと、ボタンを押している間、露出が固定されます。

⑩ 焦点距離変換表

35mm版カメラ用レンズを本機で使用した場合の焦点距離を示します。

■ 液晶モニタ

① 液晶モニタ表示ボタン（本書では と表記します。）

液晶モニタに画像を表示させます。
（もう一度 を押すと撮影モードに復帰します。）

② MENUボタン（本書では と表記します。）

機能選択メニューが表示されます。

③ ENTERボタン（本書では と表記します。）

選択項目や設定内容を確定するとき押します。

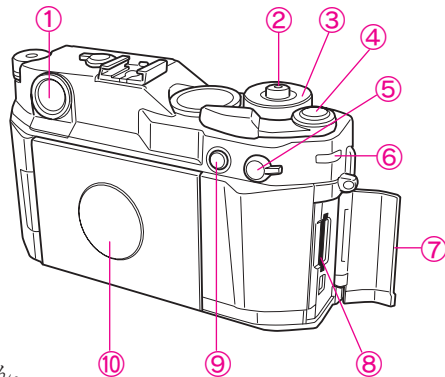
④ CANCELボタン（本書では と表記します。）

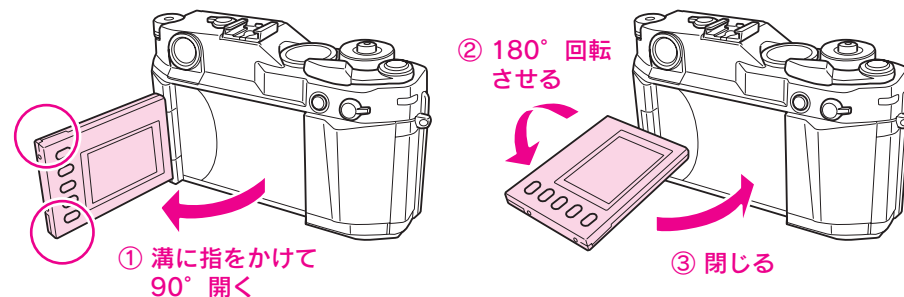
操作を中止して1つ前の画面に戻るとき押します。

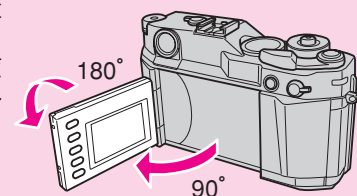
⑤ USERボタン（本書では と表記します。）

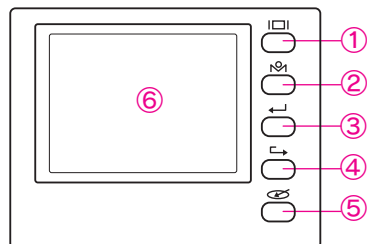
画像削除や拡大など、いくつかの機能の中からお好みの機能を割り当て、実行することができます。

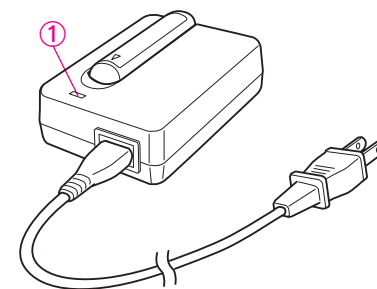
⑥ 2.0型低温ポリシリコンTFTカラー液晶モニタ（23.5万画素）

設定画面や画像データを表示します。

■ 液晶モニタの反転

液晶モニタは、下図の手順で反転させます。

注　意

・液晶モニタを引き出したまま放置しないでください。
・液晶モニタの稼動する方向と角度は右図のとおりです。可動範囲外へ無理に回さないでください。

・液晶モニタをつかんで持ち上げたり、液晶モニタと本体の接続部に力を加えたりしないでください。本機の過重や負荷によって破損するおそれがあります。

■ 充電器

① 充電ランプ（赤）

バッテリの充電状態を表示します。
・**点灯**：充電中であることを示します。
・**消灯**：充電完了、または、バッテリがセットされていないことを示します。
・**点滅**：充電異常を示します。バッテリを取り外し、充電を中止してください。

Epson Rangefinder Digital Camera

R-D1

取扱説明書

安全にお使いいただくために

本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作･お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。		この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。		この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。

■本体の取り扱いについて

⚠警告	
太陽や強い光に向けて撮影しないでください。 目に傷害を起こすおそれがあります。	⃠
ファインダーから太陽を見ないでください。 目に傷害を起こす可能性があります。	⃠
目の近くでフラッシュを発光しないでください。 目の近くでフラッシュを発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m 以上離れてください。	⃠
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因になります。	⃠

⚠警告

異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因になります。 すぐに本体からバッテリを抜いて、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。	
本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 故障・感電・火災の原因になります。	
落下などの衝撃を与えないください。 光学部にガラスを使用しているため、ガラスが飛び散る場合があります。	
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因になります。	
開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因になります。	
布団などで覆った状態で使用しないでください。 熱がこもってケースが変形したり、火災・感電のおそれがあります。	
可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。(電源をオフにしてください。) 引火・爆発の原因になります。	
歩行中や、自動車・オートバイ・自転車などを運転しながら使用しないでください。 転倒・交通事故などの原因となります。	
小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。 落ちたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。 また、ストラップが首に巻き付いて窒息したり、バッテリを飲み込んでしまうおそれがあります。	
指定されているリチウムイオンバッテリ以外は使用しないでください。 感電・火災の原因となります。	

⚠警告	
不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）や、他の機器の振動が伝わる所など、振動しがちな場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。	
本製品の上に乗ったり、物を置かないでください。特に小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。 倒れたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。	

⚠注意	
本機のレンズ取り付け部の内側に指を入れたりシャッター部分やCCD センサ部分に指で触れたりしないでください。 けがをするおそれがあります。	

■バッテリと充電器の取り扱いについて

⚠危険	
分解や改造はしないでください。 けがや感電、火災の原因になります。	
バッテリの＋と－を針金などの金属で接続（ショート）しないでください。 発熱・発煙・発火・破裂の原因となります。	
バッテリは金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり保管しないでください。 発熱・発煙・発火・破裂したり、あるいは針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。	
バッテリの端子にハンダ付けをしないでください。 発熱・破裂・発火の原因となります。	
バッテリを火のそば、ストーブのそばなど高温の場所（80 ℃以上）で使用したり、放置しないでください。 発熱・破裂・発火の原因となります。	
バッテリを火のそばや炎天下などで充電しないでください。 高温になると充電できなくなったり、発熱・発煙・破裂・発火の原因となります。	

⚠危険	
バッテリを他の機器や他の用途に転用しないでください。 バッテリを損傷させたり、機器を損傷させたりすることがあります。	
バッテリに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液の原因となります。	
バッテリが漏液して液が目に入った時は、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。 放置すると液により目に障害を与える原因となります。	
バッテリを使用中、充電中、または保管中に異臭が生じたり、発熱したり、変色、変形、漏液、その他今までと異なることに気がついた時は、機器から取り外し、使用しないでください。 そのまま使用すると、発煙・破裂・発火の原因となります。 すぐに本体から電源を抜いて、また電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。	

⚠警告	
バッテリの金属部分にはさわらないでください。 感電・火災の原因となります。	
指定されているリチウムイオンバッテリ以外は使用しないでください。 感電・火災の原因となります。	
小さなお子さまの手の届くところには、保管・放置しないでください。 バッテリを飲み込んでしまうおそれがあります。	
バッテリを車の電源コンセントや車のシガレットコンセントに直接接続しないでください。 感電・火災の原因となります。	
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。 感電・火災の原因となります。	

⚠警告

電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。 感電・火災の原因となります。	
バッテリの向きを逆にしてカメラに入れないでください。	
可燃ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。 引火、爆発の原因になります。	
異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電･火災の原因になります。 すぐに充電器から電源を抜いて、また電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。	
付属の電源コード以外の電源コードは使用しないでください。また付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災の原因になります。	
表示されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。 指定外の電源を使うと、感電･火災の原因となります。	
電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱し火災の原因となります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。	
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。	
破損した電源コードを使用しないでください。 感電･火災の原因となります。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードの上に重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない 電源コードが破損したら、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。	

⚠警告	
電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 取り扱いを誤ると火災の原因となります。 ● 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない ● 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む	

■液晶モニタについて

⚠警告	
液晶モニタが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。 万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。 ● 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し石鹸でよく洗浄してください。 ● 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。 ● 飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。	

正しくお使いいただくために

■本体の取り扱いについて

● 本製品は精密な機械、電子部品で作られています。次のような場所での使用や保管は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

•湿度変化の激しい場所	•揮発性物質のある場所
•ほこりや塵の多い場所	•火気のある場所
•冷暖房機具に近い場所	•温度変化の激しい場所
•水に濡れやすい場所	•振動や衝撃のある場所
•直射日光の当たる場所	•強い磁気の近く（スピーカーの近くなど）

● 本製品は、以下の環境で使用してください。

•温度 5 ℃～ 35 ℃（動作時）／ - 20 ℃～ 60 ℃（保管時）
•湿度 30 %～ 80 %（動作時、非結露）／ 10 %～ 80 %（保管時、非結露）

● 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。動作不良や故障の原因となり、けがをするおそれがあります。また、光学精密製品のため、撮影ができなくなったり、距離計に誤差が生じる可能性があります。

● 本機のレンズ取り付け部の内側に指を入れたり、シャッター部分や CCD センサ部分に指で触れたりしないでください。本機が正常に機能しなくなる可能性があります。

● テレビ･ラジオに近い場所では使用しないでください。本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合していますが、微弱な電波は発信しております。お近くのテレビ･ラジオに雑音を与えることがあります。

■バッテリの取り扱いについて

● 購入時にバッテリ残量が残っていることがありますが、お使いいただく前に充電することをお勧めします。

● 本機を使用していないときでも、バッテリは少しずつ放電しています。お使いいただくときは、直前（1 日～ 2 日前）にバッテリを充電することをお勧めします。

● バッテリを充電するときは、事前に放電したり、使い切る必要はありません。

● 充電直後や使用直後は、バッテリが温かくなることがありますが、異常ではありません。

● 充電は、周囲の温度が０ ℃～４０ ℃の場所で行ってください。低温で充電すると十分な充電ができません。また、高温で充電するとバッテリを劣化させるおそれがあります。

● バッテリを長くもたせるためには、できるだけこまめに本機の電源をオフにすることをお勧めします。

- バッテリの特性上、十分に充電された状態でも寒冷地では使用時間が短くなります。バッテリをポケットに入れて暖めたり、予備のバッテリを用意するなどしてください。なお、カイロなどをご使用になるときは、カイロがバッテリに直接触れないよう、ご注意ください。
- このバッテリは、常温で使用した場合、約 400 回繰り返し充電することができます。(使用条件によって異なることがあります。)十分に充電しても使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリの寿命と考えられます。このときは新しいバッテリをお買い求めください。

■「つゆつき」について

寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、本機の内部に水滴が生じる(結露する)ことがあります。内部に結露が生じた状態で使用すると故障することがあります。寒いところから暖かいところへ持ち込むときは、できるだけ本機を密閉し周囲の温度になじませてから取り出してください。

■液晶モニタについて

- 一部に常時点灯または常時点灯しない画素が存在することがあります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニタの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は絶対に使用しないでください。
- AM ラジオやチューナーの近くでは使用しないでください。雑音電波の影響を受けることがあります。

■データの保護について

- 本製品は精密電子機器ですので、強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境で使用、保管しないでください。データが壊れたり消失することがあります。
- データの書き込み、読み込み中に、振動を与えたり、メモリーカードの抜き差しをしないでください。データが壊れたり消失することがあります。
- メモリーカードをセットした後は、取り出すときまで、必ずカバーを閉じておいてください。カバーを閉じておくことで、メモリーカードおよびメモリーカードに記録されているデータを静電気から守ります。
- 本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
  身体からの静電気は、データを消失・破損させるおそれがあります。

■動作確認とバックアップのお勧め

● 本製品や添付のソフトウェアを使用中、万一不具合により撮影できなかった場合による撮影内容の補償、または撮影できなかったことによる損失の補償などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
大切な撮影の前には、必ず試し撮りをして、カメラが正常に動作することを確認してください。

● 本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、本製品やメモリーカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。

次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。
•静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
•誤った使い方をしたとき
•故障や修理のとき
•天災による被害を受けたとき
なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責任も負いません。

■その他

● 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、エプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

● エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

● メモリーカードの特性上、「削除」「消去」「フォーマット」などを行った場合でも、メモリーカード内のデータは完全に消去されてはいません。メモリーカードを譲渡、廃棄する際にデータが流出するおそれがあります。メモリーカードを廃棄するとき、譲渡するとき、貸すとき、修理に出すときなど、個人的な写真データを見られたくないときは、メモリーカードを本機で「完全フォーマット」（☞ 94 ページ）してください。

● レンズキャップを外した状態でレンズを太陽に向けないでください。太陽光線によりシャッター膜を傷めるおそれがあります。

● レンズ保護のため、撮影後はレンズキャップをつけてください。

目次

I　カメラ編

1 章　準備

2 章　撮影

3 章　再生

4 章　設定

5 章　データ保存・活用

II ソフトウェア編

6 章　インストール

7 章　現像アプリケーションでの現像

8 章　Photoshop での現像

III こんなときは

付録

本機の特長

本機「Epson Rangefinder Digital Camera R-D1」は、約 600 万画素、EM マウント（ライカ社M型互換マウント）のレンジファインダー式デジタルカメラです。デジタルカメラでありながら、35mm版レンジファインダー式カメラのような操作感で撮影することができます。

◆ファインダー

■暗い場所でも正確・迅速

レンジファインダー式カメラでは、暗いレンズをつけてもファインダーは明るいままです。常にほぼ肉眼に近い明るさでピント合わせが可能なので、室内や夜間の撮影では特に威力を発揮します。

■完全等倍ファインダー

被写体をよりダイレクトに感じることのできる、専用設計の完全等倍ファインダーを装備しています。左眼で空間全体を感じながら、右眼で見える空間を切り取ることができます。

■レンズを交換しても変わらない性能

一眼レフ式カメラでは、広角レンズや暗いレンズをつけるとピントの山がつかみづらく、合わせにくくなる傾向があります。レンジファインダー式カメラなら常に安定したピント合わせが可能です。

■パララックス自動補正による正確なフレーミング

本機のファインダーに内蔵されたフレーム（画角を示す枠）の場合、パララックスが自動的に補正されます。

◆メカニズム

■決定的瞬間を見失わない

レンジファインダー式カメラでは、一眼レフ式カメラのようにシャッターを切った際に視野が消えることはありません。撮影の瞬間を見る、この当たり前のことを実現することができます。

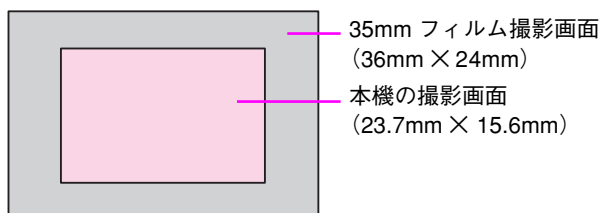
■動作ショックが少ない

レンジファインダー式カメラでは、撮影時は静かにシャッターが動くだけです。ミラーやレンズの絞りなどが複雑に連動する一眼レフ式カメラに比べて動作ショックが少なくなります。

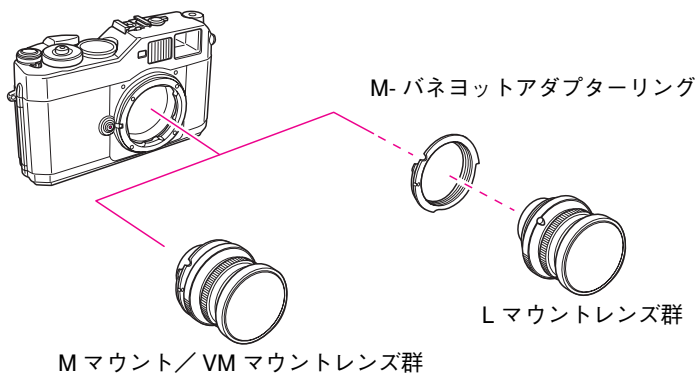
■見やすい針式インジケータ

バッテリ残量、撮影残枚数、ホワイトバランス、画像品質などを、見やすい針式で表示しています。針式インジケータによって、本機の状態を簡単に把握することができます。

■ APS-C サイズの CCD

本機の CCD サイズは、23.5 × 15.6mm（APS-C サイズ）です。35mm 版カメラの撮影画面より小さいため、35mm 版カメラ用のレンズを本機に取り付けると、焦点距離は約 1.53 倍となります。（各レンズの焦点距離については「対応レンズ例」☞ 158 ページをご確認ください。）

◆レンズ

■レンズ資産が生きる EM マウント

膨大な数が流通している M マウント／ VM マウントレンズ群、L マウントレンズ群（要コシナ社製「M- バネヨットアダプターリング」）などを装着することができます。（「対応レンズ例」☞ 158 ページ）

メ モ	同じレンズを使用した場合でも、フィルムカメラで撮影した画像とは画質が異なる場合があります。

本書について

このたびは、弊社製品「Epson Rangefinder Digital Camera R-D1」をお買い上げいただきありがとうございます。この説明書には本製品を正しく安全にお使いいただくための使い方が記載されています。本書をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しくお使いください。

また、本書は製品の不明点をいつでも解決できるように、すぐに見ることができる場所に「保証書」とともに大切に保管してください。

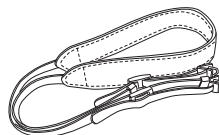
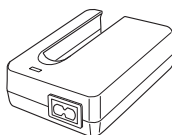
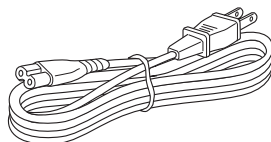
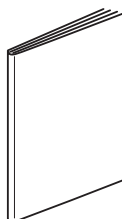
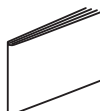
<table>
<tr><td colspan="2">■本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークには次のような意味があります。</td></tr>
<tr><td>注　意</td><td>必ず知っておいていただきたいことを記載しています。</td></tr>
<tr><td>メ　モ</td><td>知っておくと便利なことを記載しています。</td></tr>
</table>

Ⅰ　カメラ編

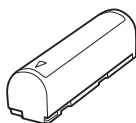
1 章　準備

付属品の確認

次のものが同梱されていること、それぞれの部品に損傷がないことをお確かめください。万一不都合がございましたら、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

本体　　レンズ部カバー　　ネックストラップ

専用リチウムイオンバッテリパック　　急速充電器　　充電器用電源コード

取扱説明書（本書）　　クイックリファレンスガイド　　CD-ROM（2 枚）

※このほかにも各種ご案内などが同梱されている場合があります。

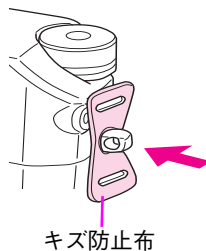
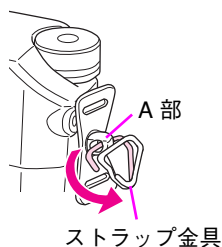
◆オプション品のご案内

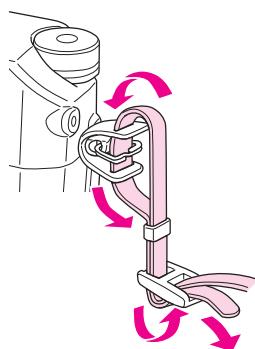
本機には、オプション品（別売品）として、次のものをご用意しております。

専用リチウムイオンバッテリパック
（型番：EPALB1）

付属品の取り付け

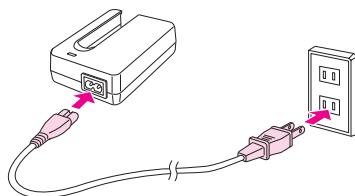
◆ネックストラップの取り付け

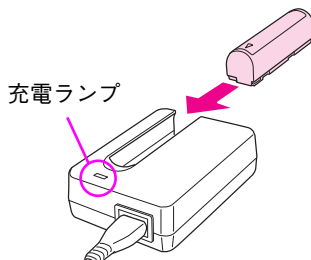
ネックストラップからキズ防止布やストラップ金具などを取り外し、以下の手順で本体に取り付けます。

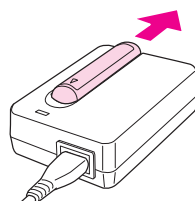
1 **ストラップ取り付け部にキズ防止布をはめ込む**

2 **ストラップ金具をA部に差し込み、回転させる**

3 **ストラップを右図のように通す**

ストラップが右図のように通ったら、取り付け完了です。

バッテリの充電

付属の専用リチウムイオンバッテリパック（型番：EPALB1）はお使いいただく前に必ず充電してください。充電は約3時間で終了します。

1 充電器本体とコードを接続し、プラグをコンセントに差し込む

2 充電器にバッテリをセットする

バッテリをセットすると、自動的に充電が始まり、充電ランプが赤色に点灯します。

3 充電ランプが消灯したら、バッテリを取り外す

充電後は充電器のプラグをコンセントから抜きます。

注意
充電ランプが点滅する場合は、充電異常を示しています。
バッテリを取り外し、充電を中止してください。（☞ 149 ページ）

メモ
- 充電ランプ（赤）が点灯しているときは、「充電中」を示しています。（「充電器」☞ 表紙）
- 充電時間は、周囲の温度やバッテリの状態によって異なります。

注　意

- 本機の専用バッテリ（型番：EPALB1）以外は充電しないでください。
- 本機を使用していないときでも、バッテリは少しずつ放電しています。お使いいただくときは、直前（1 日～ 2 日前）にバッテリを充電することをお勧めします。
- バッテリを充電するときは、事前に放電したり、使い切る必要はありません。
- 充電直後や使用直後は、バッテリが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電は、周囲の温度が 0 ℃～ 40 ℃の場所で行ってください。低温で充電すると十分な充電ができません。また、高温で充電するとバッテリを劣化させるおそれがあります。
- バッテリの特性上、十分に充電された状態でも寒冷地では使用時間が短くなります。バッテリをポケットに入れて暖めたり、予備のバッテリを用意するなどしてください。なお、カイロなどをご使用になるときは、カイロがバッテリに直接触れないよう、ご注意ください。
- このバッテリは、常温で使用した場合、約 400 回繰り返し充電することができます。（使用条件によって異なることがあります。）十分に充電しても使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリの寿命と考えられます。このときは新しいバッテリをお求めください。

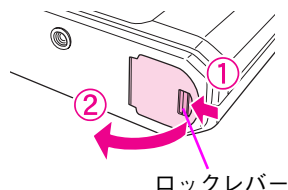
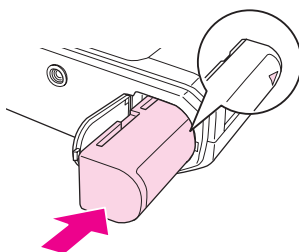
バッテリの挿入／取り出し

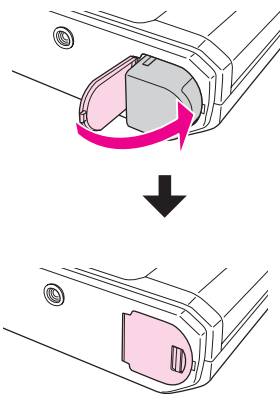
本機の電源には、専用リチウムイオンバッテリパック（型番：EPALB1）を使用します。これ以外のバッテリは使用できません。

◆バッテリの挿入

1 **電源スイッチが「OFF」になっていることを確認し、バッテリカバーを開ける**

ロックレバーを矢印の方向にスライドさせてバッテリカバーを開けます。

2 **バッテリを挿入する**

バッテリの向きに注意して、押し込みます。（バッテリは少し出た状態になります。）

3 **バッテリカバーを閉じる**

バッテリカバーは、「カチッ」という音がするまでしっかり閉めます。

メモ	バッテリ残量の確認は「針式インジケータの確認」（ 51 ページ）を参照してください。

◆バッテリの取り外し

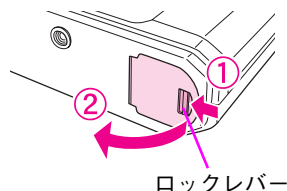
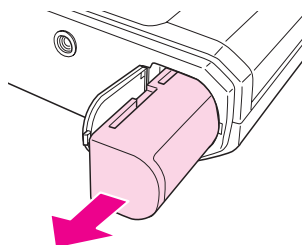
バッテリカバーを開け、以下の手順でバッテリを取り出します。

注 意

- 電源スイッチが「ON」のときにバッテリーカバーを開けると、針式インジケータが動作しなくなったり、SD メモリーカードに保存されているデータが壊れたり、使用できなくなるおそれがあります。
- 針が動いているときは、バッテリカバーを開けないでください。針式インジケータが動作しなくなるおそれがあります。（☞ 145 ページ）

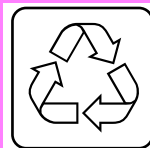
1 **電源スイッチが「OFF」になっていて、針式インジケータの動きが止まっていることを確認し、バッテリカバーを開ける**

ロックレバーを矢印の方向にスライドさせてバッテリカバーを開けます。

2 **バッテリを引き出す**

◆バッテリの交換について

バッテリを充電しても使用時間が短くなってきたときは、バッテリの寿命が考えられます。この場合は、オプションバッテリ（型番：EPALB1）をお買い求めいただき、上記の手順でバッテリを交換します。

注 意

使用済みのリチウムイオンバッテリはリサイクルすることができます。本機を廃棄する場合でも、バッテリは取り外し、資源を有効に利用するため、充電式電池リサイクル店へお持ちください。または、地域の条例や自治体の指示に従ってください。

レンズの取り付け／取り外し

本機の EM マウント（ライカ社 M 型互換マウント）には「M マウント／ VM マウントレンズ」を装着することができます。また、「M バヨネットアダプターリング」（市販品）を装着することで「L マウントレンズ」を装着することができます。

注 意

- レンズの取り付け／取り外しは、ホコリの少ない場所で行ってください。カメラ内部の CCD にホコリなどが付着すると撮影画像に影響が出ることがあります。
- マウントから 20.5mm 以上の外形寸法があるレンズは装着できません。
  ＜装着できないレンズ＞（ライカ社）
  - ･HOLOGON 15mmF8
  - ･SUPER ANGULON 21mmF4
  - ･SUPER ANGULON21mm F3.4
  - ･ELMARIT 28mm F2.8（最初期対象型）
  - ･SUMMICRON 50mm F2（Dual Range SUMMICRON）

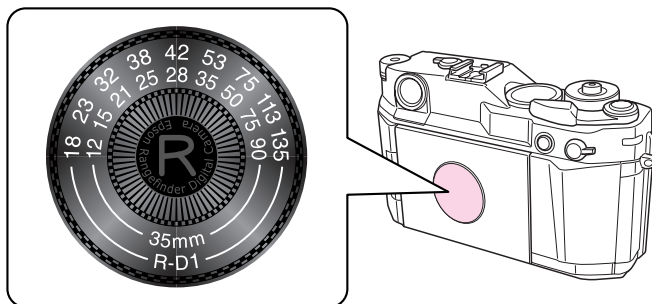
  ＜沈胴できないレンズ＞（ライカ社）
  - ･HEKTOR 50mm F2.5
  - ･ELMAR 50mm F3.5
- 沈鏡胴 (沈胴式）レンズを装着した場合、レンズを押し込む (沈胴させる）ことはできません。無理にレンズを押し込んだり、又は、押し込んだ状態でカメラボディに装着しますと、ボディおよびレンズを破損させる恐れがありますので、押し込まない状態で、固定鏡胴としてお使いください。

上記の原因による本機の故障および破損の修理は、保障期間内であっても保証範囲外となり、有料となります。また、上記の原因による他社製レンズの故障および破損に関しては、当社は一切の責任を負いません。

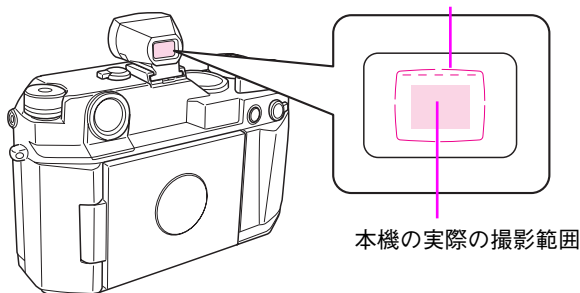
◆レンズの焦点距離について

本機は 23.7 × 15.6mm（APS-C サイズ）の CCD センサを搭載しています。35mm 版カメラの撮影面（35 ×24mm）に比べて小さいために、レンズの焦点距離が35mm版カメラに比べて約 1.53 倍になります。（「対応レンズ例」☞ 158 ページ）

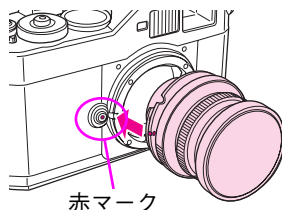
例えば、50mm のレンズを本機に装着した場合、75mm のレンズを 35mm 版カメラに装着した場合とほぼ同等の焦点距離になります。（50 × 1.53=76.5mm）

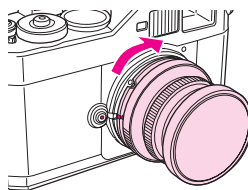
各レンズを本機に装着した場合の焦点距離については、本機背面の「焦点距離換算表」をご確認ください。（焦点距離換算表の「R-D1」用の数値は、35mm 版カメラ用のレンズの焦点距離を約 1.53 倍にした数値です。）

28mm、35mm、50mm レンズは、本機のファインダー内蔵のフレームを切り替えることにより、実際の撮影範囲を確認できます。

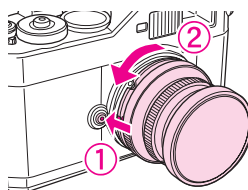
12mm レンズや 15mm レンズなど、内蔵のフレームに対応していないレンズを装着した場合は、外付けファインダーを使用してください。

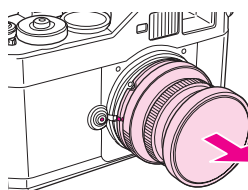
35mm版カメラ用外付けファインダーでは、外付けファインダー内のフレームよりも撮影範囲は狭くなります。

◆ M マウント／VM マウントレンズの取り付け

注 意 以下のM マウントレンズは本機の機構上、装着できません。（「対応レンズ例」☞ 158 ページ）
HOLOGON 15mmF8 ／ SUPER ANGULON 21mmF4 ／ SUPER ANGULON 21mm F3.4 ／ ELMARIT 28mm F2.8（最初期対象型）／ SUMMICRON 50mm F2（Dual Range SUMMICRON）
※マウントから20.5mm以上の外形寸法があるレンズは装着できません。

1 **レンズ着脱ボタンの「赤マーク」と、レンズの「赤マーク」を合わせる**

2 **レンズをはめ込み、レンズを時計回りに回す**

「カチッ」と音がしてレンズが固定されます。

◆ M マウント／VM マウントレンズの取り外し

1 **レンズ着脱ボタンを押したまま、レンズを反時計回りに回す**

2 **「赤マーク」の位置で、レンズを引き抜く**

レンズが外れます。

◆Lマウントレンズの取り付け

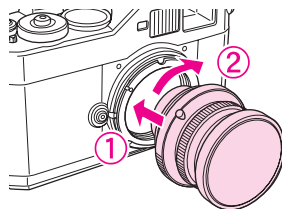
BESSAシリーズ用レンズ（コシナ社製）、また、他社のLマウントレンズの取り付けには、市販品の「M- バヨネットアダプターリング」（コシナ社製）が必要です。「M- バヨネットアダプターリング」の取り付け方法については、「M- バヨネットアダプターリング」の取扱説明書をお読みください。

注意 アダプターリングの取り付け／取り外しは、必ずアダプターリング付属のリアキャップを取り付けたまま、行ってください。リアキャップを外して取り付け／取り外しを行うとけがをするおそれがあります。

1 **「M- バヨネットアダプターリング」を取り付ける**

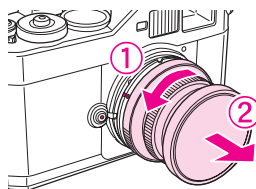
「M- バヨネットアダプターリング」の取り付け方法は、「M- バヨネットアダプターリング」の取扱説明書をお読みください。

2 **レンズマウントネジをネジ溝に合わせ、時計回りに回す**

レンズを強く締めすぎないように回しながら、レンズに付いている「●」（レンズの中心を示すマーク）が上になる位置まで回します。

メモ 「M- バヨネットアダプターリング」（コシナ社製）は3種類ありますが、どれでも使用できます。

◆Lマウントレンズの取り外し

1 **レンズを反時計回りに回す**

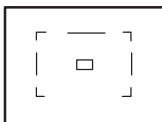
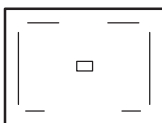
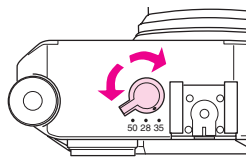
レンズが外れます。

2 **「M- バヨネットアダプターリング」を取り外す**

「M- バヨネットアダプターリング」の取り外し方法は、M- バヨネットアダプターリング」の取扱説明書をお読みください。

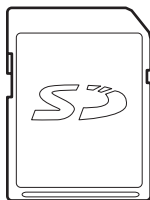
◆画角(フレーム)の設定

本機のファインダー画角設定レバーを、取り付けたレンズの焦点距離に合わせます。ファインダー内のフレームはすでに 1.53 倍に設定されているので、レンズの焦点距離に合わせるだけでお使いいただくことができます。

1 レンズに合わせて、画角設定レバーの位置を変更する

ファインダー内のフレームが切り替わります。

メモリーカードの挿入／取り出し

◆使用できるメモリーカード

本機は、記録媒体として「SD メモリーカード」（市販品）を使用します。

注 意

- メモリーカードの端子面にホコリやゴミが付いた状態で使用しないでください。端子面が汚れていると、データの読み出しや書き込みができない場合があります。
- 本機に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。身体からの静電気は、データを消失・破損させるおそれがあります。
- メモリーカードをセットした後は、取り出すときまで、必ずカバーを閉じておいてください。カバーを閉じておくことで、メモリーカードおよびメモリーカードに記録されているデータを静電気から守ります。
- 本機で使用する SD メモリーカードは、必ず本機でフォーマット（☞94 ページ）してください。パソコン側でフォーマットした SD メモリーカードを使用した場合、データが破損することがあります。
- アクセスランプが点灯しているときに SD メモリーカードを挿入したり取り出したりすると、保存されているデータが壊れたり、使用できなくなるおそれがあります。
- MMC（マルチメディアカード）は、使用できません。

メ モ

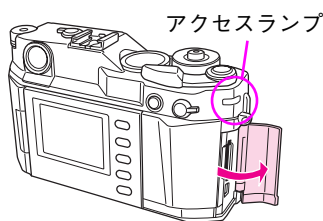
SD メモリーカードには、「ライトプロテクト」（書き込み禁止）機能があります。
SD メモリーカードの側面にあるノッチを「LOCK」方向にスライドさせると書き込み禁止となり、SD メモリーカード内のデータを保護することができます。ただし、撮影や初期化ができませんので、撮影時には書込み禁止を解除してお使いください。

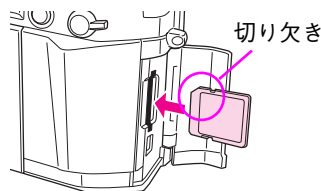
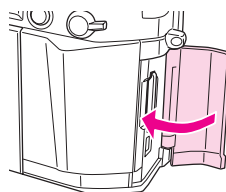
◆メモリーカードの挿入

注 意

- 誤った向きに差し込んだり、差し込みが不十分な場合は、メモリーカードを認識しません。
- 本機はSDメモリーカードが挿入されていなくてもシャッターを切ることができますが、この場合、データは記録されませんのでご注意ください。

1 アクセスランプが点灯していないことを確認し、メモリーカードカバーを開ける

メモリーカードカバーの下端側の角から、カバーを開けます。

2 メモリーカードを挿入する

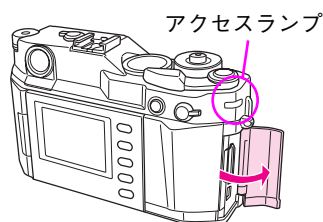
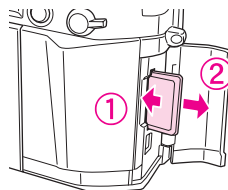
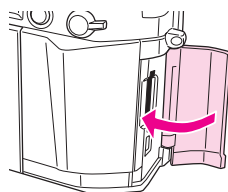
メモリーカードの向きに注意して、「カチッ」という音がする位置まで押し込みます。

3 メモリーカードカバーを閉じる

メ モ

- 「書込み禁止」になっているSDメモリーカードは、記録・消去ができません。（☞31ページ）
- アクセスランプが点灯していない場合は、各種設定操作中でもメモリーカードを取り出すことができます。（ただし、メモリーカードのフォーマット中は本機がメモリーカードにアクセスするため、メモリーカードを取り出すことはできません。）
- 未フォーマットのSDメモリーカードを挿入した場合は、⏎を押すとSDメモリーカードをフォーマットする画面が表示されます。

◆メモリーカードの取り出し

注 意　アクセスランプが点灯しているときは、メモリーカードを取り出したり、カメラ本体に振動や衝撃を与えたり、バッテリを取り出したりしないでください。

1 **アクセスランプが点灯していないことを確認し、メモリーカードカバーを開ける**

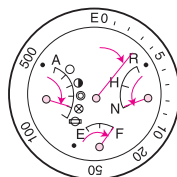
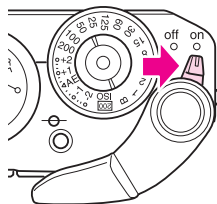
メモリーカードカバーの下端側の角から、カバーを開けます。

2 **メモリーカードを軽く押し込み、まっすぐ引き抜く**

3 **メモリーカードカバーを閉じる**

メ モ　アクセスランプが点灯していない場合は、各種設定操作中でもメモリーカードを取り出すことができます。(ただし、メモリーカードのフォーマット中は本機がメモリーカードにアクセスするため、メモリーカードを取り出すことはできません。)

電源の入れ方／切り方

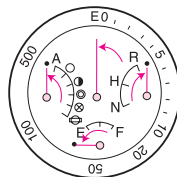
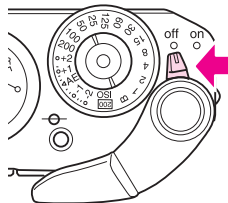
◆電源の入れ方

1 **電源スイッチを「ON」にする**

針式インジケータの針が、現在の情報を示す位置に移動します。

購入後、最初に電源を ON にしたときは、表示言語や日時を設定する必要があります。(☞ 35 ページ)

◆電源の切り方

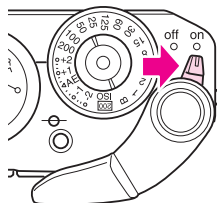
1 **電源スイッチを「OFF」にする**

針式インジケータの針が、元の位置(原点)へ戻ります。

◆最初に電源を入れたときは

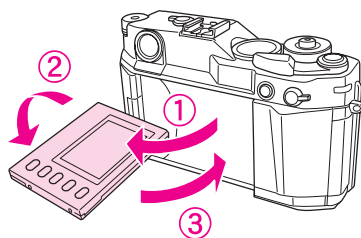
購入後、最初に電源をONにしたときは、日時を設定する必要があります。以下の手順で必要な設定を行ってください。

1 **電源スイッチを「ON」にする**

針式インジケータの針が、現在の情報を表示します。

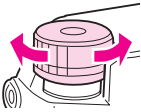
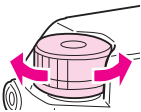
以下の手順にしたがって、日時を設定します。

2 **液晶モニタを外側に向ける**

自動的に日時設定画面が表示されます。

3 **[ダイヤル]で設定したい「年」を選び、[↵]を押す**

「年」の数値が確定され、「月」の項目に移動します。

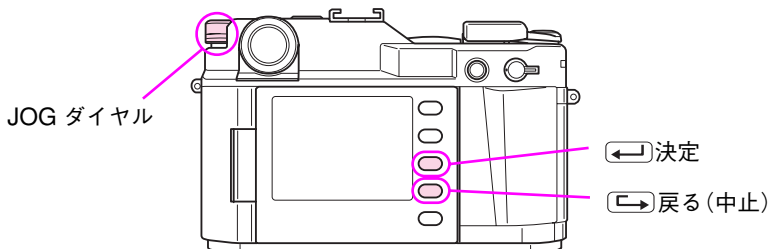
[戻る]を押すと、1つ前の項目に戻ります。

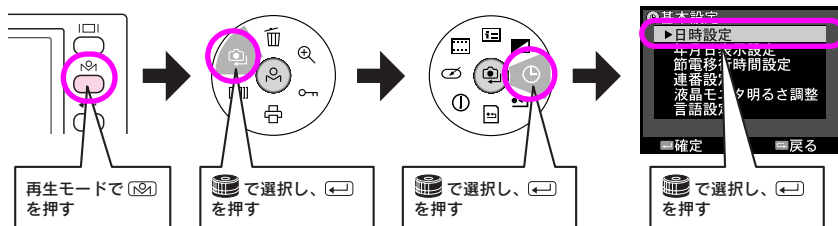
4 **同様の手順で、「月」「日」「時」「分」を選ぶ**

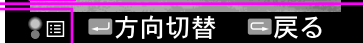
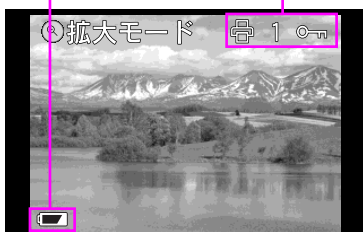
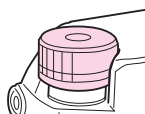
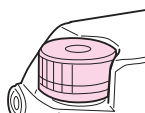
日付と時刻が設定され、撮影モードになります。(液晶モニタはOFFになります。)

メモ	長期間使用せずに保管していた場合も、電源を入れたときに日時の設定が必要になることがあります。(☞ 140ページ)

基本操作と画面の見方

◆基本操作

本機のほとんどのメニュー操作は、JOG ダイヤル（ ）で選択して、 ボタンで決定して進めます。操作を中止するときは ボタンを押します。

操作	JOG ダイヤルの位置
JOG ダイヤルを引き上げて選択	
JOG ダイヤルを下げて選択	
JOG ダイヤルで選択	どちらの位置でも可

操作例）

◆画面の見方

バッテリが少なくなるとバッテリマークが表示されます。
99 印刷設定されていると印刷マークと印刷枚数が表示されます。
画像データが「保護」に設定されていると、保護マークが表示されます。
拡大モード
1
方向切替
戻る
表示中の画面で可能な操作や、画面の情報を示します。
例 1）
方向切替
戻る
ボタンの機能説明
例 2）
2/2
画像番号／総画像枚数
JOG ダイヤルが上の位置のときは上の○が点灯します。
JOG ダイヤルが下の位置のときは下の○が点灯します。

デジタルカメラについて

デジタルカメラでは、従来のフィルムカメラと異なり、撮影した画像をデジタルデータで記録します。ここでは、本機でデジタルデータを扱う上での基本的なことがらを説明しています。

◆画像品質（記録形式・記録サイズ・圧縮率）

デジタルカメラでは、あらかじめ記録形式や記録サイズ、圧縮率などの画像品質を設定して撮影を行います。画像品質は、撮影データの用途(出力サイズなど)によって決めます。

記録形式

本機では、撮影した画像を JPEG 形式または、RAW 形式で記録することができます。

記録形式	JPEG	RAW
概要	多くのデジタルカメラで採用している形式で、一般的なアルバムソフトや他のデジタルカメラなどで見ることができます。ファイルを小さくするために、人間の目には認識しずらい色や階調を間引いているため、非可逆性のデータになります。 ※ JPEG データは、Exif2.21、および、DCF2.0 に準拠しています。	RAW（生の）というとおり、レンズから入って CCD が受け取った光のデータをそのまま記録する形式です。（フィルムカメラでいえば、フィルムに焼き付けられたままのような状態です。） このデータは専用のアプリケーションを使って画像を処理し、JPEG データや TIFF データとして出力します。これをフィルムと同様に、「現像」といいます。 ※本機での再生は可能です。
メリット	• 画像をすぐ見ることができる • ファイルサイズが小さい • 汎用性がある（いろいろなソフトウェアに対応している）	• ホワイトバランスや露出補正値などを現像時に調整できる • CCD が受け取った光のデータを直接加工するため、画像の劣化を防ぐことができる • JPEG 形式よりも多階調な色を記録できる
デメリット	画像を加工すると劣化する	• ファイルサイズが大きい • 汎用性がない • 現像のためにパソコンが必要 • 画像加工の知識が必要

記録サイズ

記録サイズと用途の関係は､以下のようになります。

記録形式と記録サイズ	用途	平均ファイルサイズ
約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の RAW	高精細なフォトレタッチおよび A3 サイズまでの出力に適しています。(専用のソフトウェアによる「現像」が必要です。「ソフトウェア編」)	約 10MB
約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の JPEG	A3 サイズまでの出力に適しています。	約 3MB
約 300 万画素（2240 × 1488pixel）の JPEG	A4 サイズまでの出力に適しています。	約 1.5MB

圧縮率

本機で撮影する JPEG 画像は､すべて圧縮率 1 ／ 4(固定)となります。(圧縮率は変更できません。)

◆ファイル名

本機で撮影した画像データは､｢EPSN ＊＊＊＊ .XXX｣というファイル名で記録されます。｢＊＊＊＊｣の部分は連番になります。また､｢.XXX｣の部分は､JPEG の場合は｢.JPG｣､RAW の場合は｢.ERF｣という拡張子になります。

◆ISO 感度について

フィルムカメラでは、ISO 感度はフィルムごとに決まっていますが、デジタルカメラでは、カメラ側で設定します。(フィルムと異なり、1 ショットごとに変更することもできます。)
ISO感度の設定は、暗い場所では高めに設定するとシャッタースピードを速くすることができますが、画像にざらつき(ノイズ)が生じることがあります。また、低めに設定することで、ノイズの少ない画像を得ることができますが、シャッタースピードが遅くなり、画像がぶれやすくなります。
本機で設定できる ISO 感度は、ISO200 ～ 1600 になります。

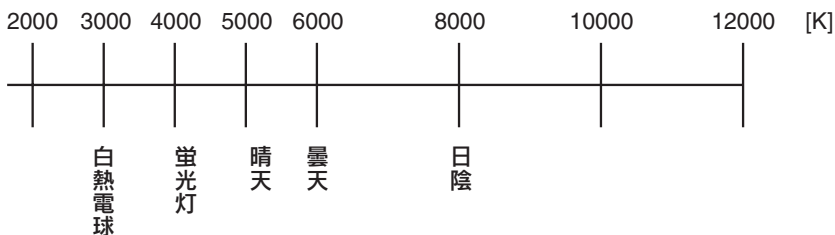
◆ホワイトバランスについて

人間の目は、どんな照明のもとでも「白い被写体は白に見える」という順応性を持っています。これに対してデジタルカメラで白い被写体を白く写すためには、被写体周辺の光源に合わせて、カメラ側で調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
本機で設定できるホワイトバランスは、オート／晴天／日陰／曇天／白熱電球／蛍光灯になります。

メモ

- 「RAW 形式」で撮影し、本機に付属のアプリケーションで現像する場合は、色温度（2000K ～ 10000K）などによるホワイトバランスの設定なども可能です。（☞ 120 ページ）
- フィルムカメラのように「フィルター」を使用して色調整を行いたい場合は、本機のホワイトバランスを「晴天」に設定してください。

色温度

光の色を絶対温度（K:ケルビン）で表したものを、「色温度」といいます。色温度とホワイトバランスの関係は以下のようになります。

◆ CCD センサについて

CCD（撮影素子）は、フィルムカメラの「フィルム」にあたる部分です。デジタルカメラのレンズから入ってきた光は、CCD に集められ、光の情報がデジタルデータに変換されます。この CCD センサ にゴミやホコリが付着すると、撮影した画像に黒い点が写り込むことがあります。（CCD センサ に付着したゴミやホコリの場合は、常に同じ位置に黒い点が写り込みます。）
CCD センサにゴミやホコリが付着した場合は、CCD センサの清掃手順にしたがって清掃してください。（☞ 142 ページ）

注 意

できるだけ CCD センサにゴミやホコリが付着しないようにするためには特に以下の点にご注意ください。

- ホコリの多い場所でレンズを交換しない
- 本機を上向きにしてレンズ交換しない
- ホコリの多い場所に置いておかない
- 本機を使用しない場合はレンズ部カバーを取り付けて保管する

2 章　撮影

◆カメラの持ち方･構え方

カメラを構えるときは､以下のようにすると安定します。

注 意
- レンズキャップを外した状態でレンズを太陽に向けないでください。太陽光線によりシャッター膜を傷めるおそれがあります。
- レンズ保護のため、撮影後はレンズキャップをつけてください。

1 右手でグリップを包み込むように持ち､人差し指をシャッターボタンにかける

両手でカメラを支えます。
両手と額(または鼻)の3点で支えると､より安定して構えることができます。

2 わきを締め､軽くひじを体につける

3 軽く足を開いて､片足を前に出す

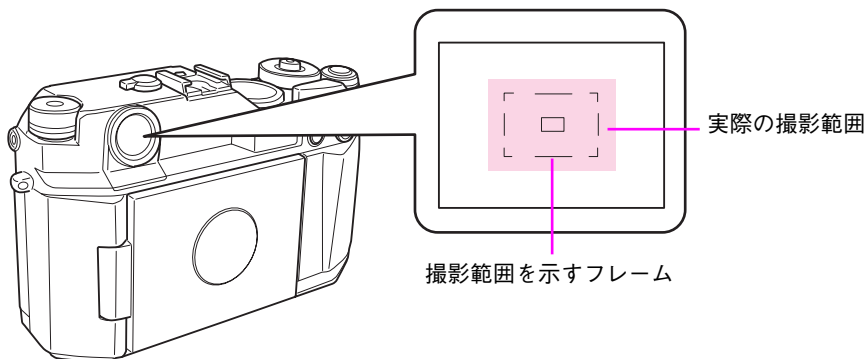
メ モ シャッタースピードが遅いときは､手ぶれを防ぐため､三脚､ケーブルレリーズなどの使用をお勧めします。

◆撮影手法

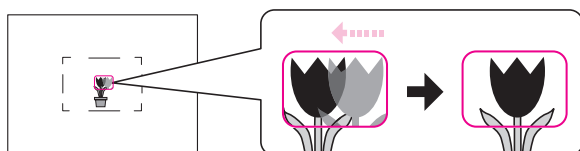
被写体に応じて、以下のような撮影のしかたがあります。

撮影手法		内容
絞り優先 AE 撮影		レンズの絞りと露出補正値を自分で決めて、シャッタースピードをカメラに任せて撮影します。スナップ撮影する場合に適した撮影方法です。任意の位置で露出を固定することもできます。（AE ロック撮影）
マニュアル撮影	絞りを先に決める場合	背景のボケ具合など、被写界深度をコントロールしたい場合に適した撮影方法です。人物を撮影するときに、背景をぼかした写真を撮影することができます。 露出はシャッタースピードダイヤルで調整します。
	シャッタースピードを先に決める場合	被写体の動きを表現したい場合に適した撮影方法です。被写体に合わせてシャッタースピードを決定することによって、止まっているような写真や、スピード感のある写真を撮影することができます。 露出はレンズの絞りで調整します。
その他の撮影	バルブ撮影	夜景や花火、天体を撮影する場合に適した撮影方法です。
	フラッシュ撮影	室内など、明るさが足りない場合に適した撮影方法です。本機でフラッシュ撮影をする場合は、外部フラッシュ（市販品）が必要です。

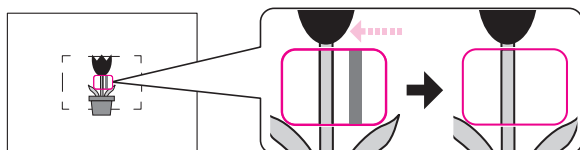
◆ファインダー視野率

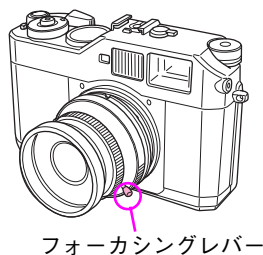
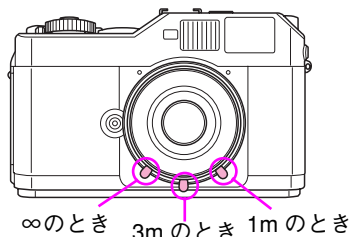
本機のファインダー視野率（ファインダーで確認できる範囲）は85%（3m時）です。実際に撮影される範囲は、ファインダー内のフレームより多少広くなります。

◆ピントの合わせ方

本機では、以下の方法でピントを合わせます。

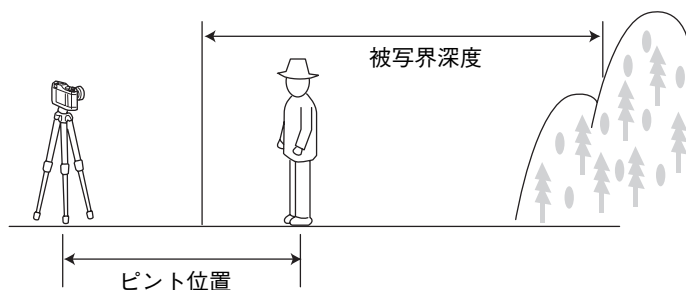
1 ファインダーを覗きながらレンズの距離リングを回し、中央の二重像を合致させる

メ　モ	ピントを合わせるときは、必ずファインダー接眼窓の中央に眼を置いてまっすぐ見てください。

すばやいピント合わせのために1

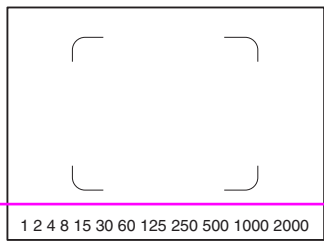
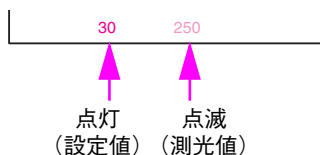
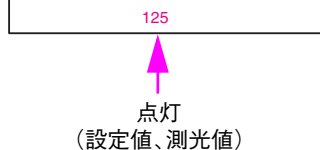
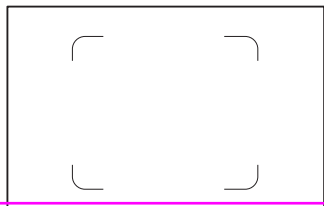
接眼窓の中に縦の線を見つけると、より正確なピント合わせが可能になります。

すばやいピント合わせのために2

フォーカシングレバーを備え、フォーカス距離表示があるレンズを使用している場合は、このレバーの位置と目測による測距によっておおよそのピント合わせが可能になります。

すばやいピント合わせのために３（パンフォーカス撮影）

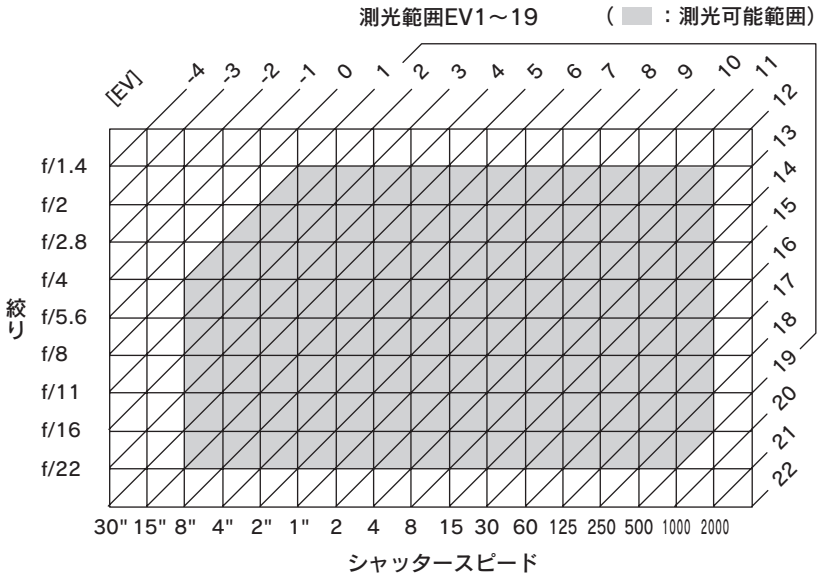
広角レンズでスナップ撮影をするときや絞りを絞り込んで風景をくっきり撮影するときは、絞り優先AE撮影で絞りを絞り込んで撮影すると遠景から近景までの画面全体にピントがあったように撮影することができます。これを「パンフォーカス撮影」といいます。（パンフォーカスになる条件はレンズによって異なります。）

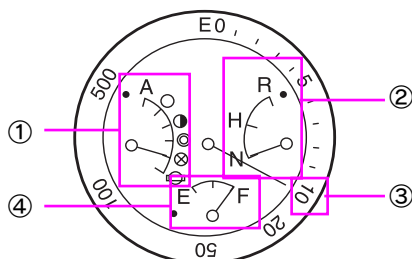
パンフォーカス撮影は、近くの被写体と遠くの景色を一緒に撮るとき、被写体にフォーカスが合わせにくいときなどに便利な設定です。また、ピント合わせの失敗がなく、ピント合わせの時間も必要ないため、子供を撮るときなどにも便利な設定です。

◆露出計の見方

本機には、中央部重点平均測光露出計が装備されており、露出計での測定値はファインダー部に表示されます。絞りとシャッタースピードを変えて撮影する場合、この露出計を確認し、適正露出になるように設定します。

マニュアル撮影の場合

絞り優先 AE 撮影の場合

本機の測光範囲について

本機に内蔵されている露出計の測光可能範囲は EV 1 ～ EV19(ISO100 時) です。
測光可能な範囲(EV 値、シャッタスピード、絞り)は以下のとおりです。

ISO100 時のシャッタースピード・絞り・EV 値の関係図

◆針式インジケータの確認

撮影の前には、針式インジケータを確認して、バッテリ残量、ホワイトバランス、画像品質、撮影可能枚数をチェックしておきます。

① ホワイトバランス

ホワイトバランスの設定をマークで示しています。

A：オート	○：晴天	◐：日陰
◎：曇天	⊗：白熱電球	：蛍光灯

② 画像品質

画像品質の設定を示しています。

R：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の RAW
H：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の JPEG
N：約 300 万画素（2240 × 1488pixel）の JPEG

③ 撮影可能枚数

針式インジケータの外周の目盛りで、現在設定されている画像品質での撮影可能枚数を示しています。

500 ～ 10：おおよその撮影可能枚数を示します。
10 ～ 1　：残りの撮影可能枚数を示します。
0　　　　：撮影可能枚数がありません。
E　　　　：SDメモリーカードが入っていない場合など、「SDカードエラー」であることを示します。

④ バッテリ残量

F　：バッテリ残量は十分あります。
E　：バッテリ残量がありません。

メ　モ	撮影可能枚数の表示は、だいたいの目安です。画像ファイルのサイズは、撮影する画像や画像品質の設定によっても異なります。

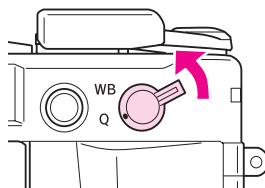
画質に関する設定

本機の画質に関する設定は以下のようになっています。設定は必要に応じて変更することができます。

項目	設定値 （※は初期設定）	設定内容	参照
画像品質	R：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の RAW H：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の JPEG ※ N：約 300 万画素（2240 × 1488pixel）の JPEG	撮影する画像の記録形式と記録サイズを設定します。	☞ 53 ページ
フィルム設定	標準設定※ フィルム 1 フィルム 2 フィルム 3	撮影する画像の彩度やコントラスト、エッジ強調などのタイプを設定します。 「フィルム 1 ～ 3」を選択した場合は、自分の好みに応じた設定値を設定することができます。 （☞ 90 ページ）	☞ 89 ページ
ISO 感度	200 ※ 400 800 1600	撮影状況に応じて ISO 感度を設定します。	☞ 54 ページ

◆画像品質を設定する

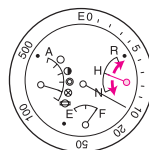
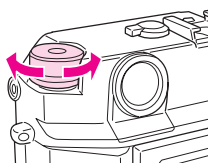
画像品質は、以下の手順で選択します。

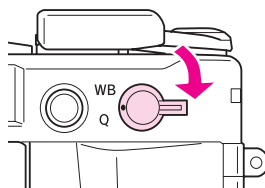
1 **画像品質／ホワイトバランス設定レバーを「Q」側に合わせる**

2 **レバーを合わせたまま (JOGダイヤル) を回し、画像品質を選択する**

JOG ダイヤルを回すと針式インジケータの針が動きます。

R：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の RAW

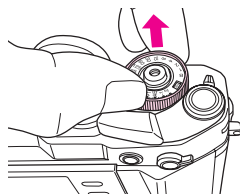
H：約 600 万画素（3008 × 2000pixel）の JPEG

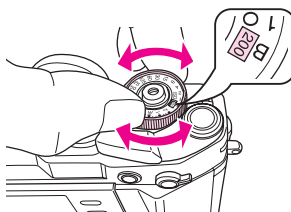
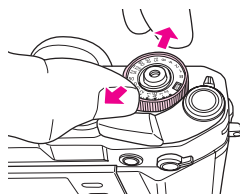
N：約 300 万画素（2240 × 1488pixel）の JPEG

3 **画像品質／ホワイトバランス設定レバーを離す**

針式インジケータに画像品質が表示されます。

◆ISO 感度を設定する

ISO 感度は、以下の手順で選択します。

1 シャッター速度ダイヤルを引き上げる

外側の枠が持ち上がります。

2 ISO 感度を設定する

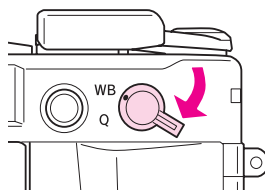
シャッター速度ダイヤルに ISO 感度が表示されます。

3 シャッター速度ダイヤルを離す

メモ	被写体が暗いときは、ISO 感度を高めに設定するとシャッタースピードを速く設定することができます。ただし、ISO感度を高めに設定した場合は、画像にざらつき（ノイズ）が生じることがあります。

光源に関する設定

本機の光源に関する設定は以下のようになっています。設定は必要に応じて変更することができます。

項目	設定値 （※は初期設定）	設定内容
ホワイトバランス	オート※ 晴天 日陰 曇天 白熱電球 蛍光灯	光源に応じてホワイトバランスを設定します。

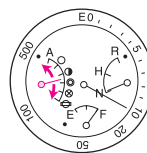
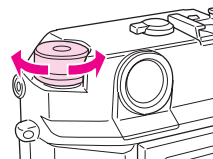
◆ホワイトバランスを設定する

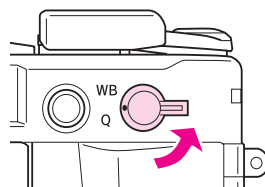
1 **画像品質／ホワイトバランス設定レバーを「WB」側に合わせる**

2 **レバーを合わせたまま、を回し、ホワイトバランス（光源）を選択する**

JOG ダイヤルを回すと針式インジケータの針が動きます。

A :オート　◎ :曇天

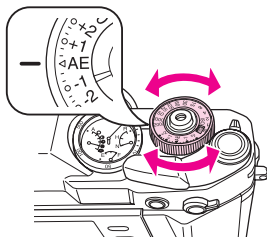
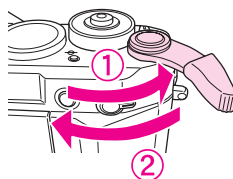
○ :晴天　⊗ :白熱電球

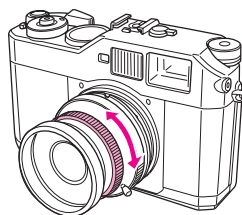
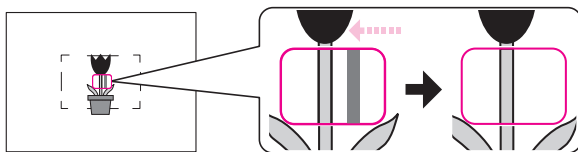
◐ :日陰　⊖ :蛍光灯

3 **画像品質／ホワイトバランス設定レバーを離す**

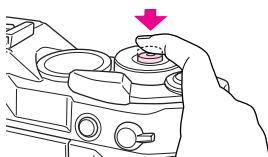
針式インジケータにホワイトバランスが表示されます。

絞り優先AE撮影

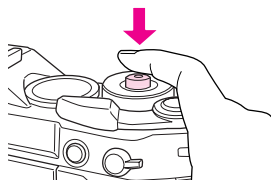
絞り優先AE撮影では、絞りを設定するとシャッタースピードを自動的にカメラが決定します。これを「絞り優先AE撮影」といいます。絞り優先AE撮影は、以下の手順で行います。

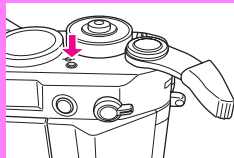
1 シャッター速度ダイヤルを「AE」に合わせる

シャッター速度ダイヤルは「AE」の位置で固定されます。

2 シャッターチャージレバーを操作する

3 レンズの絞りリングを回し、設定したい絞りに合わせる

シャッタースピードを速くしたい場合や背景をぼかしたい場合は絞りを開放方向へ、被写界深度を深くしたい場合は絞りを絞る方向へ回します。

4 ピントを合わせる

5 シャッターボタンを半押しし、ファインダー内に表示されるシャッタースピードを確認する

シャッタースピードを変更したい場合は、手順3に戻り、絞りを調節します。

6 シャッターボタンを全押しする

適正露出になるように自動的にシャッタースピードが設定され､写真が撮影されます。

注 意

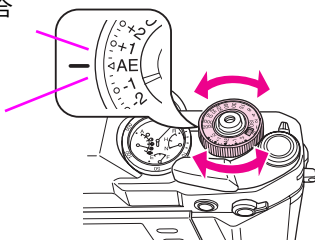
本機のシャッター速度ダイヤルは､｢AE｣の位置で自動的に固定されます｡再度､シャッタースピードダイヤルを操作する（AEの位置から動かす）場合は､右図のロックボタンを押しながら操作してください。

メ モ

- 絞りの数値が小さくなるほど背景をぼかした写真を撮影できます。（被写界深度が浅くなります。）
- 絞りの数値が大きくなるほど広い範囲をくっきりさせた写真を撮影できます。（被写界深度が深くなります。）
- 「フィルムタイプの設定」（☞90 ページ）でノイズ低減を「強」に設定している場合、撮影時のシャッタースピードが2秒以上になると、ノイズ除去処理のため撮影時間が長くかかる場合があります。（ノイズ除去処理中に電源をOFFにしたり､バッテリがなくなると､ノイズ除去処理前の画像が記録されます。）

◆露出補正をする場合

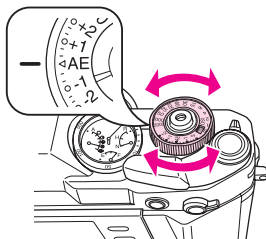
本機で測定した露出を意図的に変えることを「露出補正」といいます。本機では、シャッター速度ダイヤルで露出補正を行います。

被写体に比べて背景が明るい場合
（＋側に露出を補正する）

被写体に比べて背景が暗い場合
（－側に露出を補正する）

メモ	本機は中央部重点平均測光式のため、被写体の色によって測光値が変わります。撮影の際、白っぽい被写体の場合は露出のプラス補正、黒っぽい被写体の場合は露出のマイナス補正が必要となります。

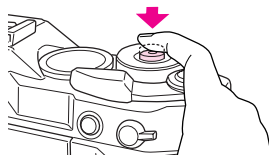
露出補正を解除するときは

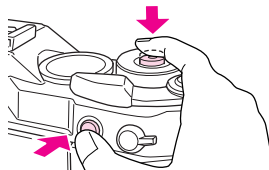
1 シャッター速度ダイヤルを「AE」に合わせる

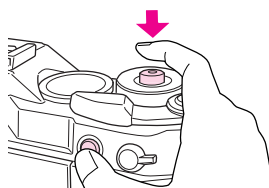
露出補正量が0になります。

◆露出を固定する場合（AE ロック撮影）

絞り優先 AE 撮影で、被写体が構図の中心にない場合や逆光の場合など、露出を決めてから撮影したい場合は、「AE ロック」ボタンを使って露出を固定して撮影します。
※基本的な撮影のしかたは「絞り優先 AE 撮影」と同様です。

1 「絞り優先AE 撮影」（☞ 56ページ）の手順１～４の操作を行う

2 露出をあわせたい対象にカメラを向けて、シャッターボタンを半押しする

3 ファインダー内にシャッタースピードが表示されている間に「AE ロック」ボタンを押す

「AE ロック」ボタンを押している間、露出が固定されます。（シャッターボタンから指を離しても露出は固定されています。）

4 「AE ロック」ボタンを押したまま撮影したい構図に戻し、シャッターボタンを全押しする

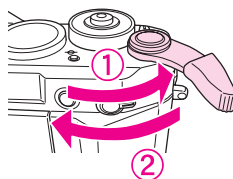
「AEロック」ボタンを押したときの露出で、撮影されます。

メ モ	シャッターボタンの半押しでは、露出は固定されません。

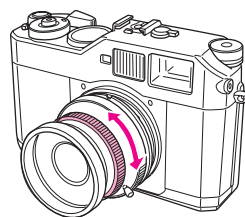
マニュアル撮影

マニュアル撮影では、被写体や撮影意図に応じて絞りを先に決めたり、シャッタースピードを先に決めたりして撮影します。

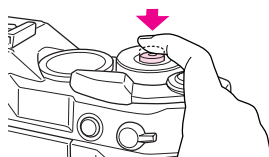
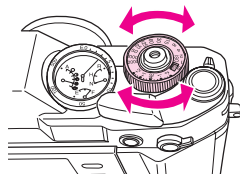
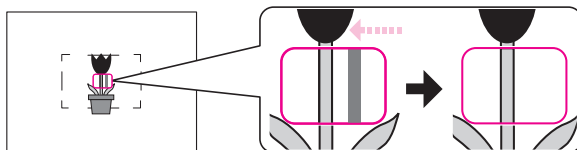
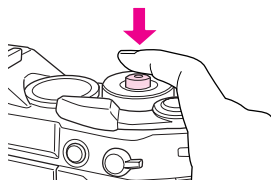
◆絞りを先に決める場合

絞りを先に決めて撮影する場合は、以下の手順で撮影します。

1 **シャッターチャージレバーを操作する**

2 **レンズの絞りリングを回し、設定したい絞りに合わせる**

シャッタースピードを速くしたい場合や背景をぼかしたい場合は絞りを開放方向へ、被写界深度を深くしたい場合は絞りを絞る方向へ回します。

3 **シャッターボタンを半押しする**

露出計が作動し、ファインダー内に適正露出となるシャッタースピードが表示されます。

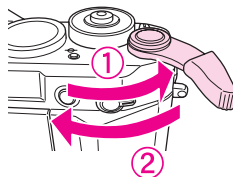
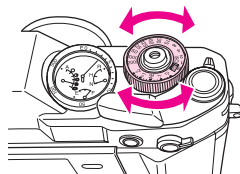
半押し後、露出計は約12秒間作動します。

4 **シャッター速度ダイヤルを回し、適正露出になる位置に合わせる**

5 **ピントを合わせる**

6 シャッターボタンを全押しする

写真が撮影されます。

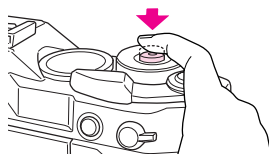
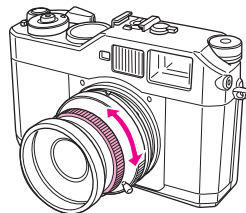
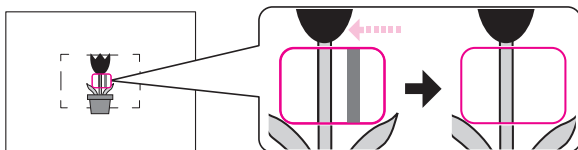
メモ	
	• 絞りの数値が小さくなるほど背景をぼかした写真を撮影できます。（被写界深度が浅くなります。）
	• 絞りの数値が大きくなるほど広い範囲をくっきりさせた写真を撮影できます。（被写界深度が深くなります。）

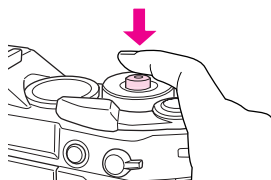
◆シャッタースピードを先に決める場合

シャッタースピードを先に決めて撮影する場合は、以下の手順で撮影します。

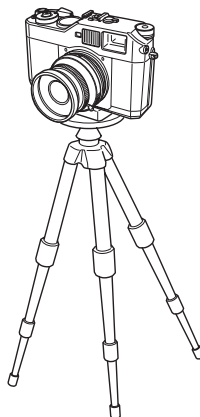
1 シャッターチャージレバーを操作する

2 シャッター速度ダイヤルを回し、設定したいシャッタースピードに合わせる

3 シャッターボタンを半押しする

露出計が作動し、ファインダー内に適正露出となるシャッタースピードが表示されます。

半押し後、露出計は約12秒間作動します。

4 レンズの絞りリングを回し、ファインダー内に表示されるシャッタースピードが、シャッター速度ダイヤルで設定した値と同じになる位置に合わせる

5 ピントを合わせる

6 シャッターボタンを全押しする

写真が撮影されます。

> **メ モ**
> シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体の場合でも、止まっているように見える写真を撮影できます。また、シャッタースピードを遅くすると、流動感のある写真を撮影できます。

手ブレを防ぐために

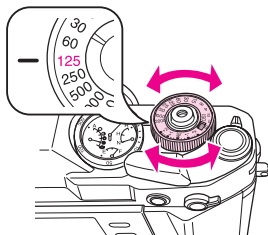
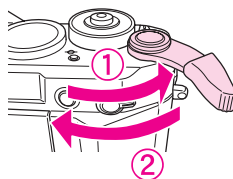
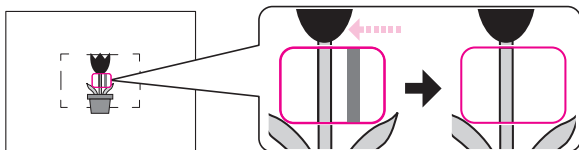
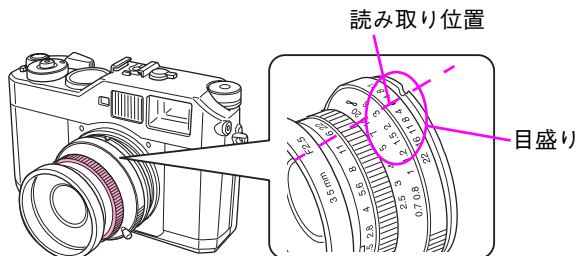
手ブレを防ぐためには、一般にシャッタースピードを「1／焦点距離」秒より速く設定します。
（☞ 27 ページ）
シャッタースピードが遅いときは、三脚を使用することをお勧めします。

その他の撮影

◆フラッシュ撮影

本機では、外部フラッシュ（市販品）を利用して、1／125以上の遅いシャッタースピードで同調撮影（シンクロ撮影）を行うことができます。外部フラッシュを使った撮影は、以下の手順で行います。

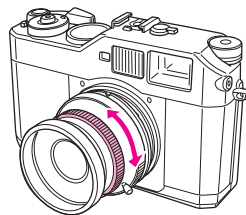
1 外部フラッシュを取り付ける

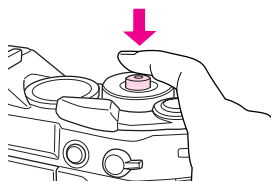
2 シャッタースピードを「1／125」に合わせる

本機のフラッシュ同調速度は1／125です。

3 シャッターチャージレバーを操作する

4 おおよそのピントを合わせる

5 レンズの目盛りを見て、被写体までの距離を読み取る

6 外部フラッシュ側の距離と絞りの関係を示した表から、適正な絞り値を読み取る

距離と絞りの関係を示した表については、外部フラッシュの取扱説明書を参照してください。

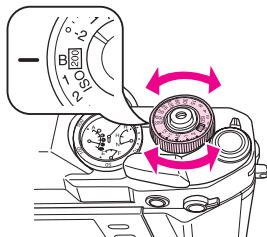
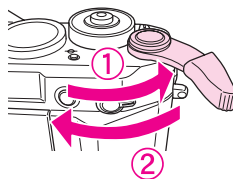
※ フラッシュの距離と絞りの関係は、フラッシュの光量(ガイドナンバー)によって異なります。

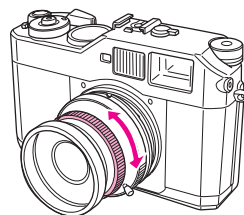
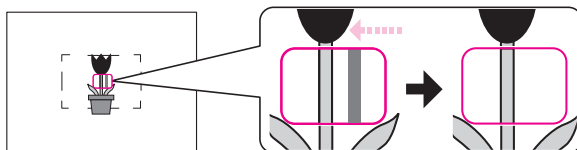
7 レンズの絞りリングを回し、適正な絞りに合わせる

8 再度、ピントを合わせ、シャッターを全押しする

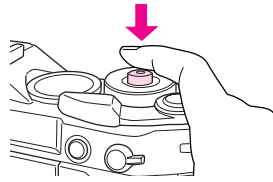
写真が撮影されます。

メ モ	外部フラッシュの詳しい使い方については、外部フラッシュの使用説明書をお読みください。

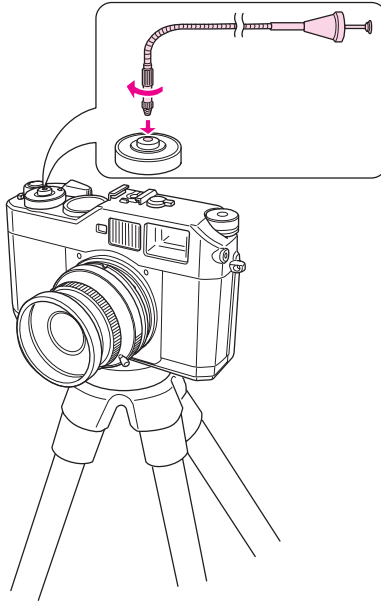
◆バルブ撮影

本機では、夜景や花火、天体などを撮影するときなど、長時間シャッターを開けたままにしておく「バルブ撮影」を行うことができます。バルブ撮影は、以下の手順で行います。

1 **シャッター速度ダイヤルを回し、「B」に合わせる**

2 **シャッターチャージレバーを操作する**

3 **レンズの絞りリングを回し、設定したい絞りに合わせる**

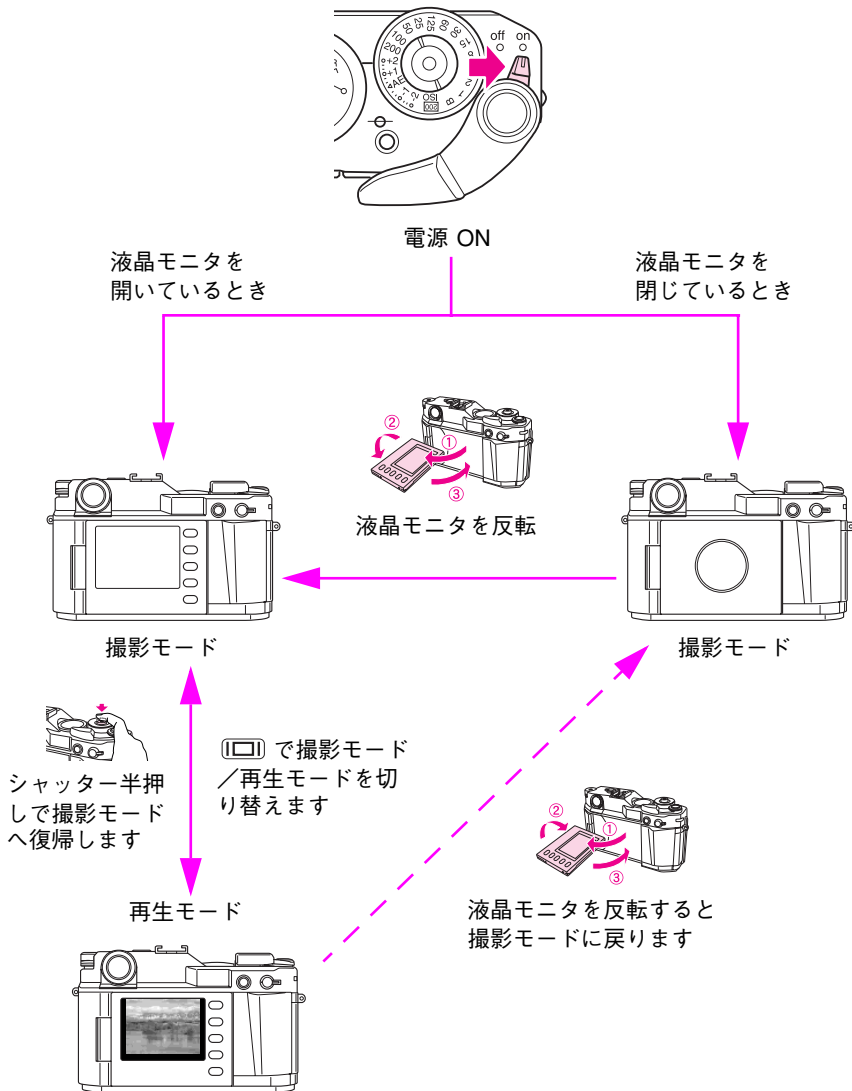
通常は、開放位置に合わせます。

4 **ピントを合わせる**

5 露光したい時間だけシャッターを押し続ける

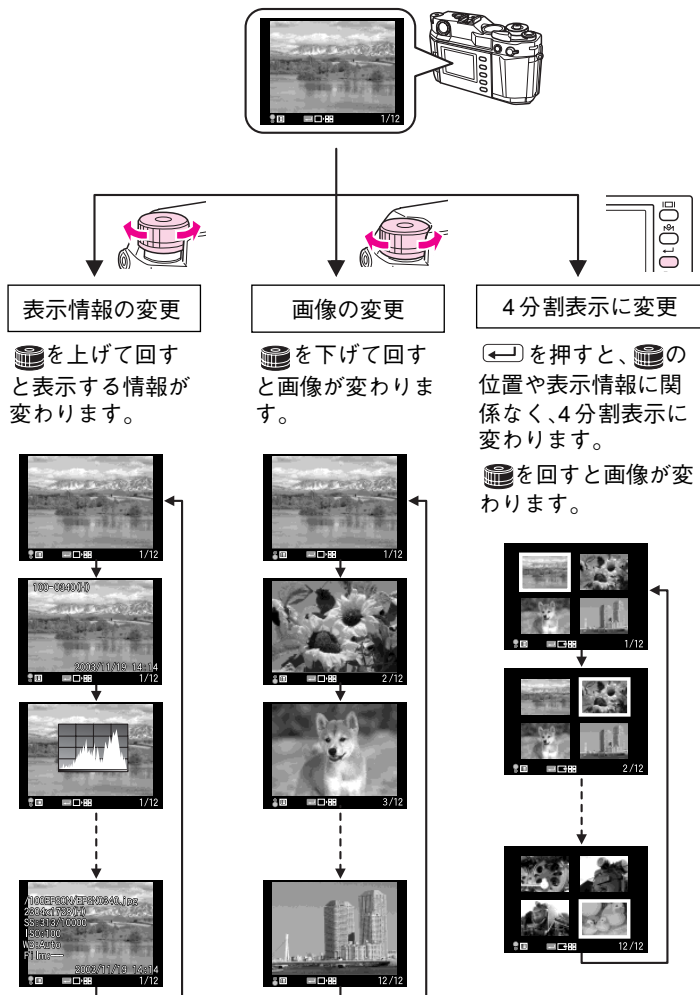
シャッターボタンから指を離すと、撮影を終了します。シャッタースピードを「B」（バルブ）に設定した場合、シャッタースピードはファインダーに表示されません。

メモ

- バルブ撮影を行うときは、手ブレを防止するため三脚やレリーズをご使用いただくことをお勧めします。

- 「フィルムタイプの設定」（☞ 90 ページ）でノイズ低減を「強」に設定している場合、撮影時のシャッタースピードが 2 秒以上になると、ノイズ除去処理のため撮影時間が長くかかる場合があります。（ノイズ除去処理中に電源を OFF にしたり、バッテリがなくなると、ノイズ除去処理前の画像が記録されます。）

3章　再生

画像の再生

本機は電源を「ON」にすると、必ず撮影モードで起動します。撮影モードのとき、[button icon]を押すと、再生モードに切り替えることができます。(再生モードに切り替えると、画像データのファイル番号が最も大きい画像が表示されます。)

表示の切り替え

再生モード時の表示は､以下のように切り替えます。

もう一度、を押すと、
4分割表示前の表示に戻ります。

メ　モ	初めて再生モードにしたときは､｢標準表示｣(☞70ページ)で表示されます。(次回､再生モードにしたときは､前回の表示モードで表示されます。)

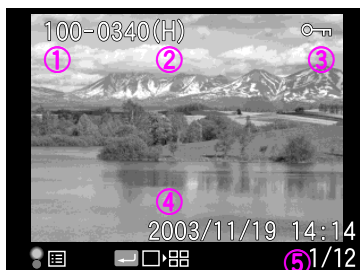
◆表示情報の見方

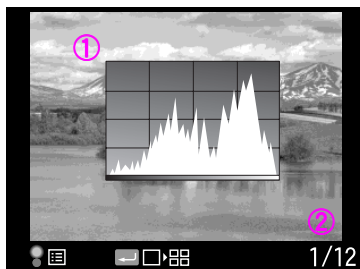
を上にして回すと以下の情報が表示されます。

標準表示

①画像番号／総画像数

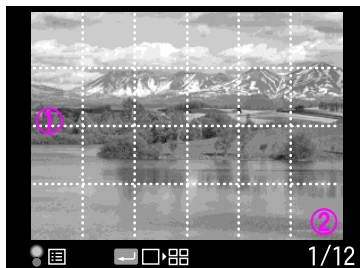
簡易情報表示

①ファイル番号
②画像品質
③保護マーク(保護されている場合)
④撮影日時
⑤画像番号／総画像数

ヒストグラム表示

①ヒストグラム
②画像番号／総画像数

ハイライト表示

①ハイライト部(白色部と黒色部の交互点滅)
②画像番号／総画像数

フレーミングガイド表示

①フレーミングガイド
②画像番号／総画像数

詳細情報表示

①フォルダを含むファイル名
②画像品質
③シャッタースピード
④ ISO 感度
⑤ホワイトバランス
・AUTO：オート　・Daylight：晴天
・Cloudy：曇天　・Shade：日陰
・Fluorescent：蛍光灯　・Incandescent：白熱電球
⑥フィルム設定
・Standard：標準設定
・E：エッジ強調 ・S：彩度 ・T：色合い ・C：コントラスト ・N：ノイズ低減
※ L ＝弱、M ＝中、H ＝強
⑦撮影日時
⑧画像番号／総画像数
⑨印刷マーク＋枚数（印刷設定されている場合）
⑩保護マーク（保護されている場合）
⑪カラー設定

◆ 4 分割表示の見方

（↵）を押すと、4 分割表示に切り替わります。

4 分割表示

①選択中の画像の画像番号／総画像数

画像を拡大する

ピントが合っているか確認するときなど、画像を拡大して確認することができます。

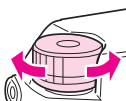
1 再生モードで拡大したい画像を表示させ、[機能選択ボタン] を押す

「機能選択メニュー」が表示されます。

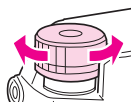
2 [ダイヤル] で [拡大アイコン]（拡大）を選び、[↵] を押す

メ　モ	JPEG画像の場合は最大約9.4倍、RAW画像の場合は最大約2倍まで拡大することができます。

拡大画面での操作

拡大モードでは、以下のように操作します。

JOG ダイヤル(下)を回すと、画像が拡大表示されます。
(最大約 9.4 倍)

例)約 4 倍表示の場合

を 1 回押すと 1 倍表示に戻り、さらに 1 回押すと「機能選択メニュー」に戻ります。
(1 倍表示のときは、を 1 回押すと「機能選択メニュー」に戻ります。)

拡大表示のときに JOG ダイヤル(上)を回すと、画像が上下左右に移動します。

上下と左右の移動方向は、で切り替えます。

画像を保護する

大切な画像を間違って消去することがないように、画像ファイルを保護することができます。保護された画像ファイルは、消去ができなくなります。

1 **再生モードで保護したい画像を表示させ、[ボタン] を押す**

「機能選択メニュー」が表示されます。

2 **[ダイヤル] で [鍵マーク]（保護）を選び、[↵] を押す**

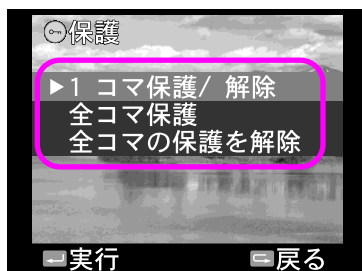
ファイル保護モードになります。

3 **[ダイヤル] を上にして「1コマ保護／解除」または「全コマ保護」を選び、[↵] を押す**

「1 コマ保護／解除」を選ぶと、現在表示中の画像を保護します。

[ダイヤル] を下にして回すと、保護したい画像を選ぶことができます。

「全コマ保護」を選ぶと、メモリーカード内の中の画像をすべて保護します。

[戻る] を押すと、「機能選択メニュー」に戻ります。

注　意　保護された画像でも、「メモリーカードのフォーマット」を行うと消去されます。

メ　モ　保護された画像は、ファイルの属性が「読み取り専用」になります。

保護を解除する

1 コマごとに画像の保護を解除する場合は、上記の手順 3 で、「1 コマ保護／解除」を選びます。すべての画像の保護を解除する場合は、上記の手順 3 で、「全コマの保護を解除」を選びます。

画像を削除する

不要な画像ファイルを削除することができます。

1 **再生モードで削除したい画像を表示させ、[ボタン] を押す**

「機能選択メニュー」が表示されます。

2 **[ダイヤル] で [削除アイコン]（削除）を選び、[↵] を押す**

削除モードになります。

3 **[ダイヤル] を上にして「1 コマ削除」または「全コマ削除」を選び、[↵] を押す**

削除確認画面が表示されます。

[ダイヤル]を下にして回すと、削除したい画像を選ぶことができます。

※画面右上に「[鍵アイコン]」が表示されている画像は削除できません。

4 **「実行」を選び、[↵] を押す**

画像が削除されます。[戻るボタン] を押すと、「1 コマ削除／全コマ削除」を選択する画面に戻ります。

注　意　「保護」に設定されている画像ファイルは削除できません。（全コマ削除を実行した場合でも、「保護」に設定されている画像ファイルは削除されずに残ります。）

画像の印刷枚数を設定する

本機は、DPOF（☞77 ページ）に対応しています。本機で印刷枚数を指定しておくと、プリントサービスのお店にプリントを依頼する場合、プリントしたい画像の指定や枚数の記入が不要となります。また、DPOF 対応のプリンタでプリントを行う場合でも、特別な指定をしなくても指定したとおりの枚数でプリントできます。

1　再生モードで印刷枚数を設定したい画面を表示させ、[ボタン] を押す

「機能選択メニュー」が表示されます。

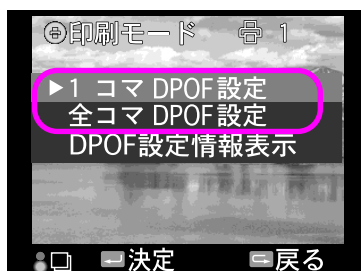
2　[ダイヤル] で [印刷アイコン]（印刷）を選び、[↵] を押す

印刷モード設定画面が表示されます。

3　[ダイヤル] を上にして「1 コマDPOF設定」または「全コマ DPOF 設定」を選び、[↵] を押す

枚数設定画面が表示されます。

[ダイヤル]を下にして回すと、印刷枚数を設定したい画像を選ぶことができます。

表示中の画像について印刷指定をする場合は「1 コマ DPOF 設定」を、すべての画像について同じ枚数の印刷指定をする場合は「全コマ DPOF 設定」を選択します。

4 で印刷枚数を設定し、を押す

印刷枚数は1つの画像ごとに99枚まで設定することができます。

すでに他のデジタルカメラなどでDPOFの設定がされている場合は、設定が変更されることを示す確認画面が表示されます。

を押すと、「1コマDPOF設定／全コマDPOF設定／DPOF設定情報表示」を選択する画面戻ります。

DPOF 設定情報を確認する

印刷枚数の設定（DPOF）を確認したいときは、前ページの手順3で「DPOF設定情報表示」を選びます。現在の DPOF 設定情報が表示され、総印刷枚数などを確認することができます。

※ 他の機器で総印刷枚数が1000枚以上に設定されている場合は「999枚」と表示されます。

印刷枚数の設定（DPOF）を解除する

印刷枚数の設定（DPOF）を解除する場合は、前ページの手順4で印刷枚数を「0」枚に設定します。（印刷マークと印刷枚数が消えます。）

メモ

- Exif2.21に対応していないデータや画像を表示できないデータは、印刷枚数の指定ができません。
- RAW形式で撮影した画像データ（RAWデータ）は、DPOFに対応していません。
- DPOF設定は印刷合計枚数999枚まで可能です。（印刷枚数が合計1000枚以上になると、設定できなくなります。）

DPOFとは

「DPOF」とは、Digital Print Order Formatの略で、デジタルカメラで撮影した画像を印刷するための情報（印刷したい画像とその枚数指定など）をコンパクトフラッシュやスマートメディアなどの記録媒体に記録するフォーマットです。

画像をスライドショーで再生する

本機で撮影した画像などを、スライドショー（再生間隔：約 3 秒）で再生することができます。

1 再生モードで [機能選択ボタン] を押す

「機能選択メニュー」が表示されます。

2 [ダイヤル]で[スライドショー]（スライドショー）を選び、[決定ボタン] を押す

スライドショーを開始します。

[ダイヤル]を反時計回りに回すと、最初の画像から最後の画像までの、順方向のスライドショーになります。このとき、画面下部のマークは右を向いています。

[ダイヤル]を時計回りに回すと、最後の画像から最初の画像までの、逆方向のスライドショーになります。このとき、画面下部のマークは左を向いています。

スライドショーを停止する

スライドショー再生中に [決定ボタン] を押すとスライドショーを一時停止し、もう一度押すと再開します。（スライドショーを一時停止しているときに[ダイヤル]を回すと、画像をコマ送りで再生することができます。）
スライドショー再生中に [戻るボタン] を押すとスライドショーを中止して、「機能選択メニュー」に戻ります。

4章　設定

設定内容を確認する

設定内容は、以下の手順で確認します。

1 再生モードで を押し、（撮影設定）－（設定値一覧表示）を選ぶ

「設定一覧表示画面」が表示されます。

を押すと、撮影設定メニューに戻ります。

＊ E：エッジ強調
S：彩度
T：色合い
C：コントラスト
N：ノイズ低減
※L＝弱、M＝中、H＝強

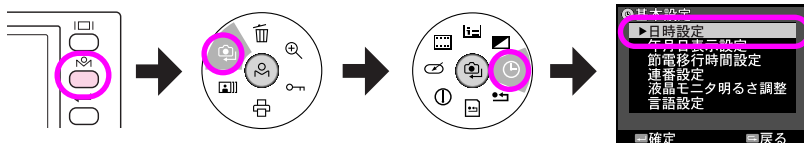
日時を設定する

本機の日時設定を調整するときは、以下の手順で日時を設定します。

注 意

- 初めて本機の電源を ON にしたとき、または、バッテリが切れた後数日経過して初めて本機の電源を ON にしたときは、自動的に「日時設定」の画面（手順 2）が表示されます。このときの日時は、以下のようになります。
  - SD メモリーカードがセットされていないとき：「2004.01.01」
  - SDメモリーカードがセットされているとき：「SDメモリーカード内の最後に撮影した画像の日時」（ただし、SDメモリーカードに画像データがない場合は、「2004.01.01」）
- 液晶モニタが裏向きになっているときは、液晶モニタを表向きにして、[□] を押したときに、自動的に「日時設定」の画面（手順 2）が表示されます。
- 液晶モニタが裏向きになっているときは、日時設定をしないまま撮影することができますが、このとき画像データに記録される日時は、以下のようになります。
  - SD メモリーカードがセットされていないとき：「2004.01.01」
  - SDメモリーカードがセットされているとき：「SDメモリーカード内の最後に撮影した画像の日時の 2 秒後」（ただし、SD メモリーカードに画像データがない場合は、「2004.01.01」）

1 再生モードで [メニュー] を押し、(撮影設定) －(基本設定)－[日時設定]を選ぶ

「日時設定画面」が表示されます。

2 [ダイヤル] で「年」の数値を選び、[↵] を押す

「年」の数値が確定され、「月」の項目に移動します。

[⊏→] を押すと、1 つ前の項目に戻ります。

3 同様の手順で、「月」「日」「時」「分」を設定する

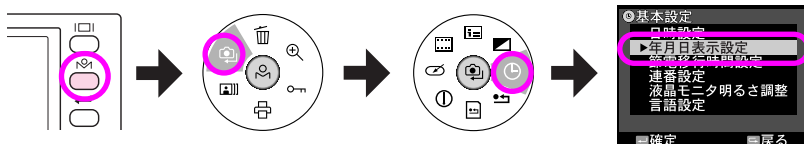
「分」の数値を確定すると、日時の設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。

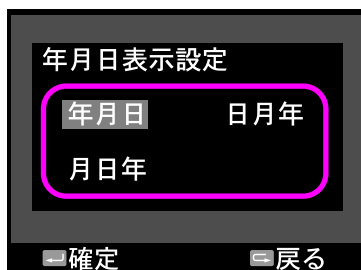
メ モ	本機の時計用電池は、バッテリ残量がなくなってから数日間保持されます。(保持される期間は環境や条件によって異なります。)

日時の表示形式を設定する

本機では、年月日の表示形式を選択できます。表示形式は、以下の手順で設定します。購入時は、「年月日」に設定されています。

1 再生モードで を押し、（撮影設定）－（基本設定）－[年月日表示設定]を選ぶ

「年月日表示設定画面」が表示されます。

2 で年月日の表示形式を選び、 を押す

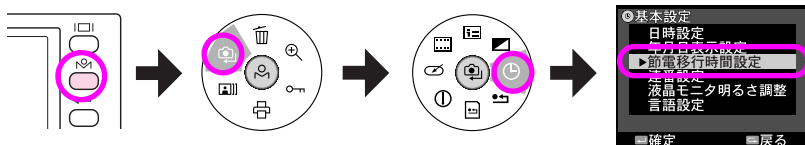
表示形式の設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。

節電移行時間を設定する

本機の電源がONになっているときに操作をしないまま放置すると、節電機能が働いて自動的に液晶モニタを OFF にしてバッテリの消耗を抑えることができます。このとき、針式インジケータの「バッテリ残量表示」の針のみが電源 OFF 時の待機位置に戻ります。

節電機能が働いたときは、いずれかのボタンを押すと通常の状態に復帰します。

節電移行時間は3分／5分／10分／20分から選択できます。節電移行時間は以下の手順で設定します。購入時は、「5分」に設定されています。

1 再生モードで を押し、（撮影設定）－（基本設定）－[節電移行時間設定]を選ぶ

「節電移行時間設定画面」が表示されます。

2 で節電移行時間を選び、 を押す

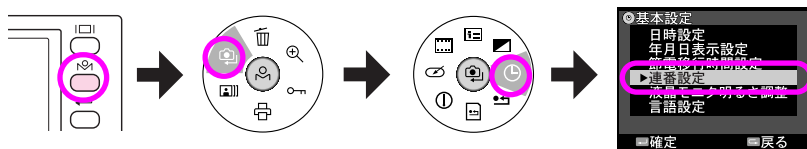
節電移行時間の設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。

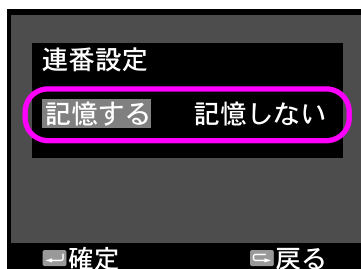
連番を設定する

本機では、撮影時のファイル番号の「記憶する／記憶しない」が選択できます。「記憶する」に設定すると、メモリーカードを交換した場合でも続きのファイル番号で撮影します。「記憶しない」に設定すると、メモリーカードを交換した際にファイル番号がリセットされます。

連番は以下の手順で設定します。購入時は、「記憶する」に設定されています。

1 再生モードで を押し、（撮影設定）－（基本設定）－[連番設定]を選ぶ

「連番設定画面」が表示されます。

2 で連番の設定を選び、を押す

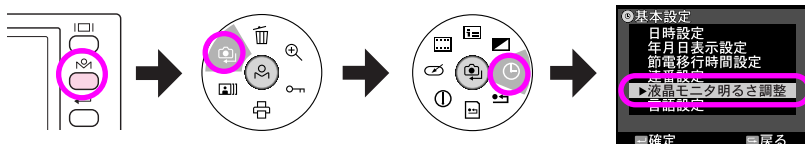
連番設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。

メモ

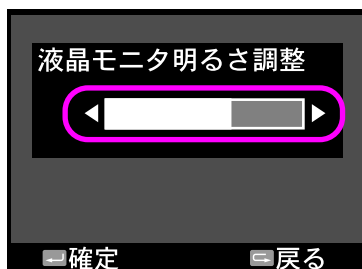
- メモリーカードを交換した際に、メモリーカード内に本機の撮影データが残っている場合は、ファイル番号は残っている撮影データの最後のファイル番号の次の番号から始まります。
- 「記憶する」に設定した場合は、SD メモリーカードをフォーマットした場合でもファイル番号を記憶しています。

液晶モニタの明るさを調整する

本機では、液晶モニタの明るさを8段階に調整できます。液晶モニタの明るさは、以下の手順で調整します。購入時は、「8 段階中の 5 番目」に設定されています。

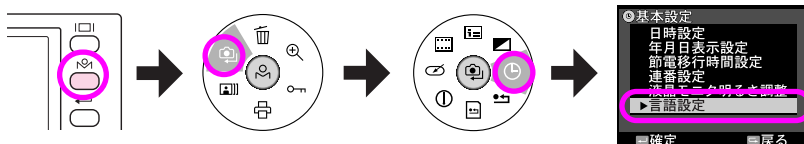
1 再生モードで [ボタン] を押し、(撮影設定)－(基本設定)－[液晶モニタ明るさ調整]を選ぶ

「液晶モニタ明るさ調整画面」が表示されます。

2 [ダイヤル] で明るさを選び、[↵] を押す

液晶モニタの明るさ設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。

表示言語を設定する

本機では、液晶モニタに表示される言語を選択できます。表示言語は、以下の手順で設定します。購入時は、「日本語」に設定されています。

1 再生モードで を押し、（撮影設定）－（基本設定）－[言語設定]を選ぶ

「言語設定画面」が表示されます。

2 で言語の設定を選び、 を押す

言語設定を終了し、「基本設定メニュー」に戻ります。

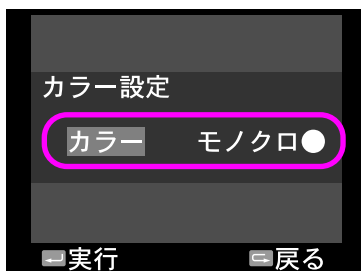
撮影時のカラーを設定する

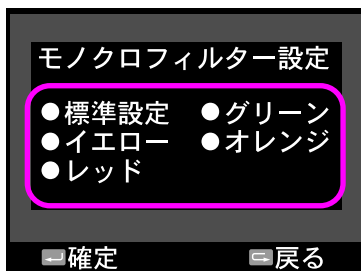
本機では、撮影時のカラーを「カラー／モノクロ」から選択できます。また、「モノクロ」を選択した場合は、モノクロフィルターを設定することができます。撮影時のカラーは、以下の手順で設定します。購入時は、「カラー」に設定されています。

1 **再生モードで [ボタン] を押し、[アイコン]（撮影設定）－ [アイコン]（カラー設定）を選ぶ**

「カラー設定画面」が表示されます。

2 **[ダイヤル] で「カラー」または「モノクロ」を選び、[Enter] を押す（撮影時に「モノクロフィルター」を使用する場合は「モノクロ」を選び、[ボタン] を押して手順 3 へ）**

カラー設定を終了し、「撮影設定メニュー」に戻ります。モノクロフィルターを使用するときは、手順3 へ進みます。

3 **モノクロフィルターを使用する場合は、[ダイヤル] で設定したいフィルターを選び、[Enter] を押す**

モノクロフィルターでは、「標準、グリーン、イエロー、オレンジ、レッド」のフィルターを選択できます。レンズにカラーフィルターを装着して白黒写真を撮影した時のような効果が得られます。

・標準設定：フィルターなしの場合です。

・グリーン：人肌が落ち着いた表現になり、人物撮影に適します。

・イエロー、オレンジ、レッド:
コントラストが強調され、風景撮影に適します。イエロー＜オレンジ＜レッドの順に強調度合いが強くなります。

モノクロフィルターを設定すると、カラー設定を終了し、「撮影設定メニュー」に戻ります。

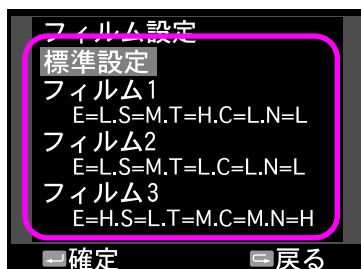
フィルムを設定する

本機では、標準設定以外にフィルム 1 ～ 3 のフィルム設定を記憶し、選択することができます。撮影時のフィルムは以下の手順で選択します。購入時は、「標準設定」に設定されています。

1 再生モードで [ボタン] を押し、[アイコン]（撮影設定）－[アイコン]（フィルム設定）を選ぶ

「フィルム設定画面」が表示されます。

2 [ダイヤル] で設定したいフィルムを選び、[↵] を押す

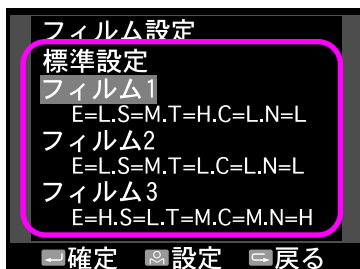
選択したフィルムが設定されます。

フィルム	内容	設定詳細
標準設定	実際の色に忠実、素直な色になります。	エッジ強調：中 彩度：中 色合い：中 コントラスト：中 ノイズ低減：弱
フィルム 1	自分の好みに応じた設定値を設定することができます。（「フィルムタイプを設定する」☞90 ページ）	
フィルム 2		
フィルム 3		

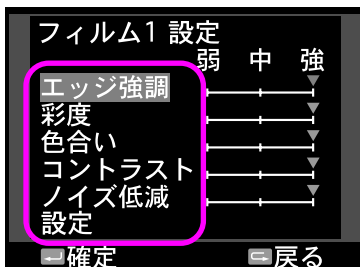
フィルムタイプを設定する

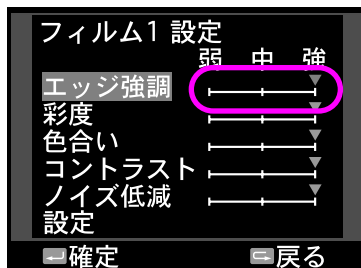
フィルム1～3には、エッジ強調／彩度／色合い／コントラスト／ノイズ低減などを自分の好みに合わせて設定し、登録することができます。フィルム1～3は、以下の手順で設定します。購入時は、標準設定と同じ内容に設定されています。

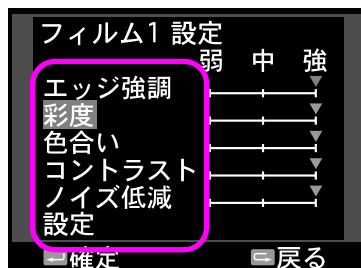
1 再生モードで [ボタン] を押し、[アイコン]（撮影設定）－[アイコン]（フィルム設定）を選ぶ

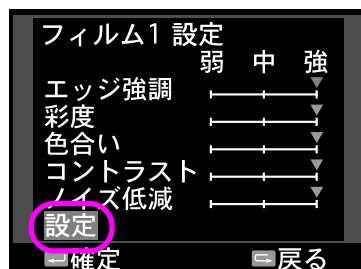
「フィルム設定画面」が表示されます。

2 [ダイヤル] で設定したいフィルム（フィルム 1 ～ 3）を選び、[ボタン] を押す

設定画面が表示されます。

3 [ダイヤル] で設定を変更したい項目を選び、[↵] を押す

4 [dial icon]で設定値を選び、[enter button]を押す

設定画面に戻ります。

5 手順 3、4 と同様の手順で、他の設定を変更したい項目を設定する

設定を途中で中止したい場合は[cancel button]を押すと設定破棄の確認画面が表示され、設定内容を変更せずに終了できます。

6 [dial icon]で「設定」を選び、[enter button]を押す

フィルム設定を終了し、「撮影設定メニュー」に戻ります。

針の位置を調整する

本機では、画像品質／ホワイトバランス／撮影残枚数／バッテリ残量を「針式インジケータ」で表示しています。この針式インジケータの針は、物理的な衝撃などによってずれることがあります。針式インジケータの針がずれた場合は、以下の手順で調整します。

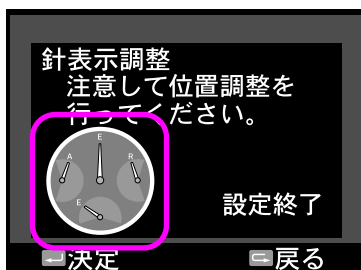
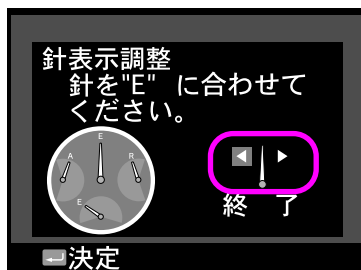
1 再生モードで [ボタン] を押し、[アイコン]（撮影設定）－ [アイコン]（針表示調整）を選ぶ

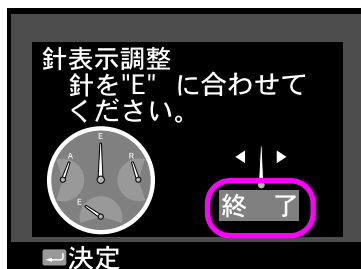
「針表示調整画面」が表示されます。

2 [ダイヤル] で調整したい針を選び、[決定ボタン] を押す

針が調整位置に移動している間は画面に「針移動中」と表示され、この間は操作できません。

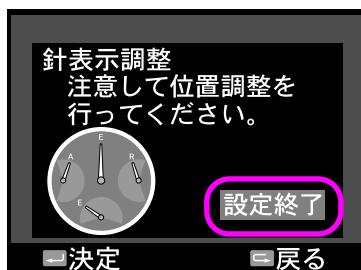
3 針を原点に戻す

[ダイヤル] で、◀ ▶ を選びます。

[決定ボタン] を押すごとに、選択した方向に針を 1 目盛りずつ回転します。

4 針が原点に戻ったら [ダイヤル] で「終了」を選び、[決定ボタン] を押す

「針表示調整画面」に戻ります。

5 他の針の調整を行うときは、手順2へ、針調整を終了するときは手順 6 へ進む

6 で「設定終了」を選び を押す

針調整を終了し、「撮影設定メニュー」に戻ります。調整した針は現在値を示します。

右の画面で を押すと、調整内容が破棄され、「撮影設定メニュー」に戻ります。（調整内容は反映されていません。）

メモリーカードをフォーマットする

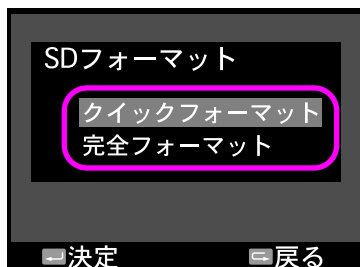
本機では､｢クイックフォーマット｣と｢完全フォーマット｣の2種類の方法でSDメモリーカードのフォーマットを行うことができます｡SDメモリーカードを廃棄するとき､譲渡するとき､貸すとき､修理に出すときなど､個人的な画像データを見られたくないときは､｢完全フォーマット｣を行ってください｡

SDメモリーカードのフォーマットは､以下の手順で行います｡

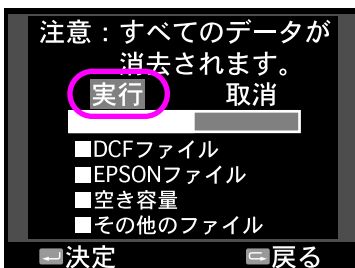
1 再生モードで [ボタン] を押し､[アイコン]（撮影設定）－ [アイコン]（SDカードフォーマット）を選ぶ

｢フォーマット選択画面｣が表示されます｡

2 [ダイヤル] でフォーマットの種類を選び､[↵] を押す

通常は｢クイックフォーマット｣を選択します｡｢完全フォーマット｣は､SDメモリーカード内のデータを復元できないようにするときに選択します｡フォーマットの種類を選択すると､SDメモリーカード内の内訳が表示されます｡

3 [ダイヤル] で｢実行｣を選び､[↵] を押す

SDメモリーカードがフォーマットされ､｢撮影設定メニュー｣に戻ります｡

･DCFファイル：
DCF規格に準拠した画像ファイルです｡
･EPSONファイル：
EPSON独自のファイルなどです｡
･空き容量:
このSDメモリーカードの空き容量です｡
･その他のファイル:
上記に該当しないデータファイル（文書ファイルや音楽ファイルなど）です｡

メモ　完全フォーマットを行なうと､処理時間が長くかかる場合があります｡完全フォーマットを行なう場合は､十分に充電されたバッテリを使用してください｡

USER ボタンを設定する

本機では、 に以下の中から任意の機能を割り当てることができます。

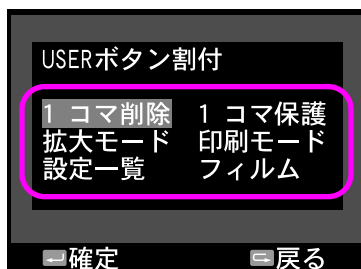
1 コマ削除／1 コマ保護／拡大モード／
印刷設定／設定一覧表示／フィルム設定

 の機能は、以下の手順で設定します。購入時は、「1 コマ削除」に設定されています。

1 再生モードで を押し、（撮影設定）－（USERボタン割付）を選ぶ

「USER ボタン設定画面」が表示されます。

2 で USER ボタンに設定したい機能を選び、 を押す

USER ボタンの機能設定を終了し、「撮影設定メニュー」に戻ります。

撮影設定を初期化する

本機では、撮影設定を購入時の設定に戻す(初期化する)ことができます。「撮影設定初期化」を行うと、撮影設定は購入時の設定に戻ります。

設定項目	初期設定値
カラー設定	カラー
フィルム設定	標準設定 (フィルム 1 ～ 3 の設定内容も、購入時の設定に戻ります。)
日時表示形式	年月日
節電移行時間設定	5 分
連番設定	記憶する
液晶モニタ明るさ調整	5/8
言語設定	日本語
USER ボタン設定	1 コマ削除

以下の手順で撮影設定を初期化します。

1 再生モードで [ボタン] を押し、[アイコン](撮影設定)－[アイコン](撮影設定初期化)を選ぶ

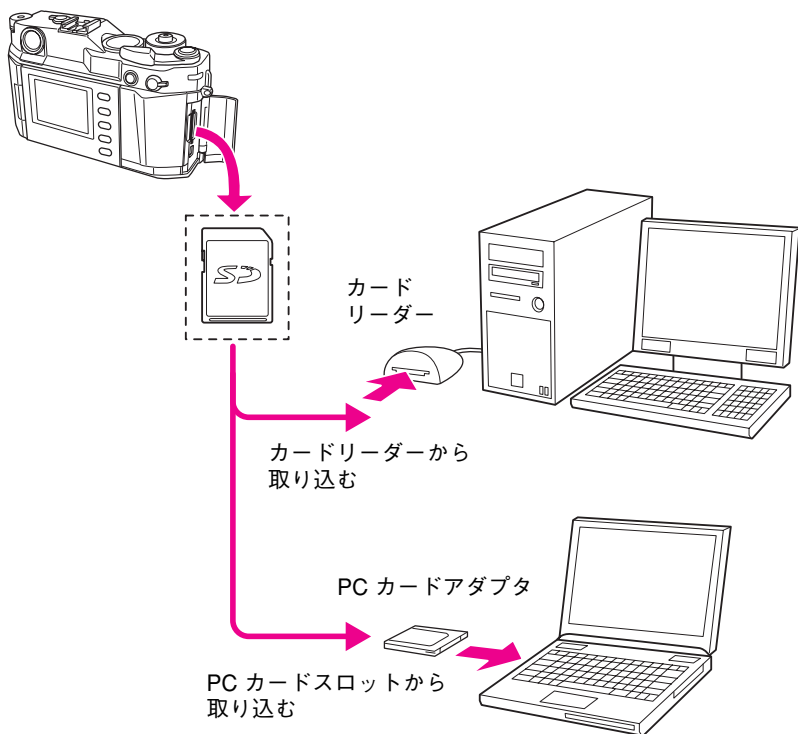
「初期化確認画面」が表示されます。

2 [ダイヤル]で「実行」を選び、[ボタン] を押す

撮影設定が初期化され、「撮影設定メニュー」に戻ります。

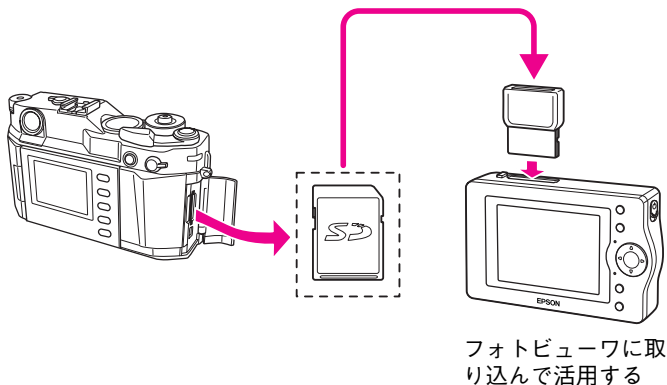
5 章　データ保存･活用

画像データを保存する

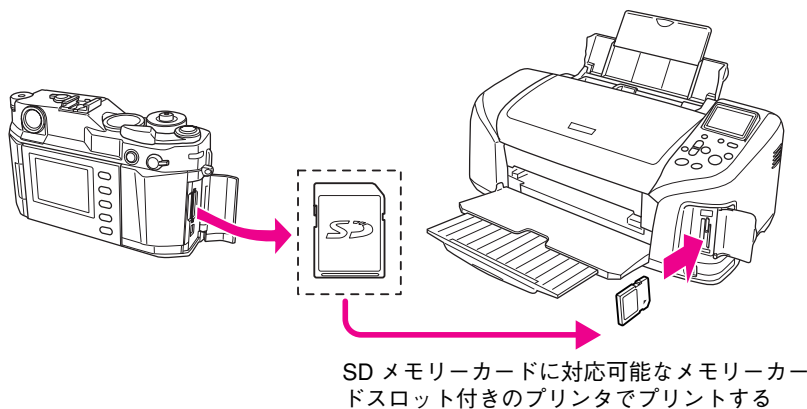
本機で撮影した画像データは、カードリーダー、PC カードスロットなどを使用してパソコンなどに保存します。

画像データを活用する

本機で撮影した画像データは、以下のように活用することができます。

◆画像データを見る

フォトビューワに取り込んで活用する

メ モ	RAW モードで撮影した画像は、表示できないことがあります。詳しくはフォトビューワの取扱説明書をお読みください。

◆画像データを印刷する

SD メモリーカードに対応可能なメモリーカードスロット付きのプリンタでプリントする

メ モ	RAW モードで撮影した画像は印刷できません。

II ソフトウェア編

6 章　インストール

準備

画像品質を「R」(RAW 形式)に設定して撮影した画像データ(RAW データ)は、拡張子が「ERF」のファイルとして保存されます。この ERF ファイルは本機に付属しているソフトウェアを使用して、JPEG ファイルや TIFF ファイルとして出力します。(これを「現像」といいます。)

◆付属のソフトウェア

本機には、以下の現像用のソフトウェアが添付されています。(ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。)
Windows を使用している場合は、現像アプリケーション「EPSON Photolier(フォトリエ)」、または「PhotoshopElements2.0」などを使って RAW データを現像できます。
Macintosh を使用している場合は、「PhotoshopElements2.0」などを使って RAW データを現像できます。
※ Macintosh では、現像アプリケーション「EPSON Photolier」は使用できません。

<table>
<tr><th>添付ソフトウェア</th><th>内容</th><th>参照</th></tr>
<tr><td>現像アプリケーション
「EPSON Photolier」
(Windows のみ)</td><td>「RAW 形式」に設定して撮影した画像データ(RAW データ)を簡単な操作で現像するソフトウェアです。</td><td>☞
7 章</td></tr>
<tr><td>EPSON RAW Plug-In</td><td>「RAW 形式」に設定して撮影した画像データ(RAW データ)を、「Photoshop」を使用して現像するプラグインです。
プラグインが使用できる「Photoshop」は以下のバージョンのものです。
・Adobe Photoshop7.0 以降
・Adobe PhotoshopElements2.0 以降
・Adobe PhotoshopCS</td><td rowspan="2">☞
8 章</td></tr>
<tr><td>Adobe
PhotoshopElements2.0</td><td>画像加工用のソフトウェアです。
「PhotoshopElements2.0」をインストールした後に「EPSON RAW Plug-In」をインストールすると、本機で撮影した RAW データを「PhotoshopElements2.0」を使用して現像することができます。</td></tr>
</table>

注 意

- 上記の添付ソフトウェアでは、本機で撮影したRAWデータのみ現像することができます。
- Adobe PhotoshopCS に標準で提供されている RAW プラグインでは、本機の RAW データは現像できません。

使用可能なパソコン

付属のソフトウェアを使用できるパソコンは以下のとおりです。

現像アプリケーション「EPSON Photolier」

OS	Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/ XP HomeEdition/XP Professional
メモリー	256MB 以上（512MB 以上推奨）
ハードウェア	Pentium III 1GHz 以上（Pentium4 2GHz 以上推奨）
ハードディスク	インストール：5MB 以上 動作用：170MB 以上
ディスプレイ	SVGA （800 × 600 ）以上、24bit カラー以上

注 意 「EPSON Photolier」は、Windows 版のみです。Macintosh では使用できません。

EPSON RAW Plug-In ／ PhotoshopElements2.0

	Windows	Macintosh
OS	Windows 98/98SE/Me/ 2000 Professional/ XP HomeEdition/ XP Professional	Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 （CartonLib 対応） Mac OS X,10.2.X ～
メモリー	256MB 以上 （512MB 以上推奨）	42MB 以上のアプリケーションメモリ
ハードウェア	Pentium III 1GHz 以上 （Pentium4 2GHz 以上推奨）	PowerPC G3 233MHz 以上 （PowerPC G4 1GHz 以上推奨）
ハードディスク	インストール：5MB 以上＊ 動作用：170MB 以上	インストール：5MB 以上＊ 動作用：170MB 以上
ディスプレイ	SVGA （800 × 600 ）以上、24bit カラー以上	800 × 600 以上、32000 色以上
その他	EPSON RAW Plug-In が動作する Photoshop は以下のバージョンのものです。 ・Adobe Photoshop7.0 以降 ・Adobe PhotoshopElements2.0 以降 ・Adobe PhotoshopCS	

＊ Photoshop のインストールには、別途ハードディスクの空き容量が必要です。

インストール

お使いいただいている OS が Windows の場合は、インストーラによって現像アプリケーション「EPSON Photolier」と「EPSON RAW Plug-In」のインストールを行います。
お使いいただいているOSがMacintoshの場合は、「EPSON RAW Plug-In」のインストールを行います。

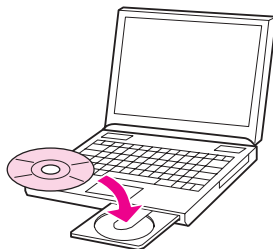
◆インストール（Windows）

付属のソフトウェアは、以下の手順でインストールします。

注 意

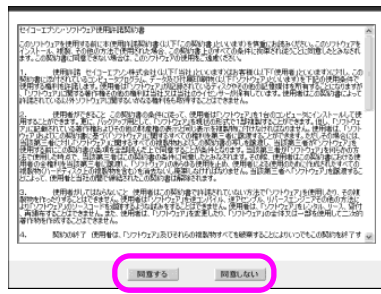
- Windows 2000 にソフトウェアをインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。
- Windows XP にインストールする場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログインする必要があります。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。Windows XP をインストールしたときのユーザーは「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- 「EPSON RAW Plug-In」を正しくインストールするには、あらかじめ Adobe Photoshop7.0/CS、または Photoshop Elements2.0 がインストールされている必要があります。
AdobePhotoshopElements2.0 は添付の CD-ROM からインストールできます。

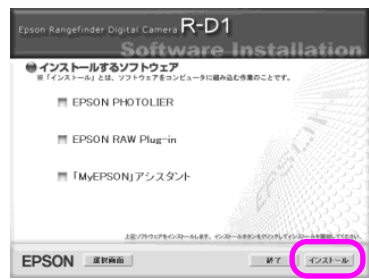
1 Windows を起動して、ソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする

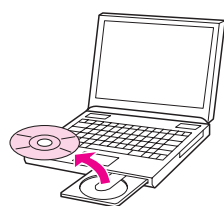
他のアプリケーションソフトを起動している場合は、終了してください。

2 右の画面が表示されたら、ウィルスチェックプログラムが動作していないことを確認し、[続ける]をクリックする

ウィルスチェックプログラムが動作しているときは、[インストール中止]をクリックし、ウィルスチェックプログラムを終了させてから一度 CD-ROM を取り出し、手順1 に戻ってもう一度最初から操作を行ってください。

3 画面の内容を確認して、[同意する]をクリックする

[同意しない]をクリックすると、インストールを終了します。

4 [インストール]をクリックして付属のソフトウェアをインストールする

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

5 右の画面が表示されたら、[終了]をクリックする

6 ソフトウェア CD-ROM を取り出す

以上でインストール終了です。

メ モ

「MyEPSON」について
インストール終了後、デスクトップ上に、右のショートカットアイコンが作成されます。これをダブルクリックすると、「MyEPSON」登録画面が表示されますので、画面の指示に従って「MyEPSON」登録（ユーザ登録）していただくことをお勧めします。
（「「MyEPSON」とは」☞ 161 ページ）

◆インストール（Macintosh）

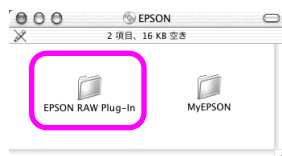
Adobe PhotoShop 用のプラグインは、以下の手順でインストールします。

注 意

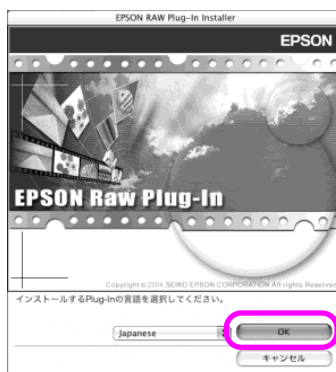
- Mac OS X に「EPSON RAW Plug-In」をインストールするには管理者権限が必要です。パスワードの入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 「EPSON RAW Plug-In」を正しくインストールするには、あらかじめ Adobe Photoshop7.0/CS、または、PhotoshopElements2.0 がインストールされている必要があります。Adobe PhotoshopElements2.0 は添付の CD-ROM からインストールできます。

1 Macintosh を起動して、ソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする

他のアプリケーションソフトを起動している場合は、終了してください。

2 「EPSON RAW Plug-In」フォルダをダブルクリックする

3 「EPSON RAW Plug-In Installer」アイコンをダブルクリックする

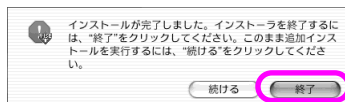
4 右の画面が表示されたら、ウィルスチェックプログラムが動作していないことを確認し、[OK] をクリックする

ウィルスチェックプログラムが動作しているときは、[キャンセル]をクリックし、ウィルスチェックプログラムを終了させてから一度 CD-ROM を取り出し、手順1 に戻ってもう一度最初から操作を行ってください。

5 ライセンス画面の内容を確認して、[同意]をクリックする

[不同意]をクリックすると、インストールを終了します。

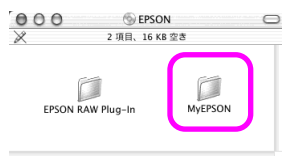
6 [インストール]をクリックして「EPSON RAW Plug-In」をインストールする

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

7 右の画面が表示されたら、[終了]をクリックする

8 ソフトウェア CD-ROM を取り出す

以上でインストール終了です。

「MyEPSON」アシスタントのインストール

1 「MyEPSON」フォルダをダブルクリックする

2 インストールする Mac OS に準じて、「Installer (Mac OS 9)」アイコンまたは「Installer (Mac OS X)」アイコンをダブルクリックする

その後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

メモ

「MyEPSON」について
インストール終了後、デスクトップ上に、右のショートカットアイコンが作成されます。これをダブルクリックすると、「MyEPSON」登録画面が表示されますので、画面の指示に従って「MyEPSON」登録(ユーザ登録)していただくことをお勧めします。
(「「MyEPSON」とは」 161 ページ)

◆アンインストール(Windows)

ソフトウェアが必要なくなった場合は、以下の手順でアンインストールします。

1 **[スタート]-[コントロールパネル]から[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックする**

Windows98 ／ Me ／ 2000 の場合は「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

2 **削除するソフトウェア「EPSON Photolier」を選択する**

3 **[変更と削除]をクリックする**

Windows98 ／ Me の場合は[追加と削除]、Windows2000 の場合は[変更／削除]をクリックします。

4 **画面の指示に従ってアンインストールする**

アンインストール完了のメッセージが表示されたらソフトウェアの削除は終了です。

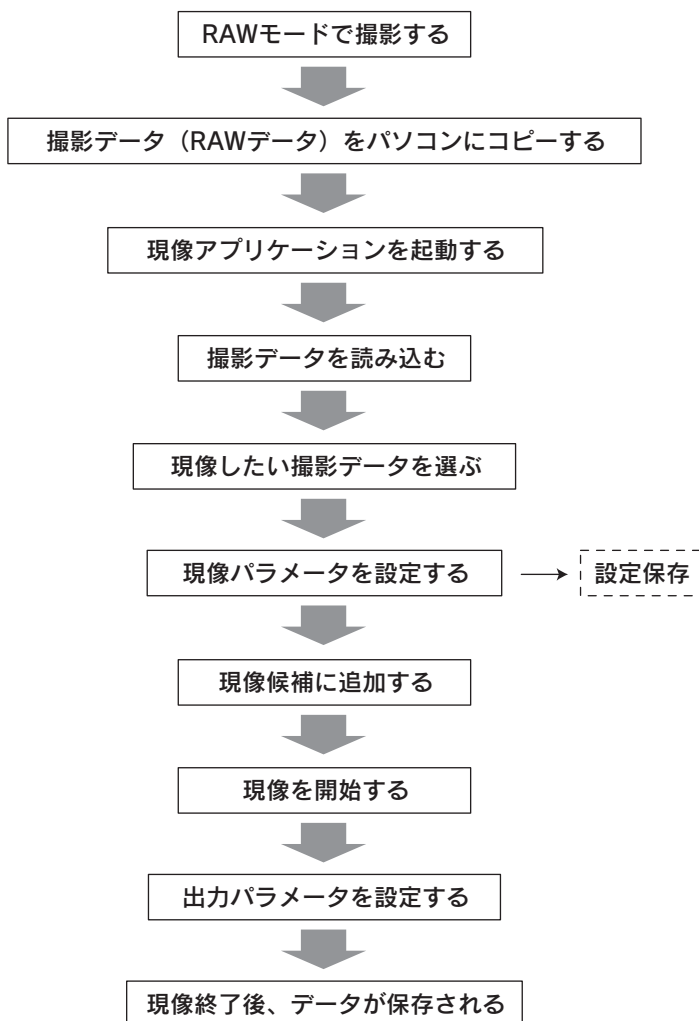
メ　モ	スタートメニューから、[すべてのプログラム]ー[EPSON Photolier]ー[アンインストール]を選択した場合も、同様にアンインストールされます。

◆アンインストール(Macintosh)

「EPSON RAW Plug-In」が必要なくなった場合(アンインストールする場合)は、「Photoshop」フォルダー「プラグイン」ー「Adobe Photoshop Only」ー「ファイル形式」の中に作成されている「EPSON」フォルダを削除します。

7章　現像アプリケーションでの現像

現像の流れ

現像アプリケーション「EPSON Photolier」を使用する場合は、以下のような流れでRAWデータの現像を行います。

メ モ　Macintoshを使用する場合、またはPhotoshopElements2.0などを使用する場合は「8章 Photoshopでの現像」をお読みください。

EPSON Photolierの起動／終了

◆ソフトウェアの起動／終了

現像アプリケーション「EPSON Photolier」は、以下の方法で起動／終了します。

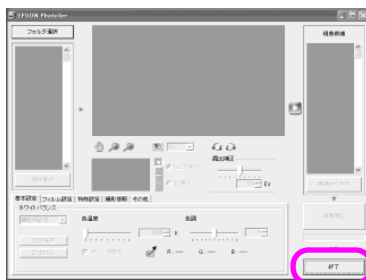
起動のしかた

1 **[スタート]－[すべてのプログラム]（または[プログラム]）－[EPSON Photolier]をクリックする**

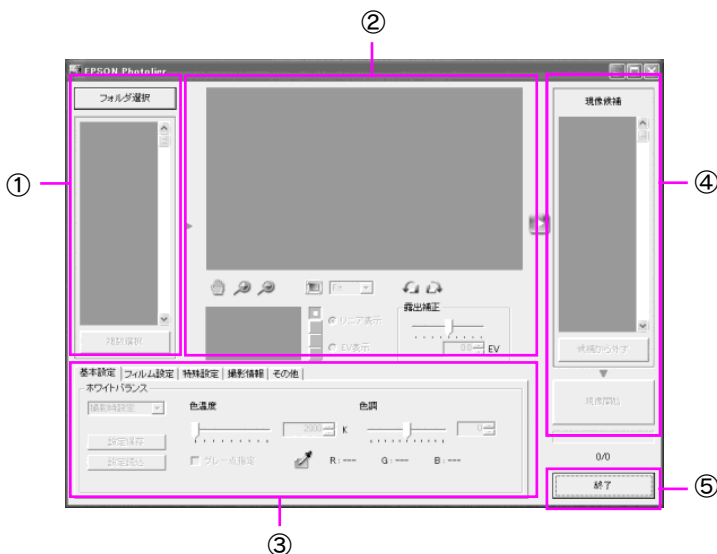
現像アプリケーション「EPSON Photolier」が起動します。

終了のしかた

1 **メイン画面右下の[終了]をクリックする**

現像アプリケーション「EPSON Photolier」が終了します。

メモ	PhotoshopElements2.0などを使用する現像方法については「8章 Photoshopでの現像」をお読みください。

◆画面の見方

現像アプリケーション「EPSON Photolier」を起動すると、以下の画面が表示されます。

① フォルダ選択エリア

RAW データ（ERF ファイル）を選択します。サムネイル表示部には、[フォルダ選択]ボタンで選択したフォルダ内の ERF ファイルが表示されます。[複数選択]ボタンをクリックした場合はサムネイル表示部が拡大され、サムネイル表示部で複数の ERF ファイルを選択できます。（この場合、プレビューエリアは表示されません。）

② プレビューエリア

フォルダ選択エリアで選択した RAW データ（ERF ファイル）のプレビュー画像を表示します。

③ パラメータ設定エリア

選択した RAW データ（ERF ファイル）に適用する現像パラメータを設定します。

④ 現像候補エリア

現像予定の RAW データ（ERF ファイル）がサムネイルで表示されます。

⑤ 終了

現像アプリケーション「EPSON Photolier」を終了します。

※ [Alt]キーを押している間は[終了]が[初期化]に変わります。[初期化]をクリックすると、全ての現像パラメータを元に戻すことができます。

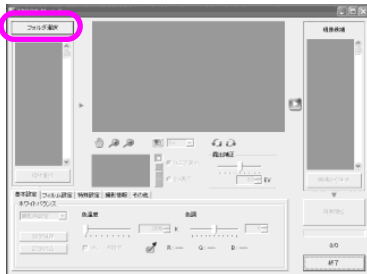
RAW データの読み込み

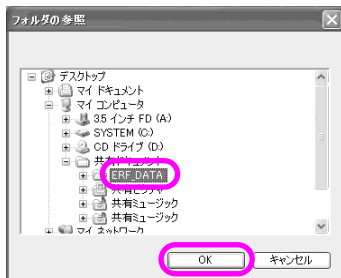
◆ RAW データの読み込みと表示

SD メモリーカードのデータをパソコンにコピーしたあと、以下の手順で RAW データを読み込みます。

1 **現像アプリケーション「EPSON Photolier」を起動する（☞ 113 ページ）**

2 **画面内の[フォルダ選択]をクリックする**

フォルダを選択するダイアログが表示されます。

3 **本機で撮影した RAW データ（ERF ファイル）が入っているフォルダを選び、[OK]をクリックする**

サムネイルエリアに画像（RAWデータ）が表示されます。（ERF ファイル以外のデータは表示されません。）

4 **現像したい画像をクリックする**

プレビューエリアにプレビュー画像が表示されます。

（「プレビューエリアの見方」☞ 116 ページ）

5 **現像パラメータを設定する（☞ 119 ページ）**

注 意　フォルダ選択後は、選択したフォルダやファイルを移動したり削除したりしないでください。

プレビューエリアの見方

プレビューエリアでは、以下の操作ができます。

① 拡大／縮小

：画像をドラッグして、表示位置を移動します。

：クリックした場所を中心にして画像を拡大します。

：クリックした場所を中心にして画像を縮小します。

：画像をプレビューエリアいっぱいまで拡大します。

Fit ：倍率を指定して拡大縮小します。「Fit」を選択すると、画像をプレビューエリアいっぱいまで拡大します。

② 回転

：画像を左回りに 90 度回転させます。

：画像を右回りに 90 度回転させます。

③ 露出補正

露出補正値を設定します。露出補正値はスライダー、スピンボタン、キーボードからの入力で設定します。露出補正量は -2.0 ～ 2.0EV の間で 0.1EV 刻みで設定できます。

④ ヒストグラム

リニア表示：画像の濃淡をリニアスケールで表示します。

EV 表示：画像の濃淡を写真の露出指数である EV スケールで表示します。

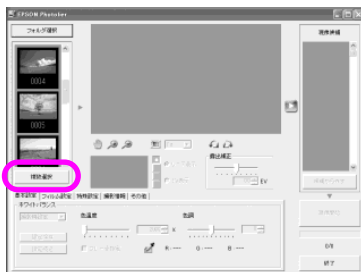
：クリックした色のヒストグラムが最前面に表示されます。
（白色は「輝度」を示します。）

メ　モ　キーボードの［CTRL］キーを押している間は、白トビしている個所が赤色で点滅します。（白トビ警告機能）

複数の画像を一度に選択する場合

複数の RAW データ(ERF ファイル)を選択して現像候補に追加する場合は、☞ 115 ページの手順 5 で現像パラメータを設定したあと、以下の手順で操作します。

1 [複数選択]をクリックする

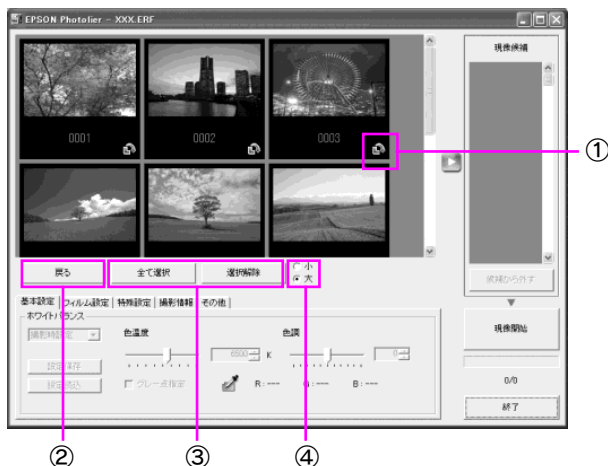
サムネイルエリアが拡大されます。(プレビューエリアは表示されません。)

2 現像したい画像をクリックする

クリックしたサムネイル画像に赤い枠が表示されます。

サムネイル画像右下のボタンをクリックすると、写真を回転させることができます。

選択した画像には、最初に設定した現像パラメータが適用されます。

複数画像選択画面の見方

複数画像選択画面では、以下の操作ができます。

① 画像回転

クリックすると、画像を右回りに 90 度回転させます。

② 戻る

現像したい画像を 1 ファイルずつ選択する画面(☞ 116 ページ)に戻ります。

③ 選択

全て選択：フォルダ内の ERF ファイルを全て選択します。

選択解除：すべての画像選択を解除します。

④ サムネイルサイズ切り替え

表示されるサムネイル画像のサイズを切り替えます。

現像パラメータの設定

現像したい RAW データ（ERF ファイル）を選択したら、現像パラメータを設定します。現像パラメータは、設定内容を保存したり、呼び出したりすることができます。

① 基本設定

RAW データ（ERF ファイル）を現像するときのホワイトバランスを設定します。撮影時に設定したホワイトバランスを、改めて調整することができます。（☞ 120 ページ）

② フィルム設定

RAW データ（ERF ファイル）を現像するときのフィルムタイプを設定します。撮影時に設定したフィルムタイプを、改めて調整することができます。また、カスタマイズエリアの設定パラメータを変更することで、よりお好みの画質に調整できます。（☞ 121 ページ）

③ 特殊設定

レンズの周辺光量調整します。使用するレンズの特性による周辺光量落ちを目立たなくしたり、強調したりできます。また、「ハイライトポイント」と「シャドーポイント」のレベル補正ができます。（☞ 123 ページ）

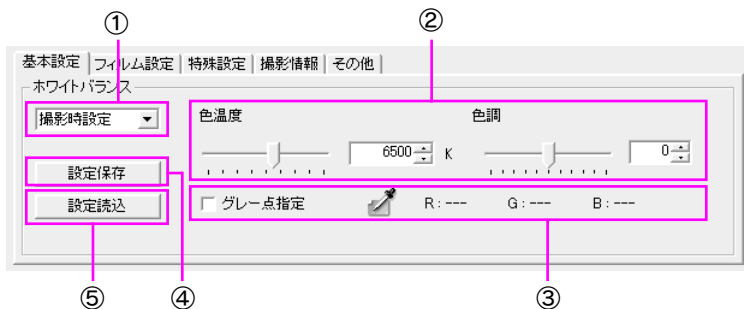
④ 撮影情報

撮影画像の撮影情報を表示します。（撮影情報の編集はできません。）（☞ 124 ページ）

⑤ その他

ヘルプの表示や環境設定を確認／変更できます。（☞ 125 ページ）

◆基本設定

撮影時に設定したホワイトバランスを、改めて調整することが可能です。
ホワイトバランスは、下記の 3 種類の設定方法があります。

① ホワイトバランスの設定(1):光源指定

あらかじめ用意されている選択肢(プリセット)から、光源を選択します。

② ホワイトバランスの設定(2):色温度と色調

2000 ～ 10000K の色温度から指定します。色温度を入力するか、スライダーを動かして色温度を設定します。色温度によってホワイトバランスを設定する場合は、「色調」による微調整(± 10 段階)ができます。

③ ホワイトバランスの設定(3):グレー点指定

プレビューエリアに表示されている画像の一点をグレーの基準点とみなしてホワイトバランスを調整します。(光源指定、色温度と色調でのホワイトバランス調整はできなくなります。)

[設定方法]

「グレー点指定」のチェックボックスをチェックして、スポイトボタンをクリックするとグレー点指定機能が有効になります。この状態でプレビューエリアに表示されている画像の一点をクリックすると、その点をグレーの基準点とみなしてホワイトバランスを調整します。もう一度スポイトボタンをクリックするか、手のひらボタン、ズームボタンなどをクリックするとグレー点指定状態が解除されます。

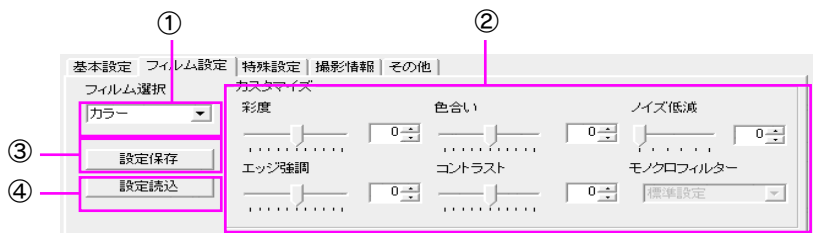
④ 設定保存

現在のホワイトバランスの設定を保存します。ファイル名は「＊＊＊＊ .ksf」となり、指定されたフォルダに保存されます。(＊＊＊＊は任意の文字列)

⑤ 設定読込

④で保存したホワイトバランスの設定を読み込みます。ファイルを読み込むと、保存したときの設定が①～③に表示されます。

◆フィルム設定

現像時のフィルムタイプを設定します。また、「カスタマイズ」エリアの設定パラメータを変更することで、よりお好みの画質に調整することが可能です。

① フィルム選択

撮影時設定／カラー／白黒／セピア／モノトーン／ヴィヴィッドから選択できます。

② カスタマイズ

フィルム選択で設定されたフィルムをベースに、よりお好みの画質に調整できます。

表示項目	内容
彩度	色の鮮やかさを調整します。 ※①フィルム選択が「白黒」の場合は調整できません。
色合い	画像の色相を調整します。フィルム設定によって、調整内容が異なります。 ・カラー：黄色と赤紫色（マゼンダ）の度合い ・ヴィヴィッド：黄色と赤紫色（マゼンダ）の度合い ※カラーの場合よりコントラストと彩度が高くなります。 ・セピア／モノトーン：寒調（青味）と暖調（赤味） ※ ①フィルム選択が「白黒」の場合は調整できません。
ノイズ低減	デジタル画像のノイズを低減します。
エッジ強調	画像の輪郭線を調整します。
コントラスト	画像のコントラスト（濃淡）を調整します。
モノクロフィルター	①フィルム選択で「白黒」を選択した場合のみ、有効になります。 「標準、グリーン、イエロー、オレンジ、レッド」のフィルターを選択できます。レンズにカラーフィルターを装着して白黒写真を撮影した時のような効果が得られます。 ・標準：フィルターなしの場合です。 ・グリーン：人肌が落ち着いた表現になり、人物撮影に適します。 ・イエロー、オレンジ、レッド：コントラストが強調され、風景撮影に適します。イエロー＜オレンジ＜レッドの順に強調度合いが強くなります。

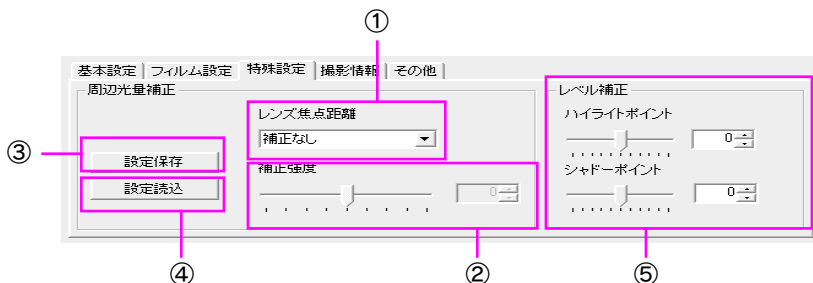
③ 設定保存

現在のフィルムの設定とカスタマイズの設定を保存します。ファイル名は「＊＊＊＊.fsf」となり、指定されたフォルダに保存されます。（＊＊＊＊は任意の文字列）

④ 設定読込

③で保存したフィルムの設定とカスタマイズの設定を読み込みます。ファイルを読み込むと、保存したフィルムの設定とカスタマイズの設定が表示されます。

◆特殊設定

レンズの焦点距離と、補正強度の度合いを選択･調整し、使用するレンズの特性による周辺光量落ちを目立たなくしたり、強調することができます。

① レンズ焦点距離

使用したレンズに合った焦点距離を選択します。

② 補正強度

周辺光量落ちを目立たなくしたい場合はプラス方向に、強調したい場合はマイナス方向に調整します。

③ 設定保存

レンズの焦点距離と補正強度の設定を保存します。ファイル名は「＊＊＊＊.sef」となり、指定されたフォルダに保存されます。（＊＊＊＊は任意の文字列）

④ 設定読込

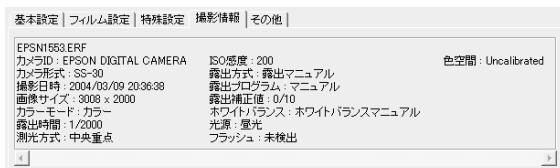
③で保存したレンズの焦点距離と補正強度の設定を読み込みます。ファイルを読み込むと、読み込んだレンズの焦点距離と補正強度が表示されます。

⑤ レベル補正

ハイライトポイント：明部の階調を調整します。
シャドーポイント：暗部の階調（締まり）を調整します。
※これらの設定値は保存できません。

メモ	
	• 撮影に使用したレンズの焦点距離が選択肢にない場合は、使用したレンズに近い焦点距離を選択してください。 • お使いのレンズの仕様や状態によっては、実際に撮影で使用したレンズの焦点距離と異なる焦点距離を設定した方がお好みの結果を得られる場合があります。 • 同じ焦点距離のレンズであってもレンズの種類、絞りの状態などによって周辺光量落ちの程度は異なります。お使いのレンズに合わせてお好みの値に設定してください。

◆撮影情報

画像の撮影情報を表示します。(撮影情報の編集はできません。)

表示項目	内容
ファイル名	画面データのファイル名が表示されます。
カメラ ID	本機のカメラ ID が表示されます。
カメラ形式	本機のカメラ形式が表示されます。
撮影日時	撮影年月日と撮影時刻が表示されます。 例）YYYY ／ MM ／ DD HH：MM：SS
画像サイズ	画像のピクセル数が表示されます。 例）XXXX （幅）× YYYY （高さ）
カラーモード	画像のカラーモードが表示されます。
露出時間	撮影時のシャッタースピードが表示されます。 例）Y/X、X 秒
測光方式	本機は、「中央重点」と表示されます。 ※本機の測光方式は、中央重点平均式のみです。
ISO 感度	撮影時の ISO 感度が表示されます。 例）200、400 ・・・
露出方式	撮影時の露出方式が表示されます。 例）露出自動、露出マニュアル
露出プログラム	撮影時の露出プログラムが表示されます。 例）マニュアル、絞り優先
露出補正値	画像の露出補正値が表示されます。 例）-3/10、6/10
ホワイトバランス	画像のホワイトバランスが表示されます。 例）ホワイトバランス自動、ホワイトバランスマニュアル
光源	画像の光源が表示されます。 例）昼光、日陰、曇天、タングステン、蛍光灯、不明
フラッシュ	本機は、「未検出」と表示されます。 ※本機ではフラッシュの使用の有無を検出しません。
色空間	画像の色空間が表示されます。 例）Uncalibrated

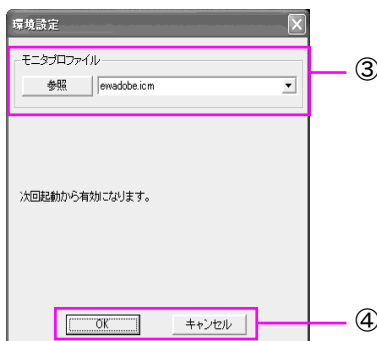
◆その他

設定画面に関するヘルプを表示したり、環境設定を行うことができます。

① ヘルプ

HTMLヘルプが表示されます。

② 環境設定

クリックすると以下の画面が表示されます。お使いの PC 環境に合わせて、モニタの色空間を指定します。設定した値は、次回の起動時から有効になります。

③ モニタプロファイル

使用中のモニタに適切なICCプロファイルを選択します。

④設定変更確認

[OK]　　　　：設定を変更して画面を閉じます。

[キャンセル]：設定の変更を中止して画面を閉じます。

◆現像処理

現像したい RAW データ(ERF ファイル)を選択し、現像パラメータを決定したら、以下の手順で現像します。

現像すると、本機で撮影した RAW データ(ERF ファイル)を、「JPEG」形式や「TIFF」形式のファイルとして保存することができます。

1 **現像したい RAW データを選び、現像パラメータを設定したら、 をクリックする**

選択した画像が現像候補エリアに追加されます。

複数の画像を選択している場合は、プレビューエリアで選択した画像(赤枠で囲まれた画像)すべてに現像パラメータが適用され、現像候補エリアに追加されます。

2 **[現像開始]をクリックする**

出力パラメータが表示されます。

3 **出力パラメータを設定し、[OK]をクリックする(☞ 128 ページ)**

現像候補エリアに表示されている画像の現像が開始され、現像中の進行度が表示されます。

現像を終了するとメッセージが表示されます。

4 [はい]または[いいえ]をクリックし、現像を終了する

メ モ　現像前のサムネイル画像の色味は、実際に現像される色味とは異なります。

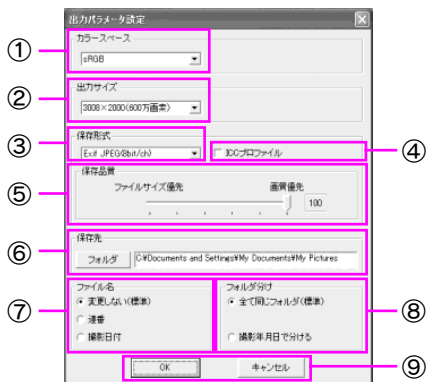
現像候補から画像を削除する

現像候補エリアの画像を削除するときは、現像候補エリア内の削除したい画像をクリックし、[候補から外す]をクリックします。(現像候補から外した画像は現像候補エリアから消えます。)

現像候補から全ての画像を削除する

[Alt]キーを押している間は[候補から外す]が[全て候補から外す]に変わります。[全て候補から外す]をクリックすると、現像候補に加えた全ての画像を現像候補から削除することができます。

◆出力パラメータの設定

RAW データから JPEG 画像や TIFF 画像を生成するときの条件を設定します。保存するファイル形式や保存場所なども、出力パラメータで設定します。

① カラースペース

出力する画像の色空間を選択できます。本機の画像品質「N」または「H」で撮影した画像の色空間は sRGB となりますが、「R」(RAW データ)で撮影した画像を「EPSON Photolier」を使って現像することで、AdobeRGB を選択することができます。

sRGB	Windows を中心とした標準的な色空間です。対応しているアプリケーションが多く、インターネット Web ページでの使用にも適しています。
AdobeRGB	sRGB よりも色の再現範囲が広くなり、より高彩度な色を表現することができます。 AdobeRGB をサポートしていないアプリケーションでは意図しない色が再現されます。

② 出力サイズ

出力サイズを選択します。

3008 × 2000 (600 万画素)	六つ切りまでのプリントに適しています。
2240 × 1488 (330 万画素)	2L 判までのプリントに適しています。
1504 × 1000 (150 万画素)	L 判までのプリントに適しています。
640 × 432 (30 万画素)	インターネット Web ページに適しています。 (写真印刷には向きません。)

③ 保存形式

保存形式を選択します。

Exif JPEG（8bit/ch）	P.I.M.II 準拠の JPEG 画像として保存します。 圧縮形式のファイルで、保存品質を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化していきます。レタッチなどの加工が前提の場合、TIFF 形式で保存してください。 R 、G 、B 各チャンネルに 8bit （256 段階）の階調を持ちます。 ファイルには Exif 情報も記録されます。
Exif TIFF（8bit/ch）	P.I.M. II 準拠の TIFF 画像として保存します。 グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。 R、G、B 各チャンネルに 8bit（256 段階）の階調を持ちます。 ファイルには Exif 情報も記録されます。
TIFF（16bit/ch）	P.I.M. II 準拠の TIFF 画像として保存します。 グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。 R、G、B 各チャンネルに 16bit（65536 段階）の階調を持ち、より高品質な出力ができます。 Exif には対応していません。 Photoshop7.0/CS など 16bit/ch 対応のソフトウェア・機器以外では十分に効果を発揮できませんのでご注意ください。（PhotoshopElements2.0 は対応していません。）

※ P.I.M ＝ PRINT Image Matching（☞ 165 ページ）

④ ICC プロファイル

この項目をチェックすると、出力する画像ファイルに「ICC プロファイル」が添付されます。ICC プロファイルによるカラーマネージメントに対応したソフトウェア（Adobe Photoshop など）で画像を展開する場合に有効となります。

※ICC プロファイルを添付すると、アプリケーションによっては P.I.M.II 画像として認識しない場合があります。この場合は「ICC プロファイル」のチェックボックスを OFF にしてください。

⑤ 保存品質

「Exif JPEG(8bit/ch)」を選択した場合は、圧縮率を 6 段階(50 ～ 100)から選択します。P.I.M. II 準拠のファイル形式で保存しますので、P.I.M. II 対応ソフトウェアで P.I.M. II 画像として取り扱うことができます。

⑥ 保存先

[フォルダ]をクリックし、現像処理で生成されるファイルを保存する場所を指定します。

⑦ ファイル名

現像処理で生成されるファイルのファイル名を指定します。ファイルの拡張子は③保存形式に応じて「.JPG」または「.TIF」になります。

変更しない（標準）	RAW データと同じファイル名になります。
連番	「IMG00001」という連番形式のファイル名になります。
撮影日付	撮影年月日「YYYY_MMDD_hhmm」（年 _ 月日 _ 時分）という形式のファイル名になります。

⑧ フォルダ分け

現像処理で生成されるファイルを保存するフォルダを指定します。

全て同じフォルダ（標準）	現像処理で生成されるファイルは「⑥保存先」で指定したフォルダに保存されます。
撮影年月日で分ける	RAW データに記録されている撮影時情報を元にして、「⑥保存先」で指定したフォルダの中に撮影年月日ごとのフォルダを作成します。現像処理で生成されるファイルは、撮影年月日ごとのフォルダに振り分けられます。

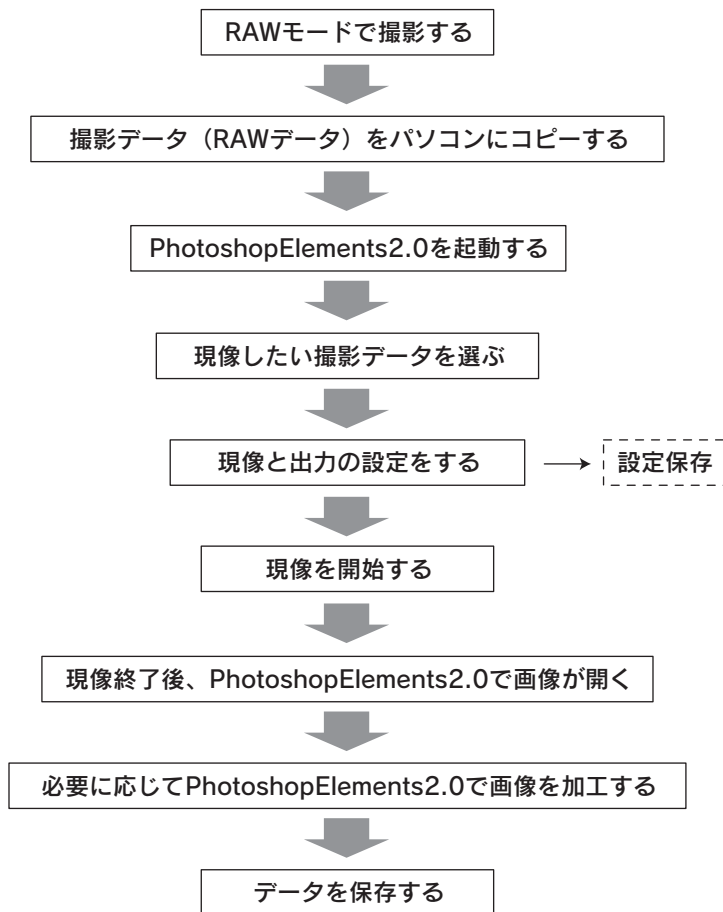
⑨ 設定変更確認

[OK]　　　　：設定を変更して画面を閉じます。

[キャンセル]：設定の変更を中止して画面を閉じます。

8 章　Photoshop での現像

現像の流れ

「Adobe PhotoshopElements2.0（PhotoshopElements2.0）」を使用する場合は、以下のような流れでRAWデータの現像を行います。

ソフトウェアの起動／終了

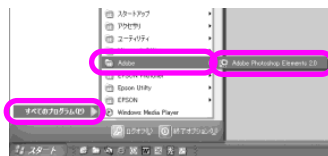
「PhotoshopElements2.0」は、以下の方法で起動／終了します。

メモ	「EPSON　RAW　Plug-In」は PhotoshopElements2.0、および Adobe Photoshop7.0/CS のプラグインとして機能します。本書では Adobe PhotoshopElements2.0 を使用した場合の RAW データの現像方法を記載していますが、Photoshop7.0/CSでも同様の方法で現像できます。

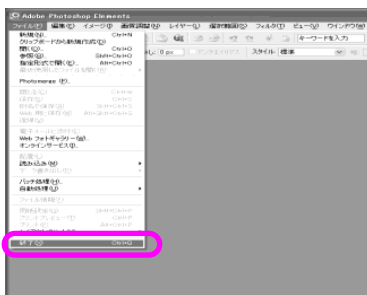
◆ Windows の場合

ソフトウェアの起動

1 **[スタート]－[すべてのプログラム]（または[プログラム]）－[Adobe]－[PhotoshopElements2.0]をクリックする**

PhotoshopElements2.0 が起動します。

ソフトウェアの終了

1 **[ファイル]－[終了]をクリックする**

PhotoshopElements2.0 が終了します。

◆ Macintosh の場合

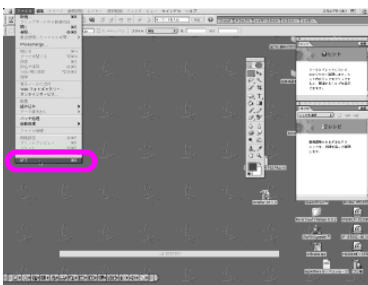
ソフトウェアの起動

1 **[PhotoshopElements2.0]をクリックする**

PhotoshopElements2.0 が起動します。

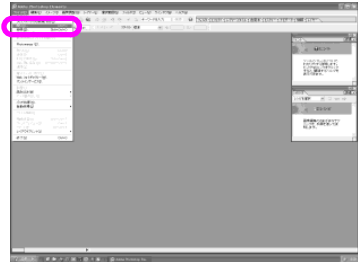
ソフトウェアの終了

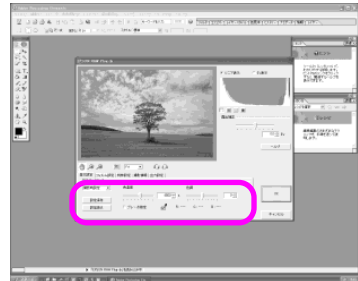
1 **[ファイル]－[終了]をクリックする（または「Photoshop」－「Photoshop を終了」をクリックする）**

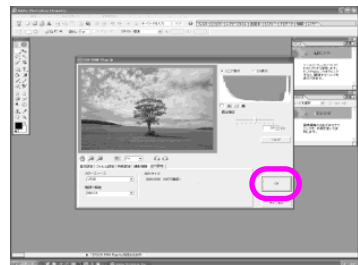
PhotoshopElements2.0 が終了します。

◆ RAW データの読み込みと現像

1 「PhotoshopElements2.0」を起動する（☞ 132 ページ）

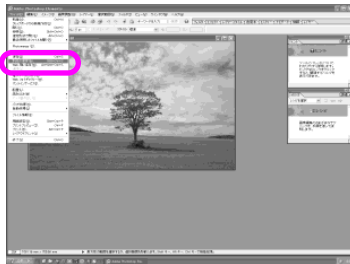
2 現像したい RAW データを開く

ファイルメニューもしくは、Photoshop のファイルブラウザから選択します。画像が開くと、パラメータ設定画面が表示されます。

3 パラメータを設定する

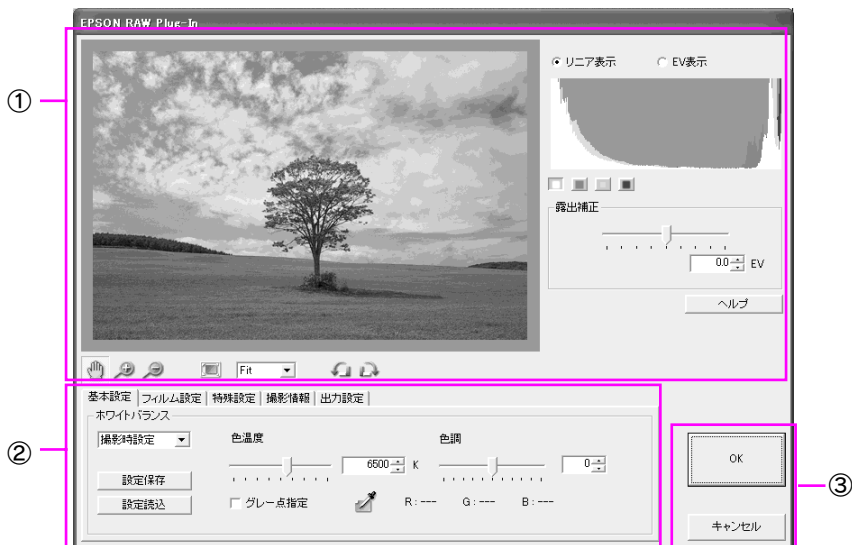
プレビューエリアにプレビュー画像が表示されます。
（「現像と出力の設定」☞ 138 ページ）

4 [OK]をクリックする

「PhotoshopElements2.0」で画像が開きます。

5 より細かなレタッチをしたい場合、「PhotoshopElements2.0」で画像を加工する

6 [ファイル]ー[別名で保存]をクリックする

現像した RAW データを JPEG、TIFF、PSD などの形式で保存できます。

メモ	RAW データは、現像後に RAW データの形式(ERF ファイル)で保存することはできません。

◆画面の見方

「PhotoshopElements2.0」を起動してRAWデータ（ERFファイル）を開くと、以下の画面が表示されます。

① プレビューエリア

RAW データ（ERF ファイル）のプレビュー画像を表示します。（プレビューエリアの操作については 116 ページを参照してください。）

② パラメータ設定エリア

選択したRAWデータ（ERFファイル）に適用する現像パラメータを設定します。

③ 現像確認

［OK］　　　：設定を適用し、RAW データ（ERF ファイル）の現像を開始します。
現像後は PhotoshopElements2.0 で画像を開きます。

［キャンセル］：RAWデータ（ERFファイル）の現像を中止して画面を閉じます。
※［Alt］キーを押している間は［キャンセル］が［初期化］に変わります。全ての設定を元に戻すときは、［Alt］キーを押しながら［初期化］をクリックします。（Macintosh の場合は、［Option］キーを使用します。）

メモ	キーボードの［CTRL］キーを押している間は、白トビしている個所が赤色で点滅します。（白トビ警告機能） （Macintosh の場合は、［コマンド］キーを使用します。）

現像と出力の設定

現像パラメータの設定については、現像アプリケーション「EPSON Photolier」の操作説明(119 ページ～ 124 ページ)を参照してください。

なお、出力設定については、以下のようになります。

① カラースペース

色空間を選択できます。本機の画像品質「N」または「H」で撮影した画像の色空間はsRGBとなりますが、「R」(RAWデータ)で撮影した画像を「EPSON Photolier」を使って現像することで、AdobeRGB を選択することができます。

sRGB	Windows を中心とした必要最低限の色空間です。対応しているアプリケーションが多く、インターネット Web ページでの使用にも適しています。
AdobeRGB	sRGB よりも色の再現範囲が広くなり、より高彩度な色を表現することができます。 AdobeRGB をサポートしていないアプリケーションでは意図しない色が再現されます。

② 階調分解能

8bit/ch と 16bit/ch を選択します。

8bit/ch	R(赤)、G(緑)、B(青)の各カラーチャンネルを256 階調で出力します。もっとも一般的に使用されている形式であり、取り扱いが容易です。
16bit/ch	R(赤)、G(緑)、B(青)の各カラーチャンネルを65536 階調で出力します。繊細な濃淡をあらわしたい場合や現像後に細かなレタッチを行ないたい場合に適しています。 16bit/ch でレタッチを行なう場合は、Photoshop で使用できる機能が一部制限されます。 ※「PhotoshopElements2.0」では、選択できません。

③ 出力サイズ

出力サイズは、3008 × 2000 pixel(600 万画素)のみです。

Ⅲ こんなときは

長期間使用しないときは

長期間使用しないときは以下のように保管してください。

■バッテリを取り外す

長期間お使いにならないときは、バッテリを取り外してください。取り付けたままにしていると、過放電によりバッテリが使用できなくなることがあります。

■磁気や電磁波の影響を受ける場所に置かない

強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境で保管しないでください。データが壊れたり消失することがあります。

■使用しないときのデータについて

長期間お使いにならないときは、以下の点にご注意ください。

日付と時刻	バッテリがなくなってから数日経過（環境条件による）すると、日付と時刻はリセットされ、購入時の設定（2004.01.01　00：00）に戻ります。（SD メモリーカードが挿入されているときは、「SD メモリーカード内の最後に撮影した写真の日時の 2 秒後」となります。）
メモリーカード内のデータ	バッテリがなくなっても、保存している画像データは消えません。次回、電源をオンにすると前回の状態で表示されます。
撮影設定と基本設定	撮影設定と基本設定（日付と時刻を除く）は、バッテリがなくなっても保持されます。

お手入れするときは

良好な状態でお使いいただくために、必要に応じて次のようなお手入れをしてください。

◆本体

電源がOFFになっていることを確認し、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

注 意 ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、アルコールなどを染み込ませた布で拭かないでください。本体表面の文字が消えたり、本体が色落ちすることがあります。

◆充電器

電源コードが抜かれていることを確認し、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。バッテリや充電器の端子が汚れている場合は、端子部を乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

注 意 ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、アルコールなどを染み込ませた布で拭かないでください。本体表面の文字が消えたり、本体が色落ちすることがあります。

◆液晶モニタ

電源がOFFになっていることを確認し、中性洗剤を染み込ませてしっかり絞った柔らかい布で軽く拭いてください。

注 意 ティッシュペーパー、乾いた布、中性以外の洗剤は使用しないでください。液晶モニタの表面に傷がつき、表示が見にくくなる可能性があります。

◆ CCD センサ

CCDセンサにホコリやゴミが付着した場合は、以下の手順で清掃してください。清掃にはカメラ用のブロアー(手動式でブラシの付いていないもの)、およびロック付きのケーブルレリーズを使用します。

注 意

- スプレー式のエアーダスターは使用しないでください。また、手でこすったり、布で拭き取ったりしないでください。CCD センサの表面に傷がつき、撮影データに支障が出る可能性があります。
- ブロアーはレンズ取り付け部より内側に入れないでください。
  シャッターが閉じたときに、シャッターや CCD センサを損傷することがあります。
- 下記以外の清掃方法による本機の故障および破損の修理は、保証期間内であっても保証範囲外となり、有料となります。また、下記の手順で清掃できない場合や下記の手順で清掃を行ってもホコリやゴミが取り除けない場合は、エプソン修理センターまでご連絡ください。(裏表紙参照)

1 本機から SD メモリーカードを取り出す

SDメモリーカードを取り出すことにより、CCDセンサに通電しなくなります。

2 シャッター速度ダイヤルを「B」(バルブ)に合わせ、ケーブルレリーズを取り付ける

3 残量が十分あるバッテリを入れて、電源を ON にする

劣化していたり、残量が不足しているバッテリは使用しないでください。清掃中にシャッターが閉じることがあります。

4 シャッターチャージレバーを操作し、レンズまたはレンズ部カバーを取り外す

5 ケーブルレリーズでシャッターを開放し、ロックする

清掃中にシャッターが閉じることがないよう、必ずロック付きのケーブルレリーズを使用してください。

6 CCD センサについたホコリをカメラ用のブロアーで慎重に吹き飛ばす

7 清掃が終了したらケーブルレリーズのロックを解除し、シャッターを閉じる

8 レンズ、またはレンズ部カバーを取り付け、ケーブルレリーズを取り外す

以上で清掃は終了です。

故障かな？と思ったときは

本機の操作などに問題があるときは、液晶モニタにメッセージが表示されます。このときは、液晶 モニタのメッセージに従ってください。(☞ 150 ページ)

メッセージが表示されず、「故障かな？」と思ったときは、修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。対処に従っても問題が解決しないときは、故障している可能性がありますので、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。(裏表紙参照)

こんなときは		こうしてください
電源	電源が入らない	バッテリが正しくセットされていますか？ バッテリの向きに注意して正しくセットしてください。（☞ 24 ページ）
		バッテリ残量は十分にありますか？ バッテリ残量が少なくなると、電源が入らないことがあります。バッテリを充電してください。（☞ 22 ページ）
	しばらくすると電源が OFF になってしまう	節電機能が働いていませんか？ 節電移行時間を確認してください。（☞ 84 ページ）
		バッテリ残量は十分にありますか？ バッテリ残量が少なくなると、電源が OFF になることがあります。バッテリを充電してください。（☞ 22 ページ）
	バッテリの消耗が早い	バッテリの寿命ではありませんか？ 新しいバッテリをお買い求めください。（☞ 25 ページ）
アクセスランプ	アクセスランプが点滅しつづけている	「SD カードエラー」が発生しています。液晶モニタを表向きにして [□] を押し、エラーメッセージを確認してください。（「液晶モニタの回転」☞ 表紙）
		対応していないメモリーカードを使用していませんか？ 液晶モニタを表向きにして [□] を押し、エラーメッセージを確認してください。（「液晶モニタの回転」☞ 表紙） ※ 本機では、MMC（マルチメディアカード）は使用できません。

こんなときは		こうしてください
撮影	撮影・記録できない	電源が入っていますか？ 電源を ON にしてください。（☞ 34 ページ）
		シャッターチャージレバーを操作していますか？ シャッターチャージレバーをしっかり操作していないと、撮影ができません。
		SD メモリーカードはセットされていますか？ 本機は SD メモリーカードをセットしなくてもシャッターを切ることができますが、SD メモリーカードをセットしないと画像は記録されません。（☞ 31 ページ）
		針式インジケータの撮影残枚数の表示が「0」になっていませんか？（SD メモリーカードの残量は十分にありますか？） SD メモリーカードの容量がなくなっていると、撮影できません。
	シャッターチャージレバーが操作できない	シャッターチャージレバーは、一度操作するとシャッターボタンを押すまで次の操作はできません。
	シャッターが切れない（シャッターボタンを押しても撮影されない）	シャッターチャージレバーを操作していますか？ シャッターチャージレバーを操作しないとシャッターは切れません。（☞ 60 ページ）
		「SD カードエラー」が発生していませんか？ シャッターチャージレバーを操作した後、「SD カードエラー」が発生した場合は、エラーを解除しないとシャッターは切れません
	ファインダーにシャッタースピードが表示されない	シャッタースピードを「B」（バルブ）に設定しているときは、シャッタースピードは表示されません。（☞ 65 ページ）
	ファインダーが暗い	ファインダーの正面または背面が汚れていませんか？ ファインダーが汚れている場合は、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

こんなときは		こうしてください
撮影	露出が合わない	本機は中央部重点平均測光方式のため、被写体の明るさによって露出補正が必要な場合があります。（☞ 56 ページ）
		AE 撮影で、露出補正が設定されていませんか？（☞ 58 ページ）
	二重像が表示されない	ファインダーの測距窓が汚れていませんか？ 測距窓が汚れている場合は、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
液晶モニタ	液晶モニタに画像が表示されない	撮影モードのときは、液晶モニタに画像が表示されません。 画像を確認するときは、▭を押して再生モードに切り替えてください。（☞ 68 ページ）
		液晶モニタはしっかり反転させて表向きにしていますか？ 画像を確認するときは、液晶モニタをしっかり反転させてください。
	表示が暗い	液晶モニタの明るさを調整してください。（☞ 86 ページ）
	液晶モニタが見難い	太陽光が直接当たっていませんか？ 太陽光が直接当たっていると、液晶モニタが見難い場合があります。太陽光が直接当たらないように角度を変えてください。
	縦方向に線が入る	強い光を撮影していませんか？ 撮影時、撮影範囲内に強い光が入っていると再生した画像に縦方向の線が見えることがあります。この場合は、撮影範囲内に強い光が入らないようにしてください。
	液晶モニタに常時白い点や黒い点が表示される	一部に常時点灯または常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。
針式インジケータ	針がずれた	物理的な衝撃などを受けていませんか？ 物理的な衝撃を受けると針がずれることがあります。この場合は、針の位置を調整してください。（☞ 92 ページ）
	針が動かない	針が動いているときにバッテリを取り出していませんか？ 針が動いているときにバッテリを取り出すと、針が動かなくなることがあります。この場合は、エプソン修理センターまでご連絡ください。

こんなときは		こうしてください
再生	画像が再生できない	SD メモリーカードはセットされていますか？ SD メモリーカードがセットされていない場合は撮影済みの SD メモリーカードをセットしてください。
		他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像で、本機が対応していない解像度の画像データの場合、本機では画像が表示されず「人型のアイコン」が表示されます。
	液晶モニタに何も表示されない、または真っ白な画面が表示される	撮影した画像の露出はあっていますか？ 撮影時の露出があっていない場合、真っ黒な画像や真っ白な画像が撮影されていることがあります。
	画像が削除できない	画像を「保護」にしていませんか？ 「保護」を解除してください。（☞ 74 ページ）
		SD メモリーカードがプロテクトされていませんか？ プロテクトを解除してください。（☞ 31 ページ）
		画像データが壊れていませんか？ データが壊れている場合は、削除できません。パソコンで、壊れている画像データを削除してください。
	画像を「保護」に設定できない	SD メモリーカードがプロテクトされていませんか？ プロテクトを解除してください。（☞ 31 ページ）
	画像が拡大できない	RAW モードで撮影していませんか？ RAW データの場合は、約 2 倍までの拡大表示となります。
		他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像の場合、拡大表示できないことがあります。
	画像の詳細データが表示されない	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像の場合、画像の詳細情報は表示されません。

こんなときは		こうしてください
再生	人型のアイコンが表示される	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像で、本機が対応していない解像度の画像データの場合、本機では画像が表示されず「人型のアイコン」が表示されます。
		データが壊れていませんか？ データが壊れている場合は、本機では画像が表示されず「人型のアイコン」が表示されます。
	画像の両端に黒い帯が入る	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影した画像で、画像の縦横比が 3：4 の場合は、両端に黒い帯が表示されます。 （本機の画像の縦横比は 2：3 です。）
	SD メモリーカードに記録されている画像が表示（再生）できない	他機種で撮影された画像ではありませんか？ DCF 規格に準拠している場合、通常「DSC」フォルダ内に「100EPSON」というフォルダが作成され、その中に画像データが記録されます。SD メモリーカード内に他社製カメラで撮影した画像データで「100 ＊＊＊＊」というフォルダがある場合は、「100EPSON」というフォルダが優先して再生され、他のフォルダの画像は表示（再生）されません。 この場合は、パソコンを使ってフォルダ番号が重ならないようにフォルダ番号を変更するか、同じ番号で始まるフォルダを SD メモリーカードから移動してください。 ※ フォルダ名の「＊＊＊＊」は、カメラによって異なります。
	日付や時刻が正しく表示されない	日付や時刻は正しく設定されていますか？ 日付や時刻を正しく設定してください。（☞ 81 ページ）
	画像に添付した音声データが再生できない	他機種で撮影し音声を添付した画像ではありませんか？ 本機では、画像に音声を添付したり、添付された音声を再生することはできません。

こんなときは		こうしてください
画像	ぼけている、ピントが合っていない	被写体からの距離は正しいですか？ レンズの最短撮影距離を確認してください。レンズの最短撮影距離以下では、ピントが合いません。（レンズの最短撮影距離はレンズによって異なります。）
		レンズが汚れていませんか？ レンズが汚れている場合は、レンズの取扱説明書にしたがって清掃してください。
		レンズは正しく取り付けられていますか？ レンズがゆるんでいる場合は、レンズを取り付け直してください。（☞ 26 ページ）
		対応していないレンズを使用していませんか？ 対応していないレンズの場合、ゴーストやフレアなどが発生することがあります。
	画像の周辺が暗い	レンズによっては画像の周辺部が暗く写ることがあります。RAW モードで撮影している場合は、付属の現像アプリケーション「EPSON Photolier」または「EPSON RAW Plug-In」を使用して補正するこができます。
設定	DPOF 設定できない	RAW モードで撮影していませんか？ RAW データは DPOF に対応していません。
		SD メモリーカードがプロテクトされていませんか？ プロテクトを解除してください。（☞ 31 ページ）
		針式インジケータの撮影残枚数の表示が「0」になっていませんか？（SD メモリーカードの残量はありますか？） SD メモリーカードの容量がなくなっていると、DPOF 設定ができません。
		JFIF データではありませんか？ JFIF データは Exif2.21 に対応していないため、DPOF 設定できません。
メモリーカード	SD メモリーカードが使用できない	フォーマットされていない SD メモリーカードではありませんか？ 新しい SD メモリーカードの場合は、本機でフォーマットしてください。（☞ 94 ページ）

こんなときは		こうしてください
メモリーカード	SD メモリーカードが使用できない	SD メモリーカードが壊れていませんか？ 他の SD メモリーカードが使用できるかどうかを確認してください。他の機器でも使用できない場合は SD メモリーカードの製造元にお問い合わせください。 すでに撮影した SD メモリーカードで、他の機器で使用できる場合は必要に応じてデータの救出を行った後、本機でフォーマットしてください。（フォーマットを行うと、SD メモリーカード内の画像データは全て消去されます。） データの救出ができなかった場合や本機でフォーマットしても SD メモリーカードが使用できない場合は、SD メモリーカードの製造元にお問い合わせください。
		対応していないメモリーカードを使用していませんか？ 液晶モニタを表向きにして [□] を押し、エラーメッセージを確認してください。（「液晶モニタの回転」☞ 表紙） ※ 本機では、MMC（マルチメデイアカード）は使用できません。
充電器	充電できない	バッテリは正しく装着されていますか？ バッテリを正しく装着してください。（☞ 24 ページ）
		バッテリや充電器の端子が汚れていませんか？ バッテリや充電器の端子が汚れている場合は、端子部を清掃してください。（☞ 141 ページ）
		専用のバッテリを使用していますか？ EPALB1 を使用してください。（☞ 22 ページ）
		バッテリの寿命ではありませんか？ バッテリの寿命が考えられる場合は、新しいバッテリをお買い求めください。（☞ 25 ページ）
	充電ランプ（赤）が点滅している	充電ランプ（赤）が点滅している場合は、充電異常を示しています。バッテリの型番（EPALB1）を確認してください。また、端子部が汚れている場合は端子部を清掃してください。（☞ 141 ページ）

エラーメッセージ一覧

液晶 モニタにメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のように対処してください。
※エラーメッセージは、「A ～ Z、五十音（あ～ん）」の順に記載しています。

こんなメッセージが表示されたときは	こうしてください
DPOF 印刷合計枚数が 1000 枚以上です。	印刷合計枚数が 999 枚以下になるように設定してください。
DPOF 印刷合計枚数が 1000 枚以上のため、全コマ DPOF 設定できません。	「1 コマ DPOF 設定」で、印刷合計枚数が 999 枚以下になるように設定してください。
DPOF 設定できません。	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像で、本機が対応していない解像度の画像データの場合、本機では画像が表示されず「人型のアイコン」が表示されます。
JFIF データのため、設定できません。	JFIF データは Exif2.21 に対応していないため DPOF 設定できません。
RAW データのため設定できません。	RAW データは DPOF に対応していません。
SD カードがフォーマットされていないか、サポートされていないフォーマットです。	SD メモリーカード内のデータが消去されても良いことを確認し、本機でフォーマットしてください。（☞ 94 ページ）
SD カードがプロテクトされているため、フォーマットできません。	プロテクトを解除してください。（☞ 31 ページ）
SD カードがプロテクトされているため、解除できません。	プロテクトを解除してください。（☞ 31 ページ）
SD カードがプロテクトされているため、削除できません。	プロテクトを解除してください。（☞ 31 ページ）
SD カードがプロテクトされているため、設定できません。	プロテクトを解除してください。（☞ 31 ページ）
SD カードがプロテクトされているため、保護できません。	プロテクトを解除してください。（☞ 31 ページ）
SD カードが入っていません	SD メモリーカードを入れてください。
SD カードに空き容量が無いため、設定できません。	SD メモリーカード内の不要なデータを削除してください。
SD カードエラー	他の SD メモリーカードを使用してください。

こんなメッセージが表示されたときは	こうしてください
画像を表示できません。	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像で、本機が対応していない解像度の画像データの場合、本機では画像が表示されず「人型のアイコン」が表示されます。
画像ファイルがありません。	SD メモリーカード内に画像データがありません。
拡大できません。	他機種で撮影された画像ではありませんか？ 他機種で撮影された画像の場合、拡大表示できないことがあります。
“完全フォーマット” でフォーマットを実行してください。	本機で完全フォーマットしてください。（☞ 94 ページ）
削除できませんでした。	画像データが壊れていませんか？ データが壊れている場合は、削除できません。 パソコンで、壊れている画像データを削除してください。
サポートされていないメモリーカードが挿入されています。	SD メモリーカードを使用してください。
注意：JFIF データには DPOF 設定されません。	JFIF データは Exif2.21 に対応していないため DPOF 設定できません。
注意：RAW データには DPOF 設定されません。	RAW データは DPOF に対応していません。
注意：RAW データ及び JFIF データには DPOF 設定されません。	RAW データおよび JFIF データには DPOF 設定されません。

こんなメッセージが表示されたときは	こうしてください
注意：SD カード内に同じ番号のディレクトリが存在します。	DCF 規格に準拠している場合、通常「DSC」フォルダ内に「100EPSON」というフォルダが作成され、その中に画像データが記録されます。SD メモリーカード内に他社製カメラで撮影した画像データで「100 ＊＊＊＊」というフォルダがある場合は、「100EPSON」というフォルダが優先して再生され、他のフォルダの画像は表示（再生）されません。この場合は、パソコンを使ってフォルダ番号が重ならないようにフォルダ番号を変更するか、同じ番号で始まるフォルダを SD メモリーカードから移動してください。 ※フォルダ名の「＊＊＊＊」は、カメラによって異なります。
注意：他の機器で設定した DPOF 設定を上書きします。	他機種で設定した DPOF 設定を上書きします。
保護されているため削除できません。	画像データが「保護」に設定されています。「保護」を解除してから削除してください。（☞ 74 ページ）

注 意 「SD カードエラー」、「SD カード未フォーマット」などが発生している場合でも [ボタン] を押すと撮影モードに切り替わりますが、撮影はできません。

付録

仕様

◆本体

■画像フォーマット

撮像素子	23.7mm × 15.6mm APS-C サイズ CCD センサ (原色フィルター)
有効画素数	有効画素数 6.1 メガピクセル
記録画像サイズ	CCD-RAW(12bit)：3008 × 2000 pixels JPEG：3008 × 2000 pixels ／ 2240 × 1488 pixels
記録フォーマット	Exif2.21 準拠、DCF2.0 準拠、DPOF1.1 準拠、PRINT Image Matching2.6 対応
記録メディア	SD メモリーカード（最大 1GB まで対応）

■光学系

ファインダー形式	実像距離計式等倍透視ファインダー
ファインダー倍率	1.0 倍 (完全等倍)
基線長	38.2mm　（有効基線長：38.2mm）
距離計	二重像合致式 (連動範囲 0.7m ～∞)
視野枠	28 ／ 35 ／ 50mm 対応ブライトフレーム切り替え式 パララックス自動補正機能
視野率	85%（3m 時）
ファインダー内露出表示	シャッター速度別 LED 切換表示　（AE 時、マニュアル時）

■レンズマウント

レンズマウント	ＥＭ マウント（ライカ社 M 型互換マウント） （アダプター〈コシナ社製〉により L マウントレンズも装着可）
接続可能レンズ	マウントからの深さ：20.5mm 以下
レンズ撮像画角比	35mm フィルムレンズ表記焦点距離換算比：1.53 倍 注意：沈鏡胴 (沈胴式）レンズを装着した場合、レンズを押し込む (沈胴させる）ことはできません。無理にレンズを押し込んだり、又は、押し込んだ状態でカメラボディに装着しますと、ボディおよびレンズを破損させる恐れがありますので、押し込まない状態で、固定鏡胴としてお使いください。

■シャッター

シャッター	電気制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1 ／ 2000 ～ 1 秒、バルブ
シンクロ接点	X 接点　1 ／ 125 秒以下同調　(シンクロ撮影のみ対応)

■露出測光

測光方式	TTL 幕面ダイレクト実絞り中央部重点平均測光方式
測光範囲	EV 1 ～ 19 (ISO100 換算時)

■撮影機能

露出制御方式	絞り優先 AE、マニュアル （AE ロックボタンによる AE ロック機能）
露出補正値設定	－ 2.0 ～＋ 2.0EV(1 ／ 3EV 設定ステップ) （AE 時のみ）
ISO 感度	200 ／ 400 ／ 800 ／ 1600
ホワイトバランス 設定	撮像センサによる TTL 方式オートホワイトバランス オート、プリセット（晴天／日陰／曇天／白熱電球／蛍光灯）
撮影特性設定	標準、EPSON フィルム 1、2、3（ユーザー定義プリセット） （フィルム設定毎に画質特性をカスタム可能)
カラー設定	カラー、モノクロ モノクロフィルターワーク機能：（標準、グリーン、イエロー、オレンジ、レッド）搭載

■表示

液晶モニタ	2.0 型低温ポリシリコン TFT カラー液晶（23.5 万画素） 明るさ調節 8 段階、視野率：99.7％
針式インジケータ	4 針式表示 （画像品質設定／ホワイトバランス設定／撮影残枚数／バッテリ残量）

■再生表示機能

画像表示	1 コマ表示、4 分割表示
撮影情報表示	ファイル名（ファイル番号、形式）、撮影日時、画像番号（再生画像 No. ／総画像数）、画像サイズ、ホワイトバランス、シャッター速度、画質品質設定、フィルム設定、ISO 感度、カラーモード
画像解析情報表示	ヒストグラム表示機能、白飛び部分のハイライトブリンク表示機能、フレーミングガイド表示
拡大表示	1 倍～最大 9.4 倍の拡大表示 拡大箇所の水平・垂直移動表示機能 *RAW 画像は最大約 2 倍の拡大表示

■再生時処理機能

ファイル削除	1 コマ削除／全コマ削除
ファイル保護	1 コマ保護／解除、全コマ保護／全コマ保護解除
DPOF 設定	1 コマ、全コマ (枚数設定 0 ～ 99 枚)
スライドショー再生	記録画像のスライドショー再生機能（再生間隔：約 3 秒） 順／逆方向再生選択可能

■機能設定

言語設定	日本語／英語／ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語／オランダ語／繁体字中国語
USER ボタン割付	1 コマ削除、1 コマ保護、拡大モード、印刷設定、設定一覧表示、フィルム設定のうち 1 つを割付可能
節電機能	節電モード移行時間設定可能
SD メモリーカードフォーマット	SD メモリーカードのフォーマット機能
針式インジケータ調整	軍艦部指針式表示モジュールの各針位置調整機能
連番設定	撮影記録ファイル名の連番記憶選択可能
日時設定	時計計時機能あり（年／月／日／時／分／設定可能）

■外観コネクタ

三脚ネジ穴	1 ／ 4（ISO1222）
アクセサリーシュー	シュー（ISO512）、シンクロ接点
レリーズソケット	シャッターボタン埋め込み

■大きさ

大きさ (W x H x D)	142.0 x 88.5 x 39.5mm （一部の突起は除く）
質量	約 560 g （SD メモリーカード、バッテリ、ネックストラップ、レンズ部カバー含まず）

■電源

専用リチウムイオンバッテリパック（EPALB1）1 個使用 （充電器〈電源コード付〉付）

■環境条件

温度	動作時：5 ～ 35 ℃、保存時：-20 ～ 60 ℃（非結露時）
湿度	動作時：30 ～ 80%、保存時：10 ～ 80%（非結露時）

■付属品

専用リチウムイオンバッテリパック (EPALB1)、充電器、ネックストラップ、取扱説明書、充電器用電源コード、レンズ部カバー、EPSON Photolier（Windows 専用 CCD-RAW 現像アプリケーション）、EPSON RAW Plug-In（Windows ／ Macintosh 用 CCD-RAW 現像 Adobe® Photoshop® プラグイン）、Adobe®PhotoShop® Elements2.0

■別売りアクセサリー

専用リチウムイオンバッテリパック：EPALB1 ＊オープンプライス

◆バッテリ

■バッテリ

電池種別	専用リチウムイオンバッテリパック
型番	EPALB1
外形寸法（W × H × D ）	19.8mm × 20.4mm × 55.5mm
重量	35g
出力電圧	3.7V
容量	1500mAh
撮影可能枚数	撮影条件 1：約 1000 枚 撮影条件 2：約 360 枚（CIPA 基準に準拠）

撮影条件 1）
電源 ON 後、1 分間に 6 枚を一定間隔で撮影し、電源を OFF する。電源 OFF 後、1 分間待って電源を ON し、上記サイクルを繰り返す。
このときフラッシュなし、シャッター速度 1 ／ 250、ISO200、JPEG（N）、WB 晴天固定。

撮影条件 2）
電源 ON 後、30 秒経過したら 1 枚撮影し、その後 30 秒ごとに 1 枚撮影する。10 枚撮影したら電源を OFF する。電源 OFF 後、電池を抜いて 10 分放置し、再度電池を挿入して電源を ON し、上記サイクルを繰り返す。
このときアクセサリーシューに装着したフラッシュは 2 回に 1 回フル発光、シャッター速度 1 ／ 125、ISO200、JPEG（H）、WB オート固定。

■充電器

型番	A281H
外形寸法（W × H × D ）	61mm × 28mm × 75mm
重量	約 100g
入力電圧	AC100V ～ 240V 、50 ／ 60Hz
充電方法	定電圧、定電流方式
充電表示	充電中：赤色ランプ点灯／完了時： ランプ消灯

対応レンズ例

本機のEMマウントには、Mマウント／VMマウントレンズ群、Lマウントレンズ群(要コシナ社製「M- バヨネットアダプターリング」)を装着することができます。以下に本機に装着できるレンズの例を記載します。

Lマウントレンズ

名称	焦点距離	F値	備考	本機での焦点距離
Ultra Wide Heliar［ウルトラワイドヘリアー］	12mm	F5.6	Aspherical	約18mm
Super Wide Heliar［スーパーワイドヘリアー］	15mm	F4.5	Aspherical	約23mm
Color Skopar［カラースコパー］	21mm	F4		約32mm
Snapshot Skopar［スナップショットスコパー］	25mm	F4		約38mm
Color Skopar［カラースコパー］	28mm	F3.5		約42mm
Ultron［ウルトロン］	28mm	F1.9	Aspherical	約42mm
Color Skopar［カラースコパー］	35mm	F2.5	Ctype	約53mm
Ultron［ウルトロン］	35mm	F1.7	Aspherical	約53mm
Color Skopar［カラースコパー］	50mm	F2.5		約75mm
Nokton［ノクトン］	50mm	F1.5	Aspherical	約75mm
Color Heliar［カラーヘリアー］	75mm	F2.5		約113mm
Apo-Lanthar［アポランター］	90mm	F3.5		約135mm

VMマウントレンズ

名称	焦点距離	F値	備考	本機での焦点距離
Nokton［ノクトン］	35mm	F1.2	Aspherical	約53mm
Color Skopar［カラースコパー］	35mm	F2.5	PII	約53mm

注 意

- マウントから20.5mm以上の外形寸法があるレンズは装着できません。
  ＜装着できないレンズ＞（ライカ社）
  ・HOLOGON 15mmF8
  ・SUPER ANGULON 21mmF4
  ・SUPER ANGULON21mm F3.4
  ・ELMARIT 28mm F2.8（最初期対象型）
  ・SUMMICRON 50mm F2（Dual Range SUMMICRON）
  ＜沈胴できないレンズ＞（ライカ社）
  ・HEKTOR 50mm F2.5
  ・ELMAR 50mm F3.5
- 沈鏡胴 (沈胴式）レンズを装着した場合、レンズを押し込む (沈胴させる）ことはできません。無理にレンズを押し込んだり、又は、押し込んだ状態でカメラボディに装着しますと、ボディおよびレンズを破損させる恐れがありますので、押し込まない状態で、固定鏡胴としてお使いください。

上記の原因による本機の故障および破損の修理は、保障期間内であっても保証範囲外となり、有料となります。また、上記の原因による他社製レンズの故障および破損に関しては、当社は一切の責任を負いません。

規制について

● 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

● 著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

● 電磁波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

● 瞬間電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルパソコンの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

● 電源高調波について

本製品は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

● 本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピュータ、その他の機器へのデータ転送が正常に行えなかった場合、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等）は、補償致しかねます。

MyEPSON について

◆「MyEPSON 」とは

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。

「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設※ 1 してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

※ 1 「MyEPSON 」へのユーザー登録には、インターネット接続環境(プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有)が必要となります。

ご登録いただいたお客様には、以下のようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのお勧め最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った!」に安心 & 充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

◆すでに「MyEPSON 」に登録されているお客様へ

「MyEPSON 」登録がお済みで、「MyEPSON 」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON 」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON 」への新規登録、「MyEPSON 」への機種追加登録は、どちらも同梱の『ソフトウェア CD- ROM 』から簡単にご登録いただけます。※ 2

※ 2 インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱の「お客様情報カード＋正式保証書発行カード」(ハガキ)にてユーザ登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は当社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。(上記「MyEPSON」の特典は反映されません。)

今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「MyEPSON」の特典が提供可能となります。

サービス･サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス･サポートをご案内いたします。

◆インターネットサービス

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
エプソン販売ホームページ：http：//www.i- love- epson.co.jp

◆ショールーム

エプソン製品を見て、触れて、操作できるショールームです。
所在地：裏表紙の一覧表をご覧ください。

◆保守サービスのご案内

「故障かな ?」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

正式保証書の発行とユーザー登録について

本製品には「お客様情報カード + 正式保証書発行カード」が同梱されています。

「仮保証書」欄は切り取って大切に保管し、「お客様情報カード + 正式保証書発行カード」の空欄に必要事項をご記入の上ご投函ください。記入された情報を元にユーザー登録と正式保証書の発行を行いますので、必ずご投函ください。登録情報は当社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。

また、正式保証書が届くまでの期間および郵送上のトラブル等で正式保証書が届かない場合の修理につきましては、仮保証書で対応させていただきます。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。

記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソン修理センター（裏表紙の一覧表をご覧ください）
  受付時間：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。(裏表紙参照)

画像のバックアップについてのご注意

本製品の故障により修理を依頼される場合、バックアップが可能な状態であれば画像のバックアップを必ずお取りください。

修理状況によっては、画像が消失してしまうことや、画像を復元できないことがありますが、データの消失または破損については、責任を負いかねますのでご了承ください。

用語解説

以下に説明されている用語の中には、エプソン独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

● AE 撮影

AE とは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略でカメラが自動的に露出を調節する機能のことです。本機のシャッタースピードダイヤルを「AE」に合わせて撮影を行うと、設定した絞りに応じたシャッタースピードが自動的に決まり、最適な露出で撮影することができます。

● DCF 規格

DCFとは、カメラファイルシステム規格（Design rule for Camera File system）の略です。いろいろなデジタルカメラでの再生互換を目的として標準化された規格です。DCF対応のデジタルカメラ同士なら、他のデジタルカメラで撮影した画像でも自分のデジタルカメラで見ることができます。

● DPOF

Digital Print Order Format の略で、デジタルカメラで撮影した画像を印刷するための情報（印刷したい画像とその枚数指定など）をコンパクトフラッシュやスマートメディアなどの記録媒体に記録するフォーマットです。

● Exif Print と PRINT Image Matching

Exif Print と PRINT Image Matching とは、この機能を搭載したデジタルカメラと対応プリンタを組み合わせて使用することで、きれいな印刷を簡単に実現することのできるシステムです。Exif Print 機能搭載のデジタルカメラで撮影すると、画像データに撮影シーンなどの撮影情報が付加されます。PRINT Image Matching 機能搭載のデジタルカメラで撮影すると、画像データにプリントコマンド（プリント指示情報）が付加されます。プリンタは、これらの撮影情報コマンドに従って印刷します。これにより、撮影時にデジタルカメラが意図したとおりの最適な色合いで印刷できます。Exif Print と PRINT Image Matching 両方の情報を持った画像データにおいて、どちらか片方だけの情報を有効にすることはできません。

● Exif Print

Exif Print は、新しく誕生したデジタルカメラの標準規格 Exif2.2 の愛称です。Exif Print では画像データに付加された撮影情報をもとに最適な色合いが決定されます。したがって撮影情報の解釈により、プリンタメーカーごと印刷品質に違いが現れます。

● PRINT Image Matching

PRINT Image Matching は、エプソンが提案し、デジタルカメラ各社から協賛を受けた仕組みです。また、PRINT Image Matching II は PRINT Image Matching の機能強化版です。PRINT Image Matching では、デジタルカメラからのプリントコマンドにより最適な色合いが決定されます。つまりデジタルカメラ側から印刷品質を制御する仕組みといえます。

● パララックス

パララックスとは、「ファインダーで決めた構図と実際に撮影される構図のズレ」(視差)のことです。レンズの位置とファインダーの位置が離れていることが原因で発生します。本機の内臓ファインダーにはパララックス補正機構がついています。

本製品は PRINT Image Matching II に対応しています。PRINT Image Matching II 対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。PRINT Image Matching 及び PRINT Image Matching II に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

索引

ら

れ

ろ

設定早見表

<table>
<tr><th>メニュー</th><th>項目</th><th colspan="2">設定内容（※：初期値）</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="6">機能選択メニュー</td><td>削除</td><td colspan="2">1 コマ削除※
全コマ削除</td><td>☞ 75 ページ</td></tr>
<tr><td>拡大</td><td colspan="2">ー</td><td>☞ 72 ページ</td></tr>
<tr><td>保護</td><td colspan="2">1 コマ保護／解除※
全コマ保護
全コマの保護を解除</td><td>☞ 74 ページ</td></tr>
<tr><td>印刷設定</td><td colspan="2">1 コマ DPOF 設定※
全コマ DPOF 設定
DPOF 設定情報表示</td><td>☞ 76 ページ</td></tr>
<tr><td>スライドショー</td><td colspan="2">ー</td><td>☞ 78 ページ</td></tr>
<tr><td>撮影設定</td><td colspan="2">→「撮影設定メニュー」へ</td><td>ー</td></tr>
<tr><td rowspan="8">撮影設定メニュー</td><td>設定値一覧</td><td colspan="2">ー</td><td>☞ 80 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">カラー設定</td><td colspan="2">カラー※</td><td>☞ 88 ページ</td></tr>
<tr><td>モノクロ</td><td>モノクロフィルター
・標準設定
・グリーン
・イエロー
・オレンジ
・レッド</td><td>☞ 88 ページ</td></tr>
<tr><td>基本設定</td><td colspan="2">→「基本設定メニュー」へ</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>撮影設定初期化</td><td colspan="2">実行
取消※</td><td>☞ 96 ページ</td></tr>
<tr><td>SD カードフォーマット</td><td colspan="2">クイックフォーマット※
完全フォーマット</td><td>☞ 94 ページ</td></tr>
<tr><td>針表示調整</td><td colspan="2">ー</td><td>☞ 92 ページ</td></tr>
<tr><td>USER ボタン設定</td><td colspan="2">1 コマ削除※
1 コマ保護
拡大モード
印刷モード
設定一覧
フィルム</td><td>☞ 95 ページ</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>メニュー</th><th>項目</th><th colspan="2">設定内容（※：初期値）</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">撮影設定
メニュー</td><td rowspan="2">フィルム設定</td><td>標準設定※</td><td>エッジ強調：中
彩度：中
色合い：中
コントラスト：中
ノイズ低減：弱</td><td>☞ 89 ページ</td></tr>
<tr><td>フィルム 1
フィルム 2
フィルム 3</td><td>エッジ強調：弱／中※／強
彩度：弱／中※／強
色合い：弱／中※／強
コントラスト：弱／中※／強
ノイズ低減：弱※／中／強</td><td>☞ 90 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="6">基本設定
メニュー</td><td>日時設定</td><td colspan="2">2004.01.01　00:00 ※</td><td>☞ 81 ページ
☞ 96 ページ</td></tr>
<tr><td>年月日表示設定</td><td colspan="2">年月日※
日月年
月日年</td><td>☞ 83 ページ</td></tr>
<tr><td>節電移行時間設定</td><td colspan="2">3 分
5 分※
10 分
20 分</td><td>☞ 84 ページ</td></tr>
<tr><td>連番設定</td><td colspan="2">記憶する※
記憶しない</td><td>☞ 85 ページ</td></tr>
<tr><td>液晶モニタ
明るさ調整</td><td colspan="2">5 ／ 8 ※　（8 段階）</td><td>☞ 86 ページ</td></tr>
<tr><td>言語設定</td><td colspan="2">日本語※
English
French
German
Italian
Spanish
Dutch
T-Chinese</td><td>☞ 87 ページ</td></tr>
</table>

商標について

Apple の名称、Macintosh は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本文中では、以下の名称を略記しています。

Microsoft® Windows®98 operating system 日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows®XP operating system 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98 、Windows Me 、Windows XP 、Windows 2000 と表記しています。また、Windows 98 、Windows Me 、WindowsXP 、Windows 2000 を総称する場合は「Windows 」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 98/Me 」のように Windows の表記を省略することがあります。

Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Photoshop Elements、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

SD メモリーカード、SD ロゴは、(株)東芝、松下電器産業(株)、米国 SanDisk 社の商標です。

商標 DPOF は、「デジタルカメラのプリント情報に関するフォーマット、DPOF 」に従った製品であることを示すもので、キヤノン株式会社、イーストマンコダック社、富士写真フィルム株式会社、松下電器産業株式会社が仕様書 Version1.00 に対する著作権を保有しています。

DCF は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で標準化された「Designrule for Camera File system 」の規格略称です。

PRINT Image Matching は当社の登録商標です。

Multi MediaCard は、ドイツ Infineon Technologies AG 社の商標であり、MMCA (MultiMediaCard Association)へライセンスされています。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービス㈱ホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービス㈱ホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 ナビダイヤル 0570ー090ー090 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

札幌(011)222ー7931 仙台(022)214ー7624 東京(042)585ー8555 名古屋(052)202ー9531 大阪(06)6399ー1115
広島(082)240ー0430 福岡(092)452ー3942 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

(042) 585-8444【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221ー7911 東京(042)585ー8500 名古屋(052)202ー9532 大阪(06)6397ー4359 福岡(092)452ー3305

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.i-love-epson.co.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社（ホームページアドレス http://www.epson-supply.co.jp/ またはフリーダイヤル0120ー251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2004. 4

改訂履歴

Rev. / Ver.	日付	ページ	改訂内容
Rev. 00	2004/4/23	ALL	新版
Rev. 01	2004/10/1	表 1	Rev. 01 に変更
		11	■その他 項目 2 ヶ追加
		44	注意追加
		39	EPSON→EPSN に変更
		84	「バッテリ残量表示」以外の針→「バッテリ残量表示」の針のみ　に変更
		156	■大きさ 約 560g に変更、レンズ部カバーを追加
		161	「＋正式保証書発行カード」追加、「専用ホームページ」を「MyEPSON」に変更
		162	「正式保証書の発行とユーザー登録について」の項目を追加
		163	保守サービスの窓口に追記